

平成18事業年度に係る業務の実績 に関する報告書 (教育研究に係る参考資料集)

- 資料1 外部講師による特別講演等について
- 資料2 東京芸術大学 国際交流協定校一覧
- 資料3 平成18年度 国際交流活動例一覧
- 資料4 平成18年度 地域連携・社会連携に関する主な参加プロジェクト等
- 資料5 平成18年度 大学会館展示室 利用状況
- 資料6 平成18年度 東京芸術大学 大学美術館展覧会 入場者数一覧
- 資料7 平成18年度 教育課程等に関連した展覧会・発表会の例
- 資料8 平成18年度 東京芸術大学 奏楽堂演奏会 入場者数一覧
- 資料9 平成18年度 東京芸術大学 公開試験等演奏会 一覧(無料演奏会)
- 資料10 平成18年度 演奏依頼等一覧
- 資料11 学位授与数
- 資料12 平成18年度 東京芸術大学 学生の学外での展覧会等参加例
- 資料13 平成18年度 東京芸術大学奨学金等 受賞者一覧
- 資料14 平成18年度 東京芸術大学 教員の研究テーマ例
- 資料15 平成18年度 東京芸術大学 公開講座一覧
- 資料16 平成18年度 東京芸術大学 外部資金受入概要
- 資料17 東京芸術大学に係る主な新聞記事(平成18年度)

平成19年6月

国立大学法人
東京芸術大学

外部講師による特別講演等について (平成18年4月1日～19年3月31日実施分)

美術学部・美術研究科

No.	日付	企画担当学科 専攻	題目	講師氏名	講師所属等
1	4月17日(月)	油画	「ビクトリア美術学校の版画教育」	Neil Malone	メルボルン大学ビクトリア美術大学
2	5月9日(火)	油画	「モネ 地中美術館に設置された『睡蓮』を巡って」 ～モネ没後100年、庭園から絵画へ、装飾の再考、絵画が成り立つ場へ～	秋元雄史 馬淵明子 坂口寛敏 布施英利	地中美術館館長 日本女子大学人間社会学部教授 本学油画教授 本学美術解剖学助教授
3	5月26日(金)	油画	「モネ 地中美術館に設置された『睡蓮』を巡って-2」 ～岩井希久子氏(修復家)を交えて絵画のインсталレーションについて～	秋元雄史 岩井希久子 坂口寛敏	地中美術館館長 修復家 本学油画教授
4	5月25日(木)	油画	「自画像について考える」	阿部謹也	一橋大学名誉教授、歴史学者(ドイツ中世史、西洋社会史の第一人者)
5	6月1日(木)	油画	「時間と都市(空間)は、どのように表現されてきたか」	鷹見明彦	美術評論家
6	6月16日(金)	油画	「越後妻有トリエンナーレと自作について」	潮田友子	アーティスト
7	6月23日(金)	油画	「ベリーベリー・ヒューマン展の作家と展覧会について」	小西信之	愛知県立芸術大学助教授
8	7月3日(月)	油画	「多視点206」	是枝開	神奈川県立近代美術館学芸員
9	7月5日(水)	油画	「企画 展覧会 作家」	児島やよい	キュレーター
10	10月23日(月)	油画	浮世絵版画制作で確立した日本伝統的水彩木版画技法の公開講義	安達以作牟	アダチ伝統木版画技術保存財団 理事長 彫師、摺師も同行
11	10月3日(火)	彫刻	「アートと政治についての関係性」	ミハ ウルマン	イスラエルの彫刻家
12	7月12日(水) 10月11日(水) 12月13日(水)	彫刻	彫刻論等や作品などの講義	椿昇 古郡弘 前田哲明	作家
13	6月7日(水) 6月14日(水) 11月14日(水)	彫刻	彫刻論等や作品などの講義	山本和弘 田中三蔵 北澤憲昭	評論家
14	5月29日(月)	工芸	「ヨーロッパにおけるジャポニズムとシノワズリーについて」	モニカ・コプリン	ドイツラックンスト館長
15	9月29日(金)、 10月11日(水)、 10月25日(水)	彫金	集中講義	関昭郎	平成17年「日本のジュエリー100年」(東京都庭園美術館)を企画したキュレーター、現在、東京都現代美術館
16	7月12日(水)、 10月11日(水)、 10月18日(水)、 10月25日(水)	彫金	コレクションのハンドリングセミナーと宝飾史の集中講義(工芸科彫金)	有川一三	ジュエリーコレクター
17	5月11日(木)	彫金	私の出会った作家達、そして彼らの仲間達	永井慧俐子	ミュンヘン在住ジュエリー作家、バイエルン州芸術工芸協会
18	7月11日(火)	彫金	貴金属のすべて	池田収	田中貴金属工業株式会社貴金属部部長
19	9月6日(水)、10月3日(火)、10月12日(木)、 10月17日(火)、10月24日(火)、10月31日(火)、 11月1日(水)、11月2日(木)	彫金	講義及び宝飾研磨等の実技指導	三木稔	日本ジュエリーデザイナー協会会長
20	11月22日(水)	彫金	東京国立近代美術館工芸館の収蔵品の特別展観と講義	北村仁美	東京国立近代美術館学芸員
21	5月9日(火)	鍛金	スライドレクチャー等	ノーマン・チェリー (Norman Cherry)	バーミンガムインスティテュート オブアートアンドデザイン教授

No.	日付	企画担当学科 専攻	題目	講師氏名	講師所属等
22	7月4日(火)	鍛金	「焼き入れの伝承と実演」	沖田勝信	金槌職人
23	7月11日(火)	鋳金	「やわらかな造形感」	藤原吉志子	金属造形家
24	12月18日(火)	鋳金	古代ギリシアのブロンズ彫刻	羽田康一	国立西洋美術館リサーチフェロー
25	12月19日(月) 20日(火)	鋳金	高周波溶解炉築炉法・鋳鉄溶解 鋳造法実演と講義	武蔵耕治	(株)清水鉄工所技術部長
26	5月19日(金)	陶芸	集中講義(陶芸教育論)	宮脇昭彦	明星大学教授
27	7月5日(水)	陶芸	集中講義(日本茶道について)	楽吉座右衛門	陶芸家
28	11月14日(火)	陶芸	集中講義(現代陶芸造形論)	杉浦康益	陶芸家
29	6月29日(木)	染織	集中講義「ステンレススチールに よる造形表現」	熊井恭子	ファイバーアーティスト
30	6月5日(金)	染織	実技指導	松永優	藍染作家
31	11月7日(火)	染織	実技指導	斉藤孝子	型染め作家
32	9月28日(木)	漆芸	特別講義「スペインの漆芸」	アリシア・ロペス女史	Escola Massana大学(バルセロナ)教授
33	9月30日(土)	漆芸	講演会(韓国の漆芸の現状、教育 の現状、技術技法について)	鄭解朝 鄭栄煥 孫大賢	培材大学教授 大邱大学教授 ソウル市無形文化財保持者
34	4月17日(月)	ガラス 造形	集中講義(現代のガラス)	行武治美	ガラス作家
35	4月28日(金)	ガラス 造形	集中講義(近代のガラス)	土屋良雄	サントリー美術館企画委員 日本ガラス工芸学会会長
36	5月12日(金) 5月18日(木) 5月19日(金)	ガラス 造形	集中講義(築炉制作実習)	阿比留生吾	彫刻家
37	6月5日(金) 6月6日(木)	ガラス 造形	集中講義(コールドワーク)	家泉利男	倉敷芸術科学大学芸術学部教授
38	6月20日(火)	ガラス 造形	集中講義(キルンワーク実習)	西悦子	ガラス作家
39	6月29日(木) 6月30日(金)	ガラス 造形	集中講義(ガラス組成論)	鈴木蕃	社会法人日本ガラス製品工業会 参与
40	10月6日(金)	ガラス 造形	公開デモンストレーション「ホット ワーク」	大村俊二	大村ガラス工房
41	11月7日(火)	ガラス 造形	集中講義(キルンワーク実習)	佐藤万里子	ガラス作家
42	1月24日(木)	ガラス 造形	集中講義(古代のガラス)	真道洋子	(財)中近東文化センター イスラーム・エジプト調査室研究 員
43	7月4日(火)	工芸・ デザイン	韓国デザイン教育の方向と (D.M.C)成功事例 韓国現代工芸の作品傾向に関する 小考	洪聖洙 尹瑾	中央大学校教授
44	10月20日(金)	デザイン	「イギリスにおける美術教育につ いて」～イギリスにおけるデザインの 現状等	Aidan Rowe, Astrid Mkhlaaf	UCCA芸術大学
45	11月28日(火)	デザイン	松永真のデザイン	松永真	グラフィックデザイナー デザイン科客員教授
46	12月13日(水)	デザイン	特別集中講義	川上元美	(有)川上デザインルーム代表 デザイン科客員教授
47	11月10日(金)	建築	劇場空間の演出術	伊東正示	シアター・ワークショップ代表取締役 役

No.	日付	企画担当 当学科 専攻	題目	講師氏名	講師所属等
48	10月20日(金)・ 10月27日(金)・ 11月2日(金)	建築	学生の個人指導を兼ねた公開エ スキス	谷口吉生	建築家
49	12月13日(水)	建築	特別講義(AA Schoolでの活動に ついて)	江頭 慎	AA School 教授
50	12月16日(土)	建築	表象空間芸術セミナー 「舞台・表象空間創造の伝承」	後藤芳世 多田忠弘 小田切ようこ	舞台美術家 舞台・テレビ美術家 舞台美術家
51	1月20日(土)	建築	表象空間芸術セミナー 「歌舞伎と文楽の舞台美術 その 歴史をふまえて」	三輪 泉	舞台美術家
	2月24日(土)	建築	表象空間芸術セミナー 「力道山と三種の神器 映画『三 丁目の夕日』の表象美術空間」	伊藤 洋 上條安里	早稲田大学名誉教授 映画美術監督
52	5月8日(水)	先端芸 術表現	「20世紀における伝統とコンテン ポラリーアート」	Petra Johnson	美術史家、美術家、上海大学美 術学院講師
53	5月8日(水)～10 日(金)	先端芸 術表現	「身体のマス・ディスプレイ・・・その 起源と流行と衰退」	竹内孝宏	表象論研究者
54	5月8日(水)～12 日(日)	先端芸 術表現	「不連続なイメージのトレーニン グ」	土屋公雄	美術家
55	5月11日(木)	先端芸 術表現	「NY PS1現代美術センター館長・ MoMA副館長 Alanna Heiss 特別 講演会」	Alanna Heiss	NY PS1現代美術センター館長・ MoMA副館長
56	5月22日(月)	先端芸 術表現	『根っこのアフリカ、ハイテクのア フリカ』	Simon Njami Lara Baladi	『アフリカ・リミックス:多様化する アフリカの現代美術』(18.5.27～ 8.30東京都森美術館)のキュレ ーターと参加美術家
57	5月31日(水)	先端芸 術表現	ルチアーノ・ペリオの晩年の作品と思想「音響、空 間、建築 - テンポ・リアーレ(イタリア)におけるプ ロジェクト」	キリアン・シュヴォーン Kilian Schwoon	作曲家/電子音楽技術者(最晩年 のペリオのアシスタント)
58	5月8日(月)	先端芸 術表現	第1回Visiting Artist ・Artist Lecture「20世紀における 伝統とコンテンポラリーアート」	Petra Johnson / ペト ラ・ジョンソン	美術史家、美術家、上海大学美 術学院講師
59	5月8日(月)	先端芸 術表現	第1回Visiting Artist ・Artist Critical Dialogue	Petra Johnson / ペト ラ・ジョンソン	美術史家、美術家、上海大学美 術学院講師
60	5月24日(水)	先端芸 術表現	第2回Visiting Artist ・Artist Lecture「麗江の実験」	Jay Brown / ジェイ・ ブラウン	中国雲南省麗江スタジオディレク ター
61	5月24日(水)	先端芸 術表現	第2回Visiting Artist ・Artist Critical Dialogue	Jay Brown / ジェイ・ ブラウン	中国雲南省麗江スタジオディレク ター
62	5月31日(水)	先端芸 術表現	第3回Visiting Artist ・Artist Lecture	南鷹宏	熊本市現代美術館館長
63	5月31日(水)レク チャー終了後、及び 6月1日(木)	先端芸 術表現	第3回Visiting Artist ・Artist Critical Dialogue	南鷹宏	熊本市現代美術館館長
64	10月17日(火)	先端芸 術表現	第4回Visiting Artist ・Artist Lecture	高嶺格	美術家
65	10月17日(火)、及 び 10月18日(水)	先端芸 術表現	第4回Visiting Artist ・Artist Critical Dialogue	高嶺格	美術家
66	11月17日(金)	先端芸 術表現	第5回Visiting Artist ・Artist Critical Dialogue	長谷川祐子	東京都現代美術館事業企画課長
67	11月6日(月)、8 日(水)10日(金)	先端芸 術表現	「デジタルカメラで日常を再現す る」	小瀬村真美	映像作家

No.	日付	企画担当 当学科 専攻	題目	講師氏名	講師所属等
68	9月7日(木)	文化財 保存学	わが国の伝統的製鉄法である たたら製鉄の実演を通して、鉄 の製造技法の特徴、美術工芸材 料としての鉄の文化的特徴につ	永田和宏	東京工業大学教授
69	10月16日(月)	文化財 保存学	集中講義「絵画材料・技法につ いて」	渡辺明義	前東京文化財研究所
70	5月17日(水)、1 8日(木)	文化財 保存学	集中講義「金属箔技法実習」	月岡祐二	截金砂子師
71	11月22日(水)	文化財 保存学	集中講義「日本画絵具の原料につ いて」	中川晴雄	ナカガワ胡粉
72	12月4日(月)	文化財 保存学	集中講義「絵画修復について」	岡岩太郎	岡墨光堂
73	6月28日(水)	文化財 保存学	集中講義「平等院の文化財につ いて」	神居文彰	平等院
74	6月19日(月)	文化財 保存学	集中講義「法隆寺の文化財につ いて」	高田良信	法隆寺
75	12月11日(月)	文化財 保存学	集中講義「古典技法解説」	草薙奈津子	平塚美術館長
76	7月12日(水)、1 3日(木)、9月29 日(金)、12月6日 (水)	文化財 保存学	集中講義「古典截金技法実習」	江里佐代子	截金細工師
77	5月22日(月)	文化財 保存学	集中講義「文化財のデジタル化と 保存」	神内俊郎	日立製作所
78	7月15日(土)	文化財 保存学	集中講義「修理概念について」	鬼原俊枝	文化庁
79	11月8日(水)	文化財 保存学	集中講義「バーミヤン仏教遺跡に おける保存修復の現状」	前田耕作	アフガニスタン文化研究所
80	11月2日(木)、2 月17日(土)、18 日(日)	文化財 保存学	集中講義「高精細デジタル画像に ついて」	城野誠治	東京文化財研究所
81	6月5日(月)、12 日(月)	美術教 育	集中講義「花と表情」	伊藤敏隆	池坊総家督
82	6月26日(月)	美術教 育	集中講義「美術に関連する他教 科の動向」	田中康二郎	文部科学省 調査官
83	12月11日(月)	美術教 育	集中講義「折形」	山口信博	折形デザイン研究所
84	12月22日(金)	美術教 育	集中講義「研ぐことの意義」	水谷靖	跡見女子大学非常勤講師
85	1月15日(月)	美術教 育	集中講義「西洋思想の源泉」	浅野淳博	東京基督教大学非常勤講師

音楽学部・音楽研究科

No.	日付	企画担当学科専攻	題目	講師氏名	講師所属等
1	4月11日(火)	音環	サウンドデザインの理論と実践～映画・テレビにおける音のデザイン～	デビット・ソーネンシャイン	映画やテレビにおけるサウンドデザイン、ディレクターとして活躍
2	4月19日(水)	指揮	ハンガリーの音楽	ジョルト・ナジー Zsolt Nagy	パリ国立高等音楽院指揮科教授
3	5月16日(火)	管打	オーケストラに於けるファゴット奏法の変遷	Volker Tessman フォルカー テスマン	ハンス・アイスター音楽大学(ベルリン)教授
4	5月18日(木)	古楽	ハロクワアイオリン(ヴァイオリンチェロ・ダ・スハラを含む)公開レッスン2	シグスワルト・クイケン (Sigiswald Kuijken)	ベルギー・ブリュッセル王立音楽院教授
5	5月23日・6月6日 6月20日・10月24日 11月7日(火)	管打	楽器学講座(管打楽器)	山領 茂 小島 修一	ヤマハ銀座アトリエ主任
6	6月2日(金)	音環	ゴムゴ、ヘイグムの演奏技法	金 泳宰 (キム・ヨンジェ)	韓国芸術総合学校伝統芸術院院長
7	6月6日(火)	楽理	リゲティ、ヘリオ、ブレース - 前衛の終焉と現代音楽のゆくえ -	沼野 雄司	東京音楽大学助教授
8	6月12日(月)・13日(火)・16日(金)	オペラ	ロシア「セウイリアの理髪師」のレチタティーヴォを中心としたディクションと歌唱について	ウバルド・ガルディーニ	元本学オペラ科講師
9	6月20日(火)	楽理	デュッセルドルフ・シューマン研究所について	Dr.Matthias Wendt マティアス・ヴェント	デュッセルドルフ・ローベルト・シューマン研究所専任研究員
10	6月23日(金)	オルガン	バッハのオルガン作品における象徴	Hans Fagius ハンス・ファギウス	スウェーデンを代表するオルガニスト
11	8月3日(木)	音環	ジャーナリズム/アート/映像	金森 マユ	ドキュメンタリーのジャーナリスト
12	10月10日(火)	楽理	アラブのウード音楽(仮)	ニザール・ロハナ Nizar Rohana	サイト音楽院アカデミックアドヴァイザー
13	10月12日(木)	弦楽	ショスタコーヴィチ生誕100年記念特別講演会	D. ソレルチンスキー	サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー博物館館長、ショスタコーヴィチ記念財団最高責任者
14	10月20日(金)	管打	レパートリー、演奏と解釈(ホルン)	ブルーール・シュナイダー	フライブルク音大教授
15	11月17日(金)	指揮	学生オーケストラ特別授業	ジョルト・ナジ	イスラエル コンテンポラリー プレイヤーズ首席指揮者、パリ国立高等音楽院指揮科教授
16	11月29日(水)	音楽文芸	騙ることと、語ること - ホイトリ・リーディングとわたし	伊藤比呂美	詩人、小説家
17	12月4日(月)	器楽	ドイツのクラリネット その伝統と奏法	ライナー・ミュラー・ヴァンレクム (Rainer Müller - van Recum)	ザールブリュッケン放送響首席、マンハイム音楽大学教授
18	12月8日(金)	演奏芸術センター	3つのミレニアムを呼び交わして 現代ギリシア音楽入門	デモステネス・シュテファノイディス	作曲家・ピアニスト
19	1月16日(火)	声楽	フランス歌曲の解釈と演奏法	三林輝夫	本学名誉教授。フランス声楽曲の我国の権威として本学定年退職後も活躍。
20	1月26日(金)	音楽教育	芸術創造の認知過程	岡田 猛	東京大学大学院教育学研究科助教授
21	2月5日(月)	音楽教育	再考:教育における「技能」概念 - 傾向性(disposition)としての「わざ」に着目して -	生田久美子	東北大学大学院教育学研究科教授
22	2月19日(月)	古楽	J.S. バッハにおけるヴィオロンチェロ・ピッコロについて	デミトリー・パディアロフ	ベルギー在住の弦楽器製作・演奏家

映像研究科

No.	日付	企画担当学科 専攻	題目	講師氏名	講師所属等
1	7月19日(水)	映画	フランス映画についての講演と ワークショップ	ドミニク・オーヴレイ	フランス国立映画学校講師
2	1月21日(日)	メディア 映像	パリ発:ケータイ電話で撮影され た映画作品フェスティバル	ジャン・シャルル・フィ トウスイ	映画監督

東京芸術大学 国際交流協定校一覧

13カ国・地域の32校 (H19.3.31現在)

	大学/機関	国/地域	締結年月日	対象学部
1	中央美術学院	中国	平成元年 4月 1日	美術学部
2	ミュンヘン音楽演劇大学	ドイツ	平成元年 7月31日	音楽学部
3	シュトゥットガルト芸術大学	ドイツ	平成元年 7月31日	音楽学部
4	ソウル大学校美術大学	韓国	平成元年12月 7日	美術学部
5	シベリウス音楽大学	フィンランド	平成 4年12月10日	音楽学部
6	中央音楽学院	中国	平成 5年 4月 1日	音楽学部
7	ウィーン音楽演劇大学	オーストリア	平成 8年 5月27日	音楽学部
8	パリ国立高等音楽舞踊院	フランス	平成 9年11月10日	音楽学部
9	英国王立音楽院	イギリス	平成10年 5月18日	音楽学部
10	清華大学美術学院	中国	平成12年11月 7日	美術学部
11	王立メルボルン工科大学 (美術学部とデザイン&コミュニケーション学部との協定締結)	オーストラリア	平成13年 1月31日	美術学部
12	ソウル大学校音楽大学	韓国	平成13年 4月24日	音楽学部
13	王立北部音楽院	イギリス	平成13年10月12日	音楽学部
14	ユニバーシティ・カレッジ・フォー・ザ・クリエイティブ・ アーツ (旧サリー芸術&デザイン研究大学)	イギリス	平成14年 5月13日	美術学部
15	スミソニアン研究所フリーア美術館、サックラー美術館	アメリカ	平成14年 7月30日	美術学部・美術館
16	アナドル大学	トルコ	平成14年12月20日	美術学部
17	ワイマール・パウハウス大学	ドイツ	平成15年12月18日	美術学部
18	ウズベキスタン国立音楽院	ウズベキスタン	平成16年 5月 5日	音楽学部
19	リヒテンシュタイン国立大学	リヒテンシュタイン	平成16年 6月30日	美術学部
20	シカゴ美術館附属美術大学	アメリカ	平成16年 9月17日	美術学部
21	上海音楽学院	中国	平成16年12月16日	音楽学部
22	ハレ・ブルグ・ギービヒェンシュタイン芸術大学	ドイツ	平成17年 1月10日	美術学部
23	シュトゥットガルト美術大学	ドイツ	平成17年 1月12日	美術学部
24	シドニー大学	オーストラリア	平成17年 5月 3日	美術学部
25	国立台南芸術大学	台湾	平成17年 6月16日	美術学部
26	中国美術学院	中国	平成17年 7月28日	美術学部
27	ミマール・シナン美術大学	トルコ	平成17年10月10日	美術学部
28	新疆芸術学院	中国	平成17年11月24日	美術学部・音楽学部
29	韓国芸術総合学校	韓国	平成17年12月6日	美術学部・音楽学部
30	大邱大学校	韓国	平成18年3月7日	美術学部
31	ウィーン工科大学建築・地域計画学部	オーストリア	平成18年11月3日	美術学部
32	ロンドン芸術大学	イギリス	平成18年12月1日	美術学部

平成18年度 国際交流活動例一覧

No	交 流 活 動 等 の 概 要 相 手 国 、 相 手 先 機 関 等	実 施 時 期 : 場 所	本学学生 の参加等 (注1)
		主 な 参 加 学 科 ・ 専 攻 (参 考 U R L)	
1	日中韓三ヶ国の国立映画教育機関による短編映画共同制作 (北京電影学院(中国)、韓国映画アカデミー(韓国)と本研究科の学生が共同して映画作品を制作するもの。各国の映像エリートの将来を見据えた国際人育成はもちろんのこと、その成果をそれぞれの国での上映や放送メディアを通じて、広く相互の国民に鑑賞してもらうとともに、映画祭等への出品によって世界にアジアの若者の文化・思想を理解してもらうことを目的としている。)	18年度～19年度：本学他 映像研究科	
	中国：北京電影学院，韓国：韓国映画アカデミー	-	
2	ルーヴル美術館展 (ルーヴル美術館古代ギリシア・ローマ・エトルリア部門のジャン・リュック・マルティネズ主任学芸員をはじめ同部門の専門研究者6名と大学美術館教員が綿密な研究・打合せ(東京において2回、パリにおいて2回)を行い、また、東京会場、京都会場ともに、共同で作品展示・撤収作業を指導するなど、学術的な情報交換、人材交流を行った。)	17年度～18年度：本学他 大学美術館	
	フランス：ルーヴル美術館	-	
3	東京芸術大学チェンバーオーケストラ ヨーロッパ公演 (本オーケストラは2003年に創設。メンバーは、音楽学部・音楽研究科に在籍する弦楽器専攻の学生28名。演奏曲目によっては、管打楽器、鍵盤楽器の学生も加わり、多彩に活動する室内オーケストラである。本オーケストラの初めての海外公演であり、ヨーロッパの4都市で公演を行った。)	10/5～12：ライブツ化、シュトゥットガルト、ミュンヘン、ウィーン 音楽学部	
	ドイツ：ライブツ化音楽大学、シュトゥットガルト音楽大学、ミュンヘン音楽大学 オーストリア：ウィーン音楽演劇大学		
4	世界遺産ガッラ・プラチディア廟モザイク壁画の保存修復調査と修復技法の実証的研究 (本年度は、教育研究助手と研究生をイタリアに派遣し(7/13～7/27)、先方の学校の教員、学生と共同で研究を行った。)	17年度～18年度 絵画科(油画)	
	イタリア：国立ラヴェンナモザイク修復専門学校	-	
5	版画研究室交流展 ギャクトリア・カレッジ・オブ・アート・メルボルン大学 - 東京芸術大学美術学部 (大学院生、教育研究助手ら12名、豪大学側14名が参加 「2006日豪交流年」参加)	4/17～5/2：大学美術館陳列館 5/22～6/2：ギャクトリア・カレッジ・オブ・アート・メルボルン大学 版画 絵画科(油画)	
	オーストラリア：ギャクトリア・カレッジ・オブ・アート・メルボルン大学	(http://www.geidai.ac.jp/museum/exhibit/2006/hanga/hanga_ja.htm)	
6	東京芸術大学・中国美術学院国際交流展「環境と芸術」 (協定校の中国美術学院とのアジアにおける次世代の芸術表現の創造に向けての共同プログラム：展示、合同授業、シンポジウムを実施)	4/1～4/8：中国美術学院展示ホール、杭州西湖野外会場 絵画科(油画)	
	中国：中国美術学院	-	
7	大学院研究室間交流展 「インターイメージ/日本とオーストラリアの現代美術の出会い」 (Griffith University Queensland College of Art と東京藝術大学の相互交流を目的に、双方の大学学生のイメージが融合した展覧会やストラドブローグ島でのワークショップを実施。)	8/29～9/7：オーストラリア 12/4～12/8：本学大学会館 絵画科(油画)	
	オーストラリア：Griffith University Queensland College of Art	-	

No	交 流 活 動 等 の 概 要	実 施 時 期 : 場 所	本学学生 の参加等 (注1)
		主 な 参 加 学 科 ・ 専 攻 (参 考 U R L)	
8	「体験展 北京 - 東京文化交流展」 (本学と交流締結校である北京の2大学との学生交流展。本学研究生2名、本学大学院に留学中の中国人学生2名、中国側清華大学美術学院4名、中央美術学院4名が参加。)	9/4～10：清華大学美術学院 9/5～22：中央美術学院通道画廊 11/27～12/1：東京芸術大学 大学会館 彫刻科	
	中国：清華大学美術学院、中央美術学院	-	
9	「Japan & Korea 漆 arts exhibition」 (日本作家49名韓国作家40名による漆芸展を開催、9/30に記念講演会開催)	9/28～10/15：本学大学美術館 工芸科(漆芸)	
	韓国：(講演会)大邱大学、培材大学、嶺南大学、慶一大学	http://www.geidai.ac.jp/museum/exhibit/2006/urushi/urushi_ja.htm	
10	「伝統とデザイン 国際交流デザイン展・東京・イギリス・韓国」 (授業交換というかたちで学生作品の交流展を3年間通して行っていく企画。第1回目として本学デザイン科の3年生の授業である『伝統とデザイン』の仮題を各校の学生が制作し、各校10作品(計30作品)選出し展示した。この交流を通してそれぞれの国におけるデザイン意識を探ると同時に教育や文化を比較し、お互いに刺激のある作品を生み出す場としていくことを目的としている。)	10/19～10/29：東京芸術大学 大学美術館陳列館 11月：UCCA芸術大学、中央 大学校 デザイン科	
	イギリス：UCCA芸術大学 ニューメディア・グラフィックコース 韓国：中央大学校芸術大学 産業デザイン学科	-	
11	「第3回東アジア茶文化シンポジウム - 茶文化の造形美 - 」 (裏千家と本学が共催して行った。「茶文化の造形美」のサブ・テーマの下、日本・中国・韓国の著名な研究者が茶道具を通して、東アジアの茶文化について多角的な観点から論じた。平山前学長が基調講演、宮田学長が「茶の音色・日本の音色」と題した発表を行った。そのほか、金英媛 韓国国立中央博物館美術部長の「韓国陶磁と高麗茶碗」、李一 中国芸術研究院研究員の「中国書道の『禅を以って書に入る』と初期日本茶道の形成についての考察」、樂吉左衛門 樂家十五代当主の「茶の湯の焼き物・底流する日本の感性」の発表等が行われた。)	10/12：東京国立博物館 国際交流室(裏千家と共催)	
	-	-	
12	韓国(大田)培材大学との交流 (両大学漆芸学生有志による交流展、シンポジウム及び、出品者間の交流会を実施。) (漆芸教員が、韓国漆芸家会会員展に招待出品。また「漆芸技術交流会」にて技術公開を実施。)	5/19～5/21：培材大学 5/19～5/25：韓国(大田) 工芸科(漆芸)	
	韓国：培材大学	-	
13	韓国と日本の漆芸技術、教育法の比較研究 (招へい)	9/27～11/7：本学 美術学部	
	韓国：大邱大学、培材大学、嶺南大学、慶一大学	-	
14	清華大学美術学院との交流 (創立50周年記念事業への参加及び交流に関する協議・視察)	10/31～11/3：清華大学美術 学院 美術学部	
	中国：清華大学美術学院	-	
15	現代韓国金工事情視察 (学部4年生を中心に協定校のソウル大学等を訪問)	6/26～28：韓国 工芸科(鍛金)	
	韓国：ソウル大学等	-	

No	交 流 活 動 等 の 概 要	実 施 時 期 : 場 所	本学学生 の参加等 (注1)
		主 な 参 加 学 科 ・ 専 攻 (参 考 U R L)	
16	日韓国際学術大会 (第3回大会、テーマは「アジア工芸・デザインの調和と進化の模索」。特別講演、論文発表、作品展示を実施。)	7/3~7/6: 本学構内	
	韓国: 中央大学校	デザイン科・工芸科	
17	創造の杜~ブーレーズ~藝大フィルハーモニア (招へい: 室内楽の指導と指揮のため) フランスより2名の指揮者を招聘して、現代を代表する作曲家ピエール・ブーレーズの作品を2夜にわたって演奏した。第1夜、オーケストラの夕べは、NHK-FMでも放送された。また、第2夜は、日本初演曲に高い関心が集まった。音楽雑誌では、高い評価を受けるとともに、今後の期待が各方面から寄せられた。	4/16~4/23: 本学	○
	フランス: 国立パリ高等音楽舞踏学院	演奏芸術センター・音楽学部	
18	RNCM Double Bass Fest 2006 (派遣)	4/26~5/1	-
	イギリス: マンチェスター北王立音楽院	音楽学部	
19	韓国伝統音楽および現代作品の演奏と指導 (9月15日本学奏楽堂で「アジア・躍動する音たち - 韓国・ソリの伝統と現代の音楽」を開催。韓国芸術総合学校伝統芸術学院教授である金泳宰氏ほか、4人のすぐれた演奏家が名楽器を披露。)	9/14~9/17	○
	韓国: 韓国芸術総合学校	演奏芸術センター・音楽学部	
20	第1回国際陶芸教育交流学会 (教員と学生が参加し、世界の陶芸について調査研究また国際陶磁交流を計る。)	10/13~10/28: 清華大学	
	中国: 清華大学	美術学部	
21	英国王立音楽院との交流協定に基づく交換教授実施 (招へい: 10/21~12/1, 派遣: 10/24~12/8)	10月~12月	-
	イギリス: 英国王立音楽院	音楽学部	
22	ロジェストヴェンスキー 学生オーケストラ特別演奏会 (「世界のマエストロ」 ロシア出身で世界的な指揮者・ゲンナジー・ロジェストヴェンスキー氏を、学生オーケストラの指揮をお願いした。台東・足立区民を対象にした特別演奏会、および学生オーケストラ特別演奏会では、氏の情熱により質の高い演奏が披露され、多くの聴衆を魅了した。読売日本交響楽団の協力を得た。)	10/10~17: 奏楽堂	○
	-	演奏芸術センター・音楽学部 http://www.geidai.ac.jp/facilities/sogakudou/info/061017.html	
23	メンデルスゾーン基金チャリティー・ガラ・コンサート (メンデルスゾーン基金の代表で世界的な指揮者クルト・マズア氏の呼びかけにより、本学学生有志オーケストラによるチャリティー・コンサートが開催された。マズア氏の指揮によりメンデルスゾーンの序曲「ルイブラス」、「ヴァイオリン協奏曲」、「交響曲第4番「イタリア」」が演奏され、各界の著名人より高い評価を受けた。)	12/7~10: 東京国際フォーラム	
	-	音楽学部	
24	ジャンマルク・ルイサダ・ピアノ協奏曲の夕べ (フランスを代表する中堅ピアニストの協奏曲の夕べに、本学学生有志によるオーケストラが出演した。モーツァルト作曲・序曲「ドン・ジョバンニ」、「ピアノ協奏曲第27番」、ベートーヴェン作曲「ピアノ協奏曲第4番」をテリエ・ミケルセン氏の指揮で行われた。)	11/13~18: 東京芸術劇場	
	-	音楽学部	

(注1) 「○」は本学の学生も出品・発表したもの又は参加したものの。

平成18年度 地域連携・社会連携に関する主な参加プロジェクト等

No	プロジェクト等の名称	会 期 等	概 要	本学学生 の参加 (注1)
	主な参加学科・専攻 (参考URL)	連 携 先		
1	上野の山文化ゾーンフェスティバル		本フェスティバルは、毎年秋に、上野公園内の博物館や美術館、音楽ホールなどが一斉に企画展やイベントを開催するもの。本学を含む上野の山にある文化施設など23団体が参加する「上野の山文化ゾーン連絡協議会」を設置し、実施している。18年度は、大学美術館の6つの展覧会、音楽堂での14の演奏会等により参加。「上野の山文化ゾーン連絡協議会」は平成17年度地域づくり総務大臣表彰(地域振興部門)を受賞している。	
	大学美術館、音楽堂	上野の山文化ゾーン 連絡協議会		
2	上野の山ミュージアムクラブ	7月	国立科学博物館が主催する上野地区に所在する博物館や施設をめぐり、博物館などで行われている活動への参加や科学・芸術など様々な体験活動を通して、博物館を楽しむことを目的とした中学生向けのクラブ「上野の山ミュージアムクラブ」への協力。今年度は本学では、7/28の大学美術館の見学、7/29～30の色彩の見え方を学ぶ「色彩を楽しもう」を実施。	
	美術学部、大学美術館 (http://www.kahaku.go.jp/news/m-club/index.html)	国立科学博物館		
3	学生ボランティア ギャラリートーク		平成15年度より東京国立博物館と行っている連携事業。博物館来館者への学習機会の提供とともに将来、美術館・博物館で学芸員として働くことに関心を持つ本学学生の実地研修の意味合いを持つ。展示作品の解説又は古典技法理解の参考とするための仏像製作工程資料の作成を行い来館に説明を行うもの。本年度は、ギャラリートークの他、特別展「仏像 一木(いちぼく)にこめられた祈り」にあわせて「一木彫の制作工程模型展示 『京都・醍醐寺蔵重要文化財 聖観音菩薩立像』」も実施された。	
	芸術学、文化財保存学	東京国立博物館		
4	TASKプロジェクト 台東区/墨田区/荒川区/葛飾区 地域資源活用プロジェクト		「デザインと伝統を活かしたものづくり産業の活性化」をメインテーマとした台東区、荒川区、墨田区、葛飾区(TASK)のプロジェクト。18.2月のTASKものづくり現場の視察につづき、18.7.10には、美術学部生40人と台東、荒川、墨田、葛飾の4区で「ものづくり」を続ける企業50社との交流会が開かれた。本学学生とTASKの技術者との商品共同開発等を構想中。	
	美術学部	台東区 墨田区 荒川区 葛飾区		
5	台東御徒町中学校吹奏楽指導 及び芸大生との合同演奏会	12月24日	区立御徒町台東中学校吹奏楽部と音楽部学生有志による合同演奏会。 本演奏会は、中学生に貴重な体験をさせるとともに、大学の施設で演奏会を行うことで大学生や地域との交流を図ることを目的に企画されたもので、今年で4回目。本学の教員と学生が中学生に直接実技指導を行い、中学生にとっては高度な専門技能を有する者から直接指導を受けることで、楽器奏法の向上と音楽の感性が刺激され、今まで以上に音楽への関心が高まるとともに、教える大学生にとっても貴重な経験となるもの。	
	音楽学部 (http://www.city.taito.tokyo.jp/kouho/press/2004/1220enso_u.htm)	台東区教育委員会		
6	台東区立小中学校音楽鑑賞教室	3月8日 ~ 3月9日	区立小中学校の児童生徒がオーケストラの演奏や能・狂言を鑑賞することにより、情操豊かな児童生徒の育成及び鑑賞態度を身につけさせることを目的とした台東区の事業への協力。本学音楽堂を使用している。	
	音楽学部	台東区教育委員会		
7	台東・言問通り現代美術展 サスティナブル・アートプロジェクト2006 『言の聞え』	10月27日 ~ 11月12日	サスティナブル・アートプロジェクトは、実施本部である環境プロセスアート、並びに東京芸術大学を中心に市民と台東区が協力し合い行っているアートプロジェクト。台東区内を会場とし、使用されなくなった空き家などの場所を修復再生させながら進出し、作品展示という試みによりその場所に風を通すことで、今後の使用方向や可能性を探っていくもの。 若いアーティストたちの創作発表活動を支援し、広く市民のみなさんが芸術に身近に触れる機会を提供することで、地域が持続的に文化的発展していくことをめざし、2004年より活動を続けている。	
	美術学部 http://www.geidai.ac.jp/event/sustain/	環境プロセスアート、台東区		

No	プロジェクト等の名称	会 期 等	概 要	本学学生 の参加 (注 1)
	主な参加学科・専攻 (参考URL)	連 携 先		
8	アトリエの末裔あるいは未来2	12月1日 ~ 12月10日	上野桜木に所在する彫刻家平櫛田中の旧邸を使用した彫刻展。本学彫刻専攻の大学院生、教員の作品を展示。社会と連携した芸術教育プロジェクトの一環として実施している。	
	彫刻科 http://www.geidai.ac.jp/info/061207_01.html http://www.geidai.ac.jp/labs/denchu/exhibitor.htm	旧平櫛田中邸 (所有:岡山県井原市)		
9	「藝大とあそぼう」	7月2日	開かれた大学として、大学と子どもたちとの交流の場を持つことにより子どもたちに音楽文化への興味を高めるとともに、「藝大」を身近に感じてもらいたいとして、台東区教育委員会と協力して、実施している。今回が三回目。ゆかいな動物園 オークストラの逆襲 に続き、今年は、マザー・グースVS桃太郎 と題して、伝承の重要性に着目。宮城県在住の語り部・佐藤玲子さんを招いて昔ばなしを語ってもらったほか、童謡、唱歌、クラシックを中心に、たとえば唱歌「桃太郎」を邦楽器で伴奏するなど視点を変え、工夫されたプログラムが組まれた。また、チラシ・ポスターの制作にあたり、台東区内の小学五年生(現六年生)から日本の昔ばなしをテーマに絵を募集し、さらに今回は台東区内の4つの小・中学校を対象に、洋の東西の昔ばなしの認知度について、アンケート調査も実施した。	
	演奏芸術センター、音楽学部 (http://www.geidai.ac.jp/facilities/sogakudou/info/060702.html)	台東区教育委員会		
10	都立学校における学校設定教科・科目「日本の伝統・文化」の副教材の研究・開発	7月10日 ~ 9月16日	平成17年度に実施した「日本の伝統・文化」カリキュラム開発を受けて、従来の教科・科目の枠組みを超えて日本の伝統・文化について計画的・系統的な指導を実施し、日本人としての自覚と誇りを養うとともに、世界の多様な文化を尊重する態度や思考をはぐくむ教育を推進するため、同副教材の研究・開発を実施した。	
	音楽教育、音楽文芸、楽理科、音楽環境創造科、他(美術学部、学外) (http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/buka/shidou/dentou_top.htm)	東京都教育委員会委員長		
11	平成18年度文化庁芸術団体人材育成支援事業 表象空間の創作現場を知ろう<表象空間芸術セミナー>	12月16日 計3回	20世紀、日本の舞台表象空間創作の文化資産を伝承し、21世紀の舞台美術家・研究者の育成を目的とした講習会。講習会のテキスト、講習会記録をデジタルデータ化し、表象空間芸術の基礎的資料として保存する。(3回開催、1回目12月16日・2回目1月20日・3回目2月24日)	
	美術学部建築学科黒川研究室	文化庁 NPO法人ペタアートネットジャパン		
12	平成18年度文化庁芸術団体人材育成支援事業 「文化芸術創造のまち - 文化振興のための基盤研究 - 」 「大学から文化力」シンポジウム	19年 2月24日	文化庁支援事業「文化芸術創造のまち 文化振興のための基盤研究」において「大学から文化力」シンポジウムを開催。本事業は、今日の芸術文化振興のための課題「日本の伝統や文化振興」をテーマに、本学が地域と連携し、伝統工芸及びものづくり産業の振興と地域文化振興の在り方についての基盤研究を行うもの。(日本画 関研究室、鍛金 篠原研究室、漆芸 三田村研究室、染織 山下研究室、美術教育 本郷研究室)	
	美術学部(日本画、鍛金、漆芸、染織、美術教育)	文化庁		

No	プロジェクト等の名称	会 期 等	概 要	本学学生の参加(注1)
	主な参加学科・専攻 (参考URL)	連 携 先		
13	「藝大とあそぼうin北とぴあ」	11月23日	奏楽堂における過去の「藝大とあそぼう」の演奏会の実績が 北区文化振興財団の目にとまり、2006年度の「北とぴあ国際音楽祭」の一演目として、ファミリーを対象とした「藝大とあそぼう」を上演して欲しいという要請を受けた。今年の音楽祭のテーマが“つき”であったため、昔ばなしの「かぐや姫」を下敷きに、オリジナル台本を書き下ろし、芝居と音楽の演奏が一体となったコンサートが、音楽学部の協力を得て実施された。演出は演奏芸術センターの客員教授である文学座の西川信廣氏が担当した。またチラシ・ポスターの制作にあたっては、北区が台東区の例を参考に北区の小学生から「かぐや姫」の絵を募集し、最優秀作をチラシに採用すると共に、すべての応募作品を音楽祭の期間中、北とぴあ内に展示した。	
	演奏芸術センター、音楽学部 (https://www.kitabunka.or.jp/ongakusai/on2006/image/1123kaguya.jpg)	北区文化振興財団		
14	メサイア公演	12月12日	年末恒例のチャリティー公演、ヘンデルのオラトリオ「メサイア」の演奏会。 「芸大メサイア」の愛称で親しまれているこの演奏会は、1951年から毎年、東京芸術大学音楽学部の無償出演で開かれており、今回が56回目。教員や学生ら約250名が演奏した。収益は社会福祉事業に充てられている。	
	音楽学部	社会福祉法人 朝日新聞構成文化事業財団		
15	モダンと粋の“わ”フォーラム	7月14日 14:00 ~ 20:00	本学、NPO法人大丸有エリアマネジメント協会、NPO法人神田学会が協同で、実行委員会を組織し、開催した芸術による都市文化振興プログラム。 当日はプレゼンテーション、展示、コンサートなどさまざまなプログラムを行い、200名を超える来場者があった。文部科学省「丸の内元気文化プロジェクト」参加事業。フォーラムでお披露目された「丸の内・日本橋・神田アート散歩マップ」は、神田学会事務局で無料配布中。	
	美術学部・音楽学部 (http://www.ligare.jp/wa/index.html)	モダンと粋の “わ”フォーラム 実行委員会		
16	平成18年度伝統音楽研修会	8月1日	小・中・高の音楽教員のための邦楽実技研修会。本学を会場に全国から105名の現職教員が参加し、箏、尺八、三味線、邦楽囃子のコースに分かれて本学邦楽科教員より指導を受けた。	
	邦楽	文部科学省		
17	社会を明るくする運動	8月5日	法務省主唱の“社会を明るくする運動”は今回で56回を迎え、「更生保護の日」である7月1日からの1か月を強調月間として、全国各地で新聞やテレビ等による広報、街頭キャンペーンや講演会の開催など、さまざまな活動が実施されており、本学で行う「匠に学ぶワークショップin東京芸術大学」も今年で4回目となる。鍛金教室「銀のバターナイフを作ろう!」、デザイン講座「色とかたちで遊ぼう!」、音楽講座「竹の太鼓を作って演奏しよう!」により構成。	
	デザイン、工芸、打楽器	法務省		
18	取手市小中学校との文化交流	通年	<取手市における社会貢献事業を推進するために締結している協定に基づく交流事業の1つ> 中学校における吹奏楽部演奏指導 8校 小学校における指導 15校 教員研修会の開催(美術科教員26名 音楽科教員26名を対象に実施。)	
	美術学部・音楽学部	取手市教育委員会		

No	プロジェクト等の名称	会 期 等	概 要	本学学生 の参加 (注 1)
	主な参加学科・専攻 (参考URL)	連 携 先		
19	取手アートプロジェクト2006	11月11日 ~ 11月26日	<p><取手市における社会貢献事業を推進するために締結している協定に基づく交流事業の1つ> 取手アートプロジェクト(TAP)は、1999年より市民と取手市、東京芸術大学の三者が協働で行なっているアートプロジェクト。 若いアーティストたちの創作発表活動を支援し、市民に広く芸術とふれあう機会を提供することで、取手市が文化都市として発展していくことをめざすもの。 2006年の副題は「一人前のいたずら 仕掛けられた取手」、応募課題は「街・音・かたち」 イベント期間中外も、TAPサテライトギャラリーでの展示やアーティストの学校派遣などを行っている。 平成16年度文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」採択(16~18年度) 平成18年度文化庁「文化芸術による創造のまち」支援事業 平成18年度地域づくり表彰国土交通大臣賞受賞</p>	
	先端芸術表現、音楽環境創造ほか (http://www.toride-ap.gr.jp/2006/)	茨城県取手市		
20	壁画によるまちづくり	8月7日 ~ 9月2日	<p><取手市における社会貢献事業を推進するために締結している協定に基づく交流事業の1つ> 取手市が取り組んでいる快適な環境整備のための計画的な壁画制作への協力。市の「壁画によるまちづくり委員会」への参加、市民ボランティアと共同しての壁画制作を実施。18年度は、関東鉄道常総線西取手駅のガード下に縦約4.5m×横約15mの壁画を制作。(原画は、大学院美術研究科壁画専攻2年生がデザインした作品。)次年度以降も継続予定。</p>	
	壁画	茨城県取手市		
21	取手市民講座「炎の祭り」	11月4日 ~ 11月27日	<p><取手市における社会貢献事業を推進するために締結している協定に基づく交流事業の1つ> 取手校地で、大学院生らを講師に市民40名が、粘土制作から登り窯での本焼きまでを体験。1998年より毎年実施。 18年度は、11/4粘土制作,11/11講演会,11/18絵付け,11/22・23薪窯焼成見学会,11/27作品受け渡し。</p>	
	陶芸	茨城県取手市		
22	デザインプロジェクト	-	<p>「デザインプロジェクト」は、大学院修士課程の必修科目。平成18年度は「足立区」と連携を図り、地域振興・活性化、特色ある商品の開発などのデザインプロジェクトを立ち上げ、総合的なデザイン開発に取り組んだ。小学生対象のワークショップなども行った。</p>	
	デザイン	足立区		
23	千住アートプラットフォーム	10月12日 ~ 11月30日	<p>平成18年9月に足立区北千住に移転した東京芸術大学音楽環境創造科が中心となって展開する公開プログラム。「講演とシンポジウム 日本の映画音楽」、「ライブとシンポジウム 対話する音楽・映像・政治」、「岩下徹ダンス公演+公開ワークショップ+トークセッション」、「富田勲トークセッション モーグシンセサイザーから立体音響まで」、「インゴ・ギンター展覧会 トポロジー・ドライブ 政治、論理、信仰を超える地平と水平」の各プログラムを実施した。</p>	
	音楽環境創造科 (http://www.geidai.ac.jp/labs/mce/)	足立区教育委員会		
24	光のおばけ煙突 プロジェクト	12月10日 ~ 1月31日	<p>千住校地開校に伴う、足立区民と芸大の交流を図るイベントの一環として、「光と彫刻によるモニュメント」の設置を計画したもの。千住地域の伝説的建造物「千住火力発電所おばけ煙突」へのオマージュとなる作品を制作し、18年12月に点灯した。</p>	
	彫刻科、音楽環境創造科	足立区教育委員会		
25	アトリエゾンセンター(ALC)	10月2日 ~ 3月31日	<p>足立区との多様な連携事業の企画・立案・調整を行うとともに、その連携事業の効果等を調査研究するため、足立区との連携により、本学千住校地に設置した。</p>	
	応用音楽学	足立区教育委員会		

No	プロジェクト等の名称	会 期 等	概 要	本学学生 の参加 (注 1)
	主な参加学科・専攻 (参考URL)	連 携 先		
26	天空劇場を活用した演奏会	9月12日 ~ 11月11日	足立区民を対象として、足立区の東京芸術劇場の天空劇場において、「芸大オーケストラ演奏会」(9/12)、「チェンバーオーケストラ演奏会(ゲルハルト・ボッセ)」(9/18)、「山下洋輔 meets 松原勝也ストリング・カルテット」(10/9)、「OTTO WINTER PLAYS MOZART ~ オットー・ヴィンターと素敵な仲間たち ~」(11/11)を実施した。	
	音楽学部	足立区教育委員会		
27	文化政策・地域文化振興フォーラム	10月20日 ~ 3月17日	足立区のシアター1010において「文化政策の新展開 - 文化立国の実現と地域文化の発展 - 文化政策・地域文化振興フォーラム in 千住」(10/20-21)を開催し、これを受けて足立区内の文化資源(民俗芸能)調査(1/13-3/17)を実施した。	
	応用音楽学、ALC	足立区教育委員会		
28	西新井文化ホールを活用した演奏会	10月21日・10月29日	足立区民を対象として、足立区の西新井文化ホールにおいて、「邦楽演奏会」(ガラコンサート)及び「邦楽演奏会 ~ 市川染五郎を迎えて ~」を実施した。	
	邦楽科、ALC	足立区教育委員会		
29	藝大and足立 文化の日ジョイントコンサート	11月4日・11月5日	区内音楽団体との共演により、足立区の東京芸術センターの天空劇場において、「聴いて歌おう! 心に響く日本のうた」及び「プラスの輝き!」を実施した。	
	音楽教育、音楽環境創造科、ALC	足立区教育委員会		
30	芸大で おとあそび 親子教室	11月16日 ~ 3月15日	足立区内在住の未就学児とその保護者を対象に、本学千住校地行動室において、子育て支援のための音楽教育活動を4グループ各7回にわたり実施した。	
	応用音楽学、ALC	足立区教育委員会		
31	区内小中学校等を対象にした音楽教育支援活動	11月16日 ~ 3月30日	足立区内の小中学校、幼稚園等を訪問し、音楽教育支援活動を実施した。	
	音楽教育、ALC	足立区教育委員会		
32	区内高齢者施設を対象とした音楽療法活動	12月15日 ~ 3月16日	足立区内の特別養護老人ホーム、グループホーム等の14の高齢者施設を訪問し、高齢者のQOL向上のための音楽療法活動を実施した。	
	応用音楽学、ALC	足立区教育委員会		
33	芸大で ちいさなちいさな クリスマスコンサート ~ 障害のある子どもたちと共に ~	12月16日	足立区内在住の障害児とその家族を対象に、本学千住校地観察室において、障害児を抱える家庭の支援を目的としたミニコンサートを実施した。	
	応用音楽学、ALC	足立区教育委員会		
34	区内在住の障害児を対象とした音楽療法	12月18日 ~ 3月12日	足立区内在住の障害児(自閉症児)を対象に、本学千住校地行動室において、音楽療法活動を3グループ各5回(面談を含む)にわたり実施した。	
	応用音楽学、ALC	足立区教育委員会		
35	東京藝術大学からクリスマスの贈り物 親子クリスマスコンサート ~ 三矢直生さんを迎えて ~	12月23日	足立区内在住の未就学児とその家族を対象に、足立区の東京芸術センターの天空劇場において、子育て支援を目的としたクリスマスコンサートを実施した。	
	音楽学部	足立区教育委員会		
36	東京藝術大学文化講座	1月29日 ~ 3月20日	本学千住校地において、足立区民を対象に「文学から見た江戸・明治(全3回)」及び「ドイツの詩と音楽(全3回)」を、区内のピアノ指導者を対象として「ピアノ・レスナーズ・クリニック~ピアノ教師のためのレクチャーとワークショップ~(全2回)」を実施した。	
	音楽文芸、音楽教育、ALC	足立区教育委員会		
37	小中学校の音楽教諭を対象とした実技研修	2月20日	足立区の小中学校の音楽教諭を対象に、本学千住校地において、音楽教育支援のための邦楽実技研修会を実施した。	
	音楽教育、ALC	足立区教育委員会		
38	東京藝術大学 ~ サロンコンサート ~	3月14日・3月23日	足立区の東京芸術センターのピアノラウンジにおいてピアノのミニコンサートを1日3回×2日実施した。	
	音楽学部	足立区教育委員会		
39	芸大で おとあそび 親子コンサート	3月21日	区内在住の未就学児とその家族を対象に、本学千住校地スタジオAにおいて、子育て支援を目的としたコンサートを実施した。	
	応用音楽学、ALC	足立区教育委員会		

No	プロジェクト等の名称	会 期 等	概 要	本学学生 の参加 (注 1)
	主な参加学科・専攻 (参考URL)	連 携 先		
40	横浜市主催の映像文化都市 フェスティバル「ヨコハマE I Z O N E (エイゾーン)」	7月22日 ~ 7月30日	横浜市 横浜市では文化芸術創造都市づくりの重点施策として「映像文化都市づくり」を推進しており、本フェスティバルは本学映像研究科が共催した。本学横浜校地馬車道校舎では、映画専攻学生の「作品上映会」、新港校舎ではメディア映像専攻学生による作品展示「OPEN STUDIO vol.2」を実施。また、馬車道校舎はスタンブラリーの会場ともなり、期間中、地元市民をはじめ多数の来場者でにぎわった。(期間中の合計来場者数：馬車道校舎869名、新港校舎381名)	
	映像研究科 (http://www.y-eizone.jp/)	横浜市		
41	香川県 = 芸大交流事業	5月 ~ 10月	香川県 香川県が進める「県民アートアクション21」に協力。 「美術ワークショップ イン 小豆島」は、平成13年から毎年行われ、6回目の開催となった。(18年度は8/7~10) 毎年デザイン科教員、大学院生(18年度は16名)が協力している。18年度のコースは小学生(五年生以上)、中学生、高校生の三コースで、デッサン及び作品制作を指導する。また、ワークショップで制作した作品と講師となった教員等の作品の展示も行っている。(18年度は10/6~9高松シンボルタワー市民ギャラリー、10/21,22小豆島町西村のオリーブ記念館で開催。) 「かがわ音楽講座」では、音楽科教員が協力。5回目の開催。公開講座、コレペティション講座、個人レッスンで講師として指導した。(18年度は5/14)個人レッスンの受講生24名によるコンサートも実施している。(18年度は10/1に香川県県民ホールで開催。)	
	デザイン、音楽	香川県		
42	群馬県=21世紀文化づくり 事業 芸術の「原」	7月28日 ~ 7月31日	群馬県 群馬県の21世紀文化づくり事業に協力。 「芸術の『原』」では、小学校高学年の子供達が毎年夏休みに3泊4日で1作ずつ巨大絵本の1場面を制作するもので、群馬県が創作活動など表現することを通して、芸術の原点である豊かな感性、洞察力、自由な発想力などを子ども達が育んでもらおうと2002年から実施しているもの。本年が5回目、5年間5作品の連作が完成した。池田教授ら教員と大学院生が小学生への作品制作指導行ったもので、参加児童は延104名となった。	
	デザイン	群馬県		
43	ヒミング・2006	7月22日 ~ 8月6日	富山県氷見市 「ヒミング・2006」は、2004~5年に行われたビデオアート・プロジェクト「氷見クリック」が発展した、地域創造型アート・プロジェクト。 「ヒミング/himming=氷見+ハミング」という言葉は、富山県氷見市において「自然環境/人/社会」とのやさしい調和をゆっくりと創っていく気持ちを表している。中村助教授が、企画立案、制作、実施の全般にわたって協力している。	
	壁画 (http://www.himming.org/himming2006/)	富山県氷見市		
44	「妙高市夏の芸術学校」	7月27日 ~ 7月30日	妙高市 日本近代美術界の祖 岡倉天心がこよなく愛し没した妙高市赤倉温泉を主会場に開催する芸術創作教室の講師として協力。一般を対象とした絵画指導を行う。	
	油画	妙高市		
45	群馬県みなかみ町との連携	8月 ~ 10月	群馬県みなかみ町 群馬県みなかみ町のアートを使った町おこしに協力。学生を講師として小学生を対象にしたワークショップを行ったり、学生の卒業作品を町中に展示するなど。 この取組については、11/11のNHK「おはよう日本」で「アートで町おこし~群馬県 みなかみ町~」として紹介された。	
	油画	群馬県みなかみ町		
46	三重県尾鷲地区地域活性化事業	2月5日 ~ 3月4日	三重県尾鷲地区 「ものづくり」研究を通して地域教育を図る。 「紀北町アート×クラフトプロジェクト 07」小学生を対象にしたワークショップを実施し、織維造形の野外展示を行って地域とのコミュニケーションを計っている。全部で6つの企画イベントが行われた。「ものづくり」や造形表現が身近に感じられ、地域の活力となるよう願っている。地域拠点をつくり、より強いコミュニケーションを取れるよう務める。	
	工芸 (http://www.re-forest.com/monodukuri/index.html)	三重県尾鷲地区		

No	プロジェクト等の名称	会 期 等	概 要	本学学生 の参加 (注 1)
	主な参加学科・専攻 (参考URL)	連 携 先		
47	伊澤修二記念音楽祭	10月28日 ~ 10月29日	高遠町出身で本学の前身である東京音楽学校の初代校長である伊澤修二を記念した記念音楽祭。本学学生オーケストラが毎年出演している。また、毎年、記念音楽会の翌日に地元の高遠中学校を訪問し演奏指導を行っている。本年は、音楽学部4年生9名が、同校と高遠高校の吹奏楽部員約20人に演奏指導を行った。	
	音楽学部	長野県伊那市教育委員会		
48	ミュージックセミナー	11月3日 ~ 11月4日	独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立磐梯青少年交流の家と共催。学年・学校の枠を超え、主体的・意欲的に音楽活動に取り組む青少年の交流を促進し、技術の向上を図るとともに、幅広い人間関係や社会性の育成を図ることを目的としたセミナー。教員並びに木管・金管専攻の学部学生・大学院学生が講師となり、フルート、クラリネット、サクソ、オーボエ、ファゴット、パーカッション、トランペット、トロンボーン、ホルン、ユーフォニアム、チューバ、コントラバスなどの楽器の講習を行った。	
	音楽学部	国立磐梯青少年交流の家		
49	「繭倉びっくら！ワークショップ」	7月29日 ~ 7月30日	大正6年建設の木造4階の繭倉の保存再生を考えるための市民参加型のワークショップ。繭倉会（市民団体）の主催のもと、建築科益子研究室 教育研究助手と修士1年学生が他大学と連携して実施。繭倉の再生の提案を発表・展示した。	
	建築科 益子研究室	福島県須賀川市		
50	みやこ町愛郷音楽祭	10月21日	みやこ町（旧豊津町）出身の里美義（本学前身である音楽取調掛教授）、高橋信夫（音楽活動家）を記念して9年間続いた「福岡県豊津町愛郷音楽祭」を継続し、町村合併後初めて開催された音楽祭。大学院生、学部生、卒業生による管打楽器生有志が記念演奏会に出演した。また、前日のリハーサルの合間に、音楽祭に参加した地元の中学生、高校生、合唱団に対し、演奏指導を行った。	
	音楽学部	福岡県みやこ町		

(注1) 「 」は本学の学生が出品・発表したもの又は講師補助者等として参加したもの。

平成18年度 大学会館展示室 利用状況

使用時間：9時00分～19時30分〔但し、夏期、冬期及び春期休業中は9時00分～16時30分〕

使用期間の区分	休館日等	展示名等	展示概要等	展示者所属・人数等
4月3日(月)～4月7日(金)		21人展～工芸科新2年生～	工芸作品	工芸 21名
4月10日(月)～4月14日(金)		彫刻グループ展	彫刻	彫刻 3名
4月17日(月)～4月21日(金)				
4月24日(月)～4月28日(金)				
5月1日(月)～5月2日(火)	3日(水)～5日(金)憲法記念日等			
5月8日(月)～5月12日(金)				
5月15日(月)～5月19日(金)				
5月22日(月)～5月26日(金)		何何何	紙を使用したインスタレーション(素材:テグス, 紙)	先端 2名
5月29日(月)～6月2日(金)			平面と映像	油画 3名
6月5日(月)～6月9日(金)		Pole to Pole	油画, 先端 学部3年	油画, 先端 5名
6月12日(月)～6月16日(金)		『スタッフ展“油画研究室着任者紹介”』(仮名)		
6月19日(月)～6月23日(金)		“白”展	陶器と音と映像	工芸 2名
6月26日(月)～6月30日(金)			空間演出	彫刻 2名
7月3日(月)～7月7日(金)		「ラリックス ラリックス いよいよ青く」	宮沢賢治「春と修羅」より	芸術学 10名
7月10日(月)～7月14日(金)		3人展	写真、日本画、油画	油画等 3名
7月18日(火)～7月21日(金)	17日(月)海の日			
7月24日(月)～7月28日(金)		4人展	油画を始めとする平面作品を主とした展示	油画 4名
7月31日(月)～8月4日(金)				
8月7日(月)～8月11日(金)				
8月14日(月)～8月16日(水)	14日～16日登校禁止			
8月17日(木)～8月18日(金)				
8月21日(月)～8月25日(金)				
8月28日(月)～9月1日(金)	1日(金)は19時30分まで		平面	油画 2名
9月4日(月)～9月8日(金)		芸術祭使用		
9月11日(月)～9月13日(水)		芸術祭使用		
9月14日(木)～9月15日(金)		2人展	絵画による展示	デザイン 2名
9月19日(火)～9月22日(金)	18日(月)敬老の日			
9月25日(月)～9月29日(金)		写真	先端2人による写真展示	先端 2名
10月2日(月)～10月6日(金)	4日(水)開学記念日	交流展 韓国-日本(韓国中央大学校大学院西洋書画科・油画7研)		油画7研
10月10日(火)～10月13日(金)	9日(月)体育の日	(11日から13日まで教職員健康診断)		
10月16日(月)～10月20日(金)		日本画三年展(仮)	日本画作品展示	日本画 6名
10月23日(月)～10月27日(金)		2人展(川崎康介と田村光太郎)	日本画による(在学生・卒業生)の2人展	日本画 2名
10月30日(月)～11月2日(木)	3日(金)文化の日	美術教育研究会展示発表会		
11月6日(月)～11月10日(金)		美術教育研究会展示発表会		
11月13日(月)～11月17日(金)		表層の内側・東京-大邱(国際交流展・油画4研)		油画4研
11月20日(月)～11月24日(金)	23日(木)勤労感謝の日	染織展	染織で勉強した事の作品展示	染織 15名

使用期間の区分	休館日等	展示名等	展示概要等	展示者所属・人数等
11月27日(月)～12月1日(金)		「体験・Tiyán」	中国と日本の大学院彫刻科学生による国際交流展	彫刻 10名 (東京芸大と中国の精華大・中央美大との交流展)
12月4日(月)～12月8日(金)		インターイメージ/日本とオーストラリアの現代美術の出会い(油画3研)		油画3研
12月11日(月)～12月15日(金)		5人展	絵画作品	油画技法材料 5名
12月18日(月)～12月22日(金)		絵画を考える会	平面作品等	油画 2名
1月5日(金)		居間展(仮)	様々な媒体を用いて人を空間にとりこんでいく。	彫刻 2名
1月9日(火)～1月12日(金)	8日(月)成人の日			
1月15日(月)～1月19日(金)		女6人展(仮)	絵画, 版画, 小立体	油画 6名
1月22日(月)～1月26日(金)		デジタル芸大展(芸術情報センター)		
1月29日(月)～2月2日(金)		芸大の留学生展	在日の芸大留学生達が一緒に作品を展示することを通じて、違う文化や考え方の交流	美術教育 11名
2月5日(月)～2月9日(金)		美術教育研究室	美術教育研究室修士一年, 研究生, 博士一年有志による発表	美術教育 8名
2月13日(火)～2月16日(金)	12日(月)建国記念の日	卒業・修了作品展準備		
2月19日(月)～2月26日(月)		卒業・修了作品展(21日～26日)		
2月27日(火)～3月2日(金)	入構禁止期間			
3月5日(月)～3月9日(金)	入構禁止期間			
3月12日(月)～3月16日(金)	入構禁止期間			
3月19日(火)～3月23日(金)	入構禁止期間			
3月26日(月)～3月30日(金)		自然素材	インスタレーション及び平面作品の展示	美術解剖学 2名

太字部分は、大学行事等での使用。

大学会館での学生が参加する展覧会開催件数 計28件

平成18年度 東京芸術大学 大学美術館展覧会 入場者数一覧

大学美術館特別展・企画展

頁	展覧会名	会期	合計	1日平均入館者数
1	ドイツ・表現主義の彫刻家：エルンスト・バルラハ	4月12日～5月28日（41日間）	30,623	747
5	芸大コレクション展：大正・昭和前期の美術	4月12日～5月28日（41日間）	24,128	588
9	ルーヴル美術館展 - 古代ギリシア芸術・神々の遺産 -	6月17日～8月20日（56日間）	274,496	4,902
10	NHK日曜美術館30年展	9月9日～10月15日（32日間）	97,688	3,053
12	Japan & Korea 漆 arts exhibition 日本・韓国 現代漆芸作家による漆芸の現在	9月28日～10月15日（16日間）	12,481	780
13	The Wonder Box - ユニヴァーシティ・ミュージアム合同展 -	11月4日～12月17日（38日間）	6,789	179
17	芸大コレクション展 斎藤佳三の軌跡 - 大正・昭和の総合芸術の試み -	11月4日～12月17日（38日間）	6,797	179
19	野田哲也展	1月11日～1月28日（16日間）	3,500	219
21	羽生出展	1月11日～1月28日（16日間）	3,982	249
23	卒業・修了作品展	2月21日～2月26日（6日間）	11,662	1,944
合計		300日間	472,146	1,574

陳列館企画展

頁	展覧会名	会期	合計	1日平均入館者数
25	版画研究室交流展：ヴィクトリア・カレッジ・オブ・アーツ、メルボルン大学 - 東京芸術大学美術学部	4月18日～5月2日（13日間）	574	44
26	素描展 日本画第二研究室	8月8日～8月20日（13日間）	12,844	988
27	日本画第一研究室発表展	9月13日～9月25日（13日間）	3,793	292
28	Good Design Award 1957-2006 Gマーク50年、時代を創ったデザイナーと100のデザインの物語 展	10月3日～10月13日（11日間）	6,340	576
29	伝統とデザイン 国際交流デザイン展 - 日本・イギリス・韓国 - 東京芸術大学、UCCA芸術大学、中央大学の3校の授業交換による学生作品	10月19日～10月29日（11日間）	652	59
30	退任記念 堀口光彦展	11月2日～11月19日（16日間）	2,387	149
32	林 亘退任記念 東京芸術大学ガラス造形研究室展	11月28日～12月10日（12日間）	1,760	147
35	東京芸術大学陶芸研究室・大倉陶園共同研究 「ディナー食器への挑戦ーチャイナペインティングの美」	1月15日～1月22日（6日間）	4,838	806
23	卒業・修了作品展	2月21日～2月26日（6日間）	9,329	1,555
合計		101日間	42,517	421

平成18年度大学美術館総入場者数（ + ）

514,663 人



展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



ドイツ・表現主義の彫刻家 エルンスト・バルラハ展

会期： 2006年4月12日(水)-5月28日(日)
月曜休館
午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場： 東京藝術大学大学美術館 3F

20世紀に大きな足跡を残した芸術家の一人、エルンスト・バルラハ(1870～1938)の日本で初めての回顧展です。

彫刻、版画、劇作の分野で活躍したバルラハは、生涯「人間」をテーマとし、貧困や飢餓、戦争に直面する人たちの喜びや悲しみを重厚かつ素朴な芸術作品に表しました。最も注目を集めるのが宗教性をもたえる彫刻で、生と死の感情が簡素な輪郭線で重厚に表現され、見る人を深い観照へと誘います。

本展では生涯に約100点制作された木彫の中から12点を出品するほか、ブロンズ24点、素描75点、版画36点、関係資料など合わせて約180点の作品を通して、バルラハ芸術の全容を紹介します。「日本におけるドイツ年2005/2006」の記念事業の一つでもあります。

主催： 東京藝術大学、朝日新聞社

後援： ドイツ連邦共和国大使館、東京ドイツ文化センター

特別協賛： DEPFA BANK plc

協賛： 野崎印刷紙業株式会社

協力： ヤマトロジティクス株式会社、日本航空

助成： 国際交流基金

企画協力： エルンスト・バルラハ・ハウス、エルンスト・バルラハ財団

観覧料： 当日券 一般1300円 大学生1000円 高校生700円
前売券 一般1100円 大学生800円 高校生500円
団体券 一般1000円 大学生700円 高校生400円

* 中学生以下は無料

* 団体料金は20名以上に適用されます。(団体観覧者20名につき1名の引率者は無料)

* 障害手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料

<問い合わせ>

ハローダイヤル: 03-5777-8600

[->プレスリリース](#) (PDF形式)

● [図録購入はミュージアムショップへ](#)

東京展開催概要

- 会期 平成18年4月12日(水)～5月28日(日)
- 開館時間 10:00～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日 毎週月曜日
- 会場 東京藝術大学大学美術館 展示室3・4(3階)
〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8
* JR上野駅公園口、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
* 京成上野駅、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅より徒歩15分

■観覧料

	一般	大学生	高校生
当日券	1300円	1000円	700円
前売券	1100円	800円	500円
団体券	1000円	700円	400円

- * 中学生以下は無料
- * 団体料金は20名以上に適用されます(団体観覧者20名につき1名の引率者は無料)
- * 障害手帖をお持ちの方(介護者1名も含む)は無料

- 主催 東京藝術大学、朝日新聞社
- 後援 ドイツ連邦共和国大使館、東京ドイツ文化センター
- 特別協賛 デプファ・バンク・ピーエルシー(デプファ銀行)
- 協賛 野崎印刷紙業株式会社
- 協力 ヤマトロジスティクス株式会社、日本航空
- 助成 国際交流基金
- 企画協力 エルンスト・バルラハ・ハウス、エルンスト・バルラハ財団
- 問合せ ハローダイヤル 03-5777-8600
- 出品点数 彫刻57点、素描76点、版画36点、他関係資料 計約180点

- 巡回会場 平成18年2月21日(火)～4月2日(日) 京都国立近代美術館
6月3日(土)～7月17日(月・祝) 山梨県立美術館

◆本展に関するお問い合わせ

- 朝日新聞社事業本部文化事業部 河合哲夫 (kawai-t1@asahi.com)
日永勝裕 (hinaga-k@asahi.com)

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2
Tel 03-5540-7450 / Fax 03-3546-1894

- 【同時開催】芸大コレクション展「大正・昭和前期の美術」
会期：平成18年4月12日(水)～5月28日(日)
エルンスト・バルラハ展をご覧のお客様は上記展覧会を無料でご覧いただけます。

展覧会概要

エルンスト・バルラハ(1870～1938)は20世紀において最も注目される彫刻家・版画家・劇作家の一人です。その作風は重厚かつ素朴で、心に沁みる深い観照性を特徴とします。困難に耐える人々の気持ちを宗教的感情にまで高め、根源的な魂の表現を探究した作品は、観る者の感性に直に訴えずにはいません。力強い心情表出と逞しい造形表現は、ドイツ表現主義の特徴とされ、ドイツにおける近代芸術の優れた遺産となっています。

木彫の他、ブロンズや陶土などの素材を用い、作風としては伝統からの離反を指向したとも言われますが「深い宗教的敬虔さ」「地域との強い結合」などの心情は、中世以来の北方彫刻の伝統を色濃く受け継いでいます。

「貧困」「飢餓」「死」など深刻な主題を扱う一方で、おおらかな明るさやのびのびとした安定感、楽天的な寛容さを忘れていたわけではありません。群像のような彫刻形態には、うねるような造形的力強さが認められます。困難な状況を逞しく生き抜く強い意志と快活さを刻むことで、生きる勇氣と喜びが伝わる作品となっています。

本展は、「日本におけるドイツ年2005/2006」プログラムの一環として、彫刻、素描、版画など約180点でバルラハ芸術の全容をご紹介します。

展示構成

- 第1章 ハンブルクとドレスデンでの修業時代(1888-1896)
- 第2章 パリ滞在時代(1896-1897)
- 第3章 ハンブルク、ベルリン、ヘール時代…ムッツ製陶工房での制作(1898-1904)
およびヘール製陶専門学校での教師時代(1904-1905)
- 第4章 ロシア旅行(1906)とベルリンでの芸術家としての初成功(1907-1908)
- 第5章 フィレンツェでの修業時代(1909)
- 第6章 ギュストロー時代(1910-1938)…第一次世界大戦中・戦後(1914-1926)
- 第7章 偉大なる制作の時代(1927-1932)
そしてナチス時代における芸術家バルラハの存在(1933-1938)

バルラハは医師の息子として、ドイツに生まれました。ハンブルク工芸学校、ドレスデン美術学校、パリのアカデミー・ジュリアンで陶芸や彫刻などを学びました。陶芸学校の教師を経て、ロシアに旅し、自らの風土と大地とともに懸命に生きる農民たちの姿に深い感銘を受け、それを機に独自の作風を展開します。

5年間のベルリン滞在后、1910年にドイツ北部のギュストローに移住し、彫刻制作の傍ら、数多くの木版画やリトグラフ、さらには劇作を含む文学作品を発表します。1927年以降は、多くの公共記念碑や教会堂聖像を制作しました。

また、ハンブルク美術工芸博物館長のユストゥス・ブリンクマンや陶芸家のリヒャルト・ムッツとの出会いなどにより、バルラハは生涯を通し日本を含む東洋の文化に強い関心と憧れを示しており、少なからぬ影響を受けています。

しかし、1933年以降、バルラハはナチス政府により個人主義的な非協力者とのレッテルを張られ、作品は、1937年の悪名高い「退廃芸術展」に展示され、多くが撤去ないし廃棄される憂き目にあいました。政府による執拗な弾圧の中、バルラハは不遇のうちに北の港町ロストックでこの世を去りました。

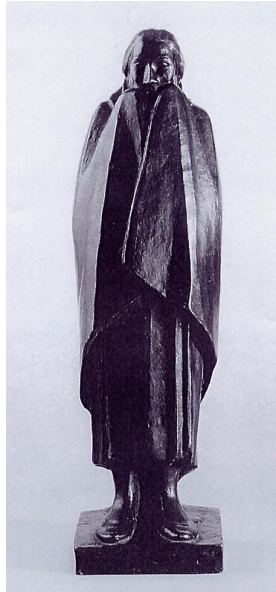


エルンスト・バルラハ

～主な出品予定作品から～



読書する修道院生徒 (木彫)



凍える少女



雑誌「ユージェント」(表紙)



歌う男 (ブロンズ)



復讐者 (ブロンズ)



最初の日(『神の彷徨』連作より第1葉) (版画)



休息するゲーテ (陶器)



展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



芸大コレクション展 大正・昭和前期の美術

(※芸大コレクション展は、現在年2回開催しています。)

会期： 2006年4月12日(水)-5月28日(日)
月曜休館
午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

※前期と後期で一部作品の展示替えを行います。
(前期:4月12日(水)－5月7日(日)、後期:5月9日(火)－5月28日(日))

会場： 東京藝術大学大学美術館

平成18年度春のコレクション展では、大正から昭和前期にかけての美術に焦点を当て、明治の作品を中心に取上げた従来のコレクション展では触れる機会の少ない、当館所蔵の大正・昭和前期の隠れた名品を、日本画、洋画、工芸、版画からご紹介いたします。「個」と「自由」の重要性の主張、都市文化・大衆文化の開花、社会主義思想や労働運動の隆盛などといった、第二次世界大戦に至るまでの社会・文化の潮流を踏まえながら、そのような繁栄と不安の混在した大正・昭和前期における美術の動向を概観します。

展覧会は、日本画、洋画、工芸、版画の各ジャンルによる4章から構成されます。今回、特に注目すべき作品は、版画のコレクションです。これまで一同に並べられることのなかった当館の創作版画のコレクションを大きく取り上げ、近代日本版画の確立と発展の過程を追います。また、本展覧会では、平成16年度に新たに収蔵品となった長谷川潔作品を始め、近年の新収蔵品もご紹介いたします。

【主な出品作品】

高山辰雄「砂丘」、満谷国四郎「女ふたり」、松田権六「草花鳥獣文小手箱」、恩地孝四郎「美人四季 春」、長谷川潔「アレキサンドル三世橋とフランス飛行船」

主催： 東京藝術大学

観覧料： 一般 300(250)円、大学・高校生 100(50)円(中学生以下は無料)

- * ()内は20名以上の団体料金(団体観覧者20名につき1名の引率者は無料)
- * 障害者とその介護者各1名は無料
- * 「エルンスト・バルラハ展」(4月12日～5月28日)をご覧のお客様は無料でご覧頂けます

<問い合わせ>
ハローダイヤル:03-5777-8600

[->プレスリリース](#) (PDF形式)

● [図録購入はミュージアムショップへ](#)

芸大コレクション展「大正・昭和前期の美術」

会 場：東京藝術大学大学美術館（〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8）

会 期：2006年4月12日（水）～5月28日（日）41日間

開館時間：10：00～17：00（入館は16：30まで）

休 館 日：月曜日

料 金：一般 300（250）円 大学・高校生 100（50）円（中学生以下は無料）

*（ ）内は20名以上の団体料金（団体観覧者20名につき1名の引率者は無料）

*障害者とその介護者各1名は無料

*「エルンスト・パルラハ展」（4月12日～5月28日）をご覧のお客様は無料でご覧頂けます

主 催：東京藝術大学

問い合わせ：03-5777-8600（ハローダイヤル）

ホームページ：<http://www.geidai.ac.jp/museum/>

交通案内：JR上野駅公園口、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分。

京成上野駅、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅より徒歩15分。

【展覧会概要】

平成18年度春のコレクション展では、大正から昭和前期にかけての美術に焦点を当て、明治の作品を中心に取上げた従来のコレクション展では触れる機会の少ない、当館所蔵の大正・昭和前期の隠れた名品を、日本画、洋画、工芸、版画からご紹介いたします。「個」と「自由」の重要性の主張、都市文化・大衆文化の開花、社会主義思想や労働運動の隆盛などといった、第二次世界大戦に至るまでの社会・文化の潮流を踏まえながら、そのような繁栄と不安の混在した大正・昭和前期における美術の動向を概観します。

日露戦争の勝利による上昇気流に乗った日本の資本主義経済は、第一次世界大戦の間、好景気を迎え、それに伴い、この時代に出現した中産階級出身者は、深く根ざした封建制を打破し、自我の解放を目指しました。いわゆる、大正ロマンや大正デモクラシーといった、明るい響きを持つ社会の機運は、当然のように、美術にも反映されることとなります。この前向きで野心的な風潮のもと、西欧のフォーヴィスムやドイツ表現主義、キュビズムなどにおける個性表現の尊重はしっかりと受け止められ、画家は自我を独創的な表現で示そうと試みしました。日本画における日本美術院再興（大正3年）や国画創作協会の結成（大正7年）、洋画におけるフェウザン会（大正元年）や二科会（大正3年）、春陽会（大正11年）の結成、また、工芸運動の萌芽や、自画・自刻・自摺の「創作版画」運動勃興による版画の芸術性の追求とジャンルとしての確立など、形は異なるものの、反アカデミズムと「自己」表出の傾向は、どの媒体においても見られました。

しかし、この力強い機運には、大正末期から陰りが見え出します。度重なる恐慌、関東大震災（大正12年）などによって日本経済の基盤は揺らぎ始め、それはさらに、日本を悲劇へ陥れる第二次世界大戦へと続いていきます。このような社会の不穏な流れの中、それぞれの媒体は独自の発展を遂げます。洋画では、単なる西洋の模倣ではなく、西洋の表現技法を消化した上での日本独自の様式の開拓、また、未来派、シュルレアリスム、ダダといった前衛芸術の導入が見られます。さらに、この前衛芸術は、社会の潮流の下、労働者などへ焦点を当てた政治的・社会的な前衛へと変化し、それはプロレタリア美術へと発展します。日本画では、洋画に見る西洋美術の動向から新しい刺激を受けながら、古典主義的画風の見直す一方で、モチーフの抽象化・文様化によるモダニズムへの転身を図るなど、固有の秩序と調和を保った形式へと落ち着いていきます。また、工芸ではモダニズムを先導する存在となる「无型」（大正15年）の結成や帝展工芸部の設置（昭和2年）が見られ、版画では日本創作版画協会の活動によって創作版画が普及し、さまざまな版画誌が刊行されます。

このように、明暗両方の側面を持つ大正・昭和前期に制作された作品には、芸術家が自己や社会と奮闘した軌跡が鮮明に表されています。また、そこには、当時は最先端であった都市生活や風俗も描かれており、その時代の人々の日常に触れることもできます。このような時代に描かれた当館所蔵の名品を通して、美術の動向だけでなく、大正から昭和前期における社会・文化全体をご覧になって頂けるでしょう。

展覧会は、日本画、洋画、工芸、版画の各ジャンルによる4章から構成されます。今回、特に注目すべき作品は、版画のコレクションです。これまで一同に並べられることのなかった当館の創作版画のコレクションを大きく取り上げ、近代日本版画の確立と発展の過程を追います。また、本展覧会では、平成16年度に新たに収蔵品となった長谷川潔作品を始め、近年の新収蔵品もご紹介いたします。

【主な出品作品】

高山辰雄「砂丘」、満谷国四郎「女ふたり」、松田権六「草花鳥獣文小手箱」、恩地孝四郎「美人四季 春」、長谷川潔「アレキサンドル三世橋とフランス飛行船」

※前期と後期で一部作品の展示替えを行います。

（前期：4月12日（水）－5月7日（日）、後期：5月9日（火）－5月28日（日））

【貸し出し画像一覧・キャプション】



※ ④は前期のみの展示となります

- | |
|--|
| <p>① 高山辰雄「砂丘」東京藝術大学大学美術館所蔵
② 満谷国四郎「女ふたり」東京藝術大学大学美術館所蔵
③ 松田権六「草花鳥獣文小手箱」東京藝術大学大学美術館所蔵
④ 恩地孝四郎「美人四季 春」東京藝術大学大学美術館所蔵
⑤ 長谷川潔「アレキサンドル三世橋とフランス飛行船」東京藝術大学大学美術館所蔵</p> |
|--|

展覧会についての問い合わせ、画像借用の申し込みは下記までお願い致します。

広報担当 竹林佐恵

Tel: 050-5525-2438 Fax: 050-5525-2532 E-mail: takebaya@off.geidai.ac.jp

展覧会担当 佐藤真実子

Tel: 050-5525-2449 Fax: 050-5525-2533



展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



ルーヴル美術館展
—古代ギリシア芸術・神々の遺産—

会期： 2006年6月17日(土)-8月20日(日)
月曜休館(7月17日(月)は開館、18日(火)振替休館)
~~午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)~~

*** 開館時間の変更のお知らせ**

7月22日(土)より開館時間を下記のとおり変更いたします。
~~午前9時30分～午後5時(入館は閉館の30分前まで)~~

*** 開館時間の変更のお知らせ**

8月12日(土)より開館時間を下記のとおり変更いたします。
午前9時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場： 東京藝術大学大学美術館

主催： 東京藝術大学、ルーヴル美術館、日本テレビ放送網、読売新聞東京本社

後援： 外務省、文化庁、フランス大使館、ギリシャ大使館

特別協賛： 大和証券グループ

協賛： DNP大日本印刷

協力： 日本航空、日本通運、JR東日本、キャドセンター、BS日テレ、シーエス日本、ラジオ日本 J-WAVE 文化放送

企画協力： NTVヨーロッパ

観覧料： 当日券 一般 ¥1,300 大学・高校生 ¥1,000
前売券 一般 ¥1,000 大学・高校生 ¥700
団体券 一般 ¥1,200 大学・高校生 ¥900

* 団体料金は、20名以上に適用されます。(団体観覧者20名につき1名の引率率は無料)

* 中学生以下無料

* 障害手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料

<問い合わせ>

ハローダイヤル: 03-5777-8600

[->本展公式サイト](#)

【講演会開催】

「ギリシア陶器の絵物語 -ルーヴルのコレクションから-」

講師： アラン・パスキエ氏 (ルーヴル美術館 古代ギリシア・エトルリア・ローマ美術部門 部長)

日時： 6月17日(土) 14時00分-15時30分 (開場:13時30分)

会場： 東京藝術大学 美術学部中央棟 第一講義室

○聴講無料。定員130名。

○6月17日(土)12時より東京藝術大学大学美術館エントランスにて整理券を配布致します。

○定員になり次第締め切らせていただきますのでご了承下さい。



展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



NHK日曜美術館30年展

会期： 2006年9月9日(土)-10月15日(日)
月曜休館(ただし9月18日と10月9日は開館、9月19日と10月10日は休館)
~~午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)~~

* 開館時間の変更のお知らせ

9月30日(土)より開館時間を下記のとおり変更いたします。
~~午前9時45分～午後5時(入館は閉館の30分前まで)~~

* 開館時間の変更のお知らせ

10月13日(金)より開館時間を下記のとおり変更いたします。
午前9時30分～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場： 東京藝術大学大学美術館

美術番組の草分け的存在である「日曜美術館」は、1976年の放送開始から1500回を超える長寿番組です。毎回多彩な出演者が語る美術案内は、一般的な美術鑑賞とは異なる斬新な視点でファンを魅了してきました。このたび、2006年で放送開始30年を迎えるにあたり、記念展を開催します。

本展では、今までの放送で取り上げた作品・作家の中から、厳選した名品を中心に構成するとともに、懐かしい番組出演者が語る映像や、作家の制作過程など貴重な映像を交えながら紹介します。

名品と映像が織りなす、夢の美術案内をお楽しみください。

第I章 夢の美術案内 —著名な文化人が語る珠玉の美術案内—

高橋由一、黒田清輝、鏑木清方、前田青邨、八木一夫、ゴヤ、ルノワール、ルオー、ピカソ ほか

第II章 作家が作家を語る —交友関係や師弟関係のある作家が語る美術案内—

菱田春草、藤島武二、上村松園、棟方志功、横山操、熊谷守一、高村光太郎、平櫛田中、ヘンリー・ムーア、モネ ほか

第III章 アトリエ訪問 —作家自身が語る等身大の美術案内—

中川一政、杉山寧、岡本太郎、三岸節子、秋野不矩、富本憲吉、濱田庄司、芹沢銈介 ほか

第IV章 知られざる作家へのまなざし —日曜美術館で再確認された作家たちの紹介—

藤牧義夫、丸木スマ、小泉清、高島野十郎、田中一村

主催： 東京藝術大学、NHK、NHKプロモーション

後援： 文化庁

協賛： 大日本印刷、三井住友海上

協力： 松下電器

企画協力： NHKエデュケーショナル

観覧料： 一般1,200円(1,000円)、高校・大学生800円(600円)

中学生以下無料

※()内は前売/20人以上の団体料金

[-> 割引引きクーポン](#)

<問い合わせ>

ハローダイヤル:03-5777-8600

● [図録購入はミュージアムショップへ](#)

【巡回展】

2006年12月13日(水)－2007年1月21日(日)
京都文化博物館(京都市中京区三条高倉)

2007年2月15日(木)－3月25日(日)
広島県立美術館(広島市中区上幟町2-22)

2007年4月7日(土)－5月13日(日)
岩手県立美術館(盛岡市本宮字松幅12-3)

2007年5月26日(土)－7月1日(日)
長崎県美術館(長崎市出島町2-1)

2007年7月24日(火)－8月31日(金)
静岡県立美術館(静岡市駿河区谷田53-2)



展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



Japan & Korea 漆 arts exhibition

日本・韓国 現代漆芸作家による漆芸の現在

会期： 2006年9月28日(木)-10月15日(日)
月曜休館(ただし10月9日は開館、10月10日は休館)
~~午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)~~

* 開館時間の変更のお知らせ

9月30日(土)より開館時間を下記のとおり変更いたします。
午前9時45分～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場： 東京藝術大学大学美術館 B2F

日本と韓国は歴史的に多くの関連を持ち、幾多の名品がお互いの交流の中で生まれてきました。両国の漆芸はそれぞれの国の民族意識の中で独自に発展を遂げ、お互いに影響しあい、新しい感性を生み出してきました。日本と韓国の現代の漆芸作品を同じ空間に展示し、今後の両国の漆芸の姿を模索し、これからの幅広い文化交流を作り、似ているからこそ違う文化の根底についても、お互いに考察する機会とします。漆を通した日本と韓国の交流を、手を携えてここに発信いたします。

主催： 日本・韓国漆芸国際招待展実行委員会
韓国漆芸家会

共催： 東京藝術大学大学美術館
財団法人 輪島漆芸美術館

助成： 文化財保護・芸術研究助成財団
財団法人 ポーラ美術振興財団
財団法人 日韓文化交流基金
東京藝術大学芸術国際交流基金

協力： ときめきたいとうフェスタ
東京藝術大学漆芸研究室
株式会社 ジェムリンク
株式会社 韓国パク
株式会社 山室
株式会社 第一建設
有限会社 光永ビルサービス

後援： 輪島市

観覧料： 無料

<問い合わせ>

ハローダイヤル：03-5777-8600

【講演会開催】

9月30日(土) 東京藝術大学美術学部中央棟第三講義室
9時30分受付/10時開始(12時30分～14時休憩)～17時終了予定

日本

「縄文の漆芸に見る現在性」三田村有純 東京藝術大学美術学部教授

「蒔絵の歴史と現在の姿」小椋 範彦 東京藝術大学美術学部講師

「漆芸の修復について」加藤 寛 東京文化財研究所修復部長

韓国

「漆芸の歴史的考察」鄭 解朝 培材大学芸術学部漆芸科教授

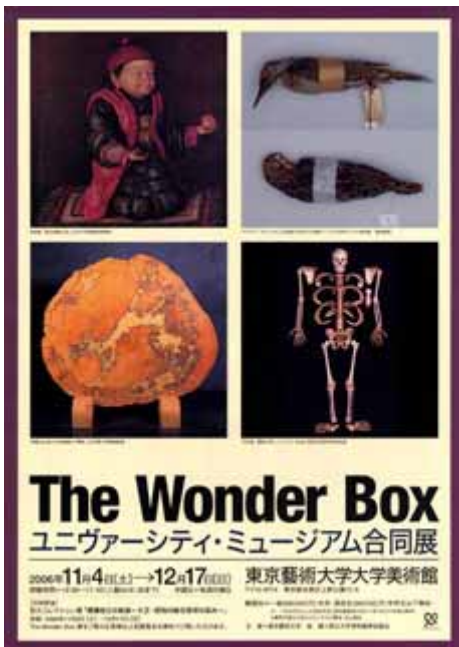
「現代漆芸の現況」鄭 栄煥 大邱大学校造形芸術学教授

「螺鈿漆器技法」孫 大賢 ソウル市無形文化財保持者



展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



The Wonder Box

—ユニヴァーシティ・ミュージアム合同展—

会期： 2006年11月4日(土)-12月17日(日)
月曜休館
午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場： 東京藝術大学大学美術館

今日の我が国では、博物館、美術館などが整備されて充実してきましたが、その一方で、全国の国立大学法人にも、研究や教育のために収集された博物資料、学術資料、芸術資料など、豊富な資料が収蔵されています。これらは一般にはあまり知られていませんが、現在の学術研究の一端を担う貴重なものばかりです。これらの資料を大学内だけで活用するだけでなく、広く一般にも公開して社会の文化資源にしていこうという理念のもとに、各大学にユニヴァーシティ・ミュージアムが設立されつつあります。

今回の展覧会は、全国25の大学や機関から、これぞという一点を東京藝術大学大学美術館に集める、ユニヴァーシティ・ミュージアムの共同企画です。最初の実験的な小規模な企画ですが、絶滅してしまった動物の剥製、生薬の標本、実験用具、絵画作品などが一堂に会するバラエティに富んだ内容で、それぞれの大学の個性が感じられ、今後の展開が期待される新機軸の展覧会といえましょう。

【出品作品】

「ニッポノサウルス・サハリネンシス」北海道大学総合博物館蔵
「ヤマゲラ」「オオジシギ」北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園・博物館蔵
「馬の腸石」「馬の耳小骨」「牛タイプ標本」「馬の年齢鑑別用歯牙標本」岩手大学ミュージアム蔵
「山内ピッケル」「金研刀」「山内東一郎作 鉦石ハンマー」東北大学総合学術博物館蔵
椿貞雄「菊子遊戯之図」山形大学附属博物館蔵
「東京大学初代総理加藤弘之像」東京大学総合研究博物館蔵
伝狩野永徳「松鷹図屏風」東京藝術大学大学美術館蔵
「田上隕石」国立科学博物館蔵
「佐渡金山圖會」新潟大学旭町学術資料展示館蔵
「生命系を紡ぐ山岳」信州大学自然誌科学館準備委員会蔵
「現代に生きる伝統薬物の知恵」富山大学和漢医薬学総合研究所民族薬物資料館蔵
「石造遺物(塔身)」金沢大学資料館蔵
「アイコノスコープ」静岡大学キャンパスミュージアム蔵
「樹齢950年の木曾檜輪切り標本」名古屋大学博物館蔵
「自動ヘリオスタット」京都大学総合博物館蔵
「タンパク質構造の日本初のX線結晶解析」大阪大学総合学術博物館蔵
「ワヤン関係資料」国立民族学博物館蔵
「ニホンアシカ剥製標本」島根大学ミュージアム蔵
「身幹儀(星野木骨)」「レプリカ」広島大学医学部医学資料館蔵
「角筆・角筆文献関係資料」広島大学総合博物館蔵
「会話する足跡—香川大学農学部遺跡」香川大学博物館蔵
「渡来的形質の拡散を示す古人骨資料群」九州大学総合研究博物館蔵
「屋久杉の円盤」「飢肥杉の円盤」宮崎大学農学部附属農業博物館蔵
「火山灰・火砕流堆積物の重なり」鹿児島大学総合研究博物館蔵
「イリオモテヤマネコ関係資料」琉球大学資料館(風樹館)蔵

主催： 東京藝術大学

後援： 国立大学博物館等協議会

観覧料： 一般500円(400円)、高校・大学生200円(100円)、中学生以下無料
※()内は20名以上の団体料金(団体観覧者20名につき1名の引率者は無料)
障害手帳をお持ちの方とその介護者各1名は無料

The Wonder Box—ユニヴァーシティ・ミュージアム合同展—

会 場：東京藝術大学大学美術館（東京都台東区上野公園 12-8）

会 期：2006年11月4日（土）～12月17日（日）38日間

開館時間：10：00～17：00（入館は16：30まで）

休 館 日：月曜日

料 金：一般 500（400）円 大学・高校生 200（100）円（中学生以下は無料）

*（ ）内は20名以上の団体料金（団体観覧者20名につき1名の引率者は無料）

*障害手帳をお持ちの方とその介護者各1名は無料

主 催：東京藝術大学

後 援：国立大学博物館等協議会

問い合わせ：03-5777-8600（ハローダイヤル）

ホームページ：<http://www.geidai.ac.jp/museum/>

交通案内：JR上野駅公園口、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

京成上野駅、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅より徒歩15分

【同時開催】芸大コレクション展「斎藤佳三の軌跡—大正・昭和の総合芸術の試み—」

会期：2006年11月4日（土）～12月17日（日）

The Wonder Box展をご覧のお客様は上記展覧会を無料でご覧いただけます。

【展覧会概要】

全国の国立大学法人には、研究や教育のために収集された博物資料、学術資料、芸術資料など、豊富な資料が収蔵されています。これらは現在の学術研究の一端を担う貴重なものばかりですが、一般にはあまり知られていません。

今回、全国より20以上の大学が東京藝術大学大学美術館に会して、これぞという一点を一堂に展示いたします。それぞれの大学の個性が感じられる貴重な資料を、ぜひこの機会に直接ご観覧ください。

【出品予定機関】

- ・ 北海道大学総合博物館
- ・ 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園・博物館
- ・ 岩手大学ミュージアム
- ・ 東北大学総合学術博物館
- ・ 山形大学附属博物館
- ・ 東京大学総合研究博物館
- ・ 東京藝術大学大学美術館
- ・ 国立科学博物館
- ・ 新潟大学旭町学術資料展示館
- ・ 信州大学自然誌科学館準備委員会
- ・ 富山大学和漢医薬学総合研究所民族薬物資料館
- ・ 金沢大学資料館
- ・ 静岡大学キャンパスミュージアム運営委員会
- ・ 名古屋大学博物館
- ・ 京都大学総合博物館
- ・ 大阪大学総合学術博物館
- ・ 国立民族学博物館
- ・ 島根大学ミュージアム
- ・ 広島大学医学部医学資料館
- ・ 広島大学総合博物館
- ・ 香川大学博物館
- ・ 九州大学総合研究博物館
- ・ 宮崎大学農学部附属農業博物館
- ・ 鹿児島大学総合研究博物館
- ・ 琉球大学資料館（風樹館）

【主な出品予定作品】

- ・ 「ニッポノサウルス」（北海道大学総合博物館蔵）
- ・ 「馬腸石」（岩手大学ミュージアム蔵）
- ・ 椿貞雄「菊子遊戯之図」（山形大学附属博物館蔵）
- ・ 伝狩野永徳「松鷹図屏風」（東京藝術大学大学美術館蔵）
- ・ 「石造遺物」（金沢大学資料館蔵）
- ・ 「樹齢950年の木曾檜輪切り標本」（名古屋大学博物館蔵）
- ・ 「自動ヘリオスタット」（京都大学総合博物館蔵）
- ・ 「タンパク質構造の日本初のX線結晶解析」（大阪大学総合学術博物館蔵）
- ・ 「ニホンアシカの剥製」（島根大学ミュージアム蔵）
- ・ 「身幹儀（星野木骨）」（レプリカ）（広島大学医学部医学資料館蔵）
- ・ 「渡来的形質の拡散を示す古人骨資料群」（九州大学総合研究博物館蔵）

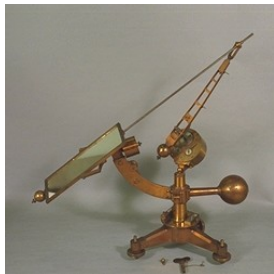
【出品作品イメージ】



「ニッポノサウルス」 北海道大学総合博物館蔵



椿貞雄「菊子遊戯之図」 山形大学附属博物館蔵



「自動ヘリオスタット」 京都大学総合博物館蔵



「樹齢950年の木曾檜輪切り標本」 名古屋大学博物館蔵



「身幹儀(星野木骨)」 広島大学医学部医学資料館蔵



伝狩野永徳「松鷹図屏風」 東京藝術大学大学美術館蔵



「山内ピッケル」



「金研刀」

東北大学総合博物館蔵 (撮影: 菊池美紀)

展覧会についてのお問合せ、画像の貸出しをご希望の場合は下記までご連絡ください。

広報担当 竹林佐恵

Tel: 050-5525-2438 Fax: 050-5525-2532 E-mail: takebaya@off.geidai.ac.jp



展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接お問い合わせください。



芸大コレクション展 斎藤佳三の軌跡—大正・昭和の総合芸術の試み—

(※芸大コレクション展は、現在年2回開催しています。)

会期： 2006年11月4日(土)-12月17日(日)
月曜休館
午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場： 東京藝術大学大学美術館

斎藤佳三(1887-1955)は、図案家、作曲家、舞台美術家、演出家、あるいはドイツ表現主義の紹介者として知られます。東京音楽学校師範科へ入学したのち、舞台芸術に触れ東京美術学校図案科へと再入学、在学中には生涯の友となる山田耕筰を始め、小山内薫、川路柳紅、岡田三郎助ら、音楽と美術の境界を超えた交流を行います。1913年に訪れたドイツでは、ベルリンを拠点に同時代の西欧芸術を直接受容、西欧の表現主義と、ジャンルを超えた総合的な芸術表現への関心の高まりという2つの重要な動向を吸収した斎藤佳三は、帰国後多面的な活動によって芸術の総合を自覚的に目指したのです。また、1923年には美校、及び政府の囑託として教育、著作権法の調査のために再渡独しています。また、自ら考案した「リズム模様」「表現模様」をはじめとする様々なデザイン、帝展へのモデル・ルームの出品等は、彼自身が触発された海外の動向を、いかに日本人の生活の中に取り込んでゆかかという試みの表れでもありました。日本と西洋の様式をいかに美しく融合させ、生活の中に調和させていくか、斎藤は、総合芸術の視野を持って、“生活芸術”に取り組む制作姿勢を通したのです。

東京藝術大学大学美術館は、平成17年度に斎藤佳三関係資料の寄贈を受けました。これらは、舞台衣装デザイン画、自筆楽譜、舞踊関係資料、着物、帝展出品作の図面類、教育関係資料、書簡類など、遺族が保管されてきた多彩なものです。今回の展覧会では、それらの資料の中から約300点を選び、斎藤佳三の軌跡を追います。

また、斎藤佳三の自筆楽譜の中から数曲を収録しました。会場内での試聴をお楽しみください。

【主な出品作品】

DER STURM木版画展覧会目録(1914)、「想ひを助くる部屋」の飾り窓(1927)、表現浴衣(1930年頃)、リズム模様色糸刺繍帯(1940年頃)、舞台衣装デザイン画、直筆楽譜、装丁デザイン ほか

主催： 東京藝術大学

助成： 財団法人 花王芸術・科学財団

観覧料： 一般300円(250円)、高校・大学生100円(50円)
中学生以下無料

* ()内は20名以上の団体料金(団体観覧者20名につき1名の引率者は無料)

* 障害手帳をお持ちの方とその介護者各1名は無料

* 「The Wonder Box展」(11月4日～12月17日)をご覧のお客様は無料でご覧頂けます。

<問い合わせ>

ハローダイヤル:03-5777-8600

[-> プレスリリース\(PDF形式\)](#)

[-> プレスリリース\(詳細版\)\(PDF形式、2.7MB\)](#)

● [図録購入はミュージアムショップへ](#)

【斎藤佳三作曲による歌のミニ・コンサート】



日時:2006年12月1日(金) 12:00~、15:00~ 各回約30分間
会場:本館エントランスホール
入場無料

展覧会に伴い、歌とピアノによるミニ・コンサートを行います。斎藤佳三の作曲した日本歌謡の中から、明治末に作曲された「ふるさとの」(三木露風作詞)、大正初期の「燕」、中国赴任時につくられた「西湖湖畔駄菓子売」など数曲をお楽しみください。なお、演奏に使用するピアノは、明治時代にお雇い外国人教師メーソンが愛用していたものです。

演奏者略歴

辻村倫子 ソプラノ 音楽学部声楽科2000年卒業
岩下晶子 ソプラノ 大学院音楽研究科独唱専攻2年次在学中
中川遊子 メゾ・ソプラノ 大学院修士課程2005年修了
萬谷衣里 ピアノ 大学院音楽研究科ピアノ専攻2年次在学中



展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接お問い合わせください。



退任記念
野田哲也展:日記

会期: 2007年1月11日(木)-1月28日(日)
月曜休館
午前10時~午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場: 東京藝術大学大学美術館 地下2階展示室

日本の現代版画を代表する作家のひとりである野田哲也は、写真を使ったシルクスクリーンと木版を組み合わせて自身の日常の断片を描いた〈日記〉シリーズによって、独自の作品世界をつくりあげ、国際的な評価を受けてきました。本展は、2007年3月の東京藝術大学美術学部版画研究室教授退任を記念し、〈日記〉シリーズの1968年の記念すべき第一作から現在までの作品のうち主要な版画と立体マルチプル、初期の貴重な習作など、あわせて70点を展示し、野田哲也の歩みをご覧ください。

主催: 東京藝術大学

観覧料: 無料

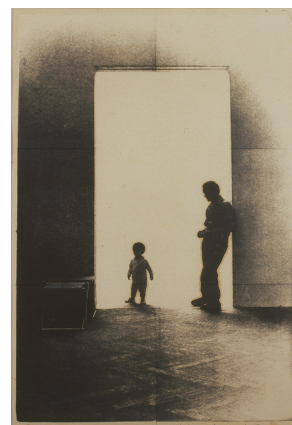
<問い合わせ>
ハローダイヤル: 03-5777-8600

[-> プレスリリース](#)(PDF形式)

野田哲也：日記

日本の現代版画を代表する作家のひとりである野田哲也は、写真を使ったシルクスクリーンと木版を組み合わせて自身の日常の断片を描いた〈日記〉シリーズによって、独自の作品世界をつくりあげ、国際的な評価を受けてきました。〈日記〉シリーズは、家族や知人の肖像、あるいは自画像に始まり、静物や風景へと題材を広げ、自身の日常を日記として記録したものでありながら、その奥には多義性や普遍性を含んでいます。本展は、2007年3月の東京藝術大学美術学部版画研究室教授退任を記念し、〈日記〉シリーズの1968年の記念すべき第一作から現在までの作品のうち主要な版画と立体マルチプル、初期の貴重な習作など、あわせて70点を展示し、野田哲也の歩みを辿ります。

会期 2007年1月11日（木）～1月28日（日）
開館時間 10：00～17：00（入館は16：30まで）
休館日 毎週月曜日
会場 東京藝術大学大学美術館 地下2階展示室
入場料 無料
主催 東京藝術大学美術学部 東京藝術大学大学美術館
問合せ 03-5777-8600（ハローダイヤル）
<http://www.geidai.ac.jp/museum/>



《日記 1976年8月19日》
柏わたくし美術館所蔵

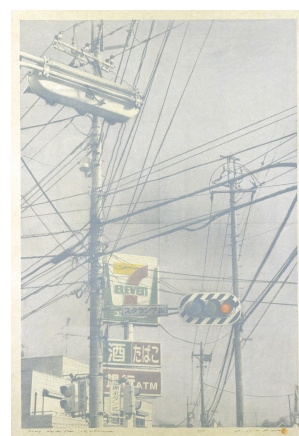
*本展は、2006年9月30日（土）～12月24日（日） CCGA 現代グラフィックアートセンターにおいて開催しています。



《日記 1968年8月22日》
東京藝術大学大学美術館所蔵



《日記 1987年5月30日、柏市亀甲台2-12-4》



《日記 2005年3月5日、柏》



展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



退任記念

羽生 出展: 面と空間の詩学

会期: 2007年1月11日(木)-1月28日(日)
月曜休館
午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場: 東京藝術大学大学美術館 3階展示室

羽生出は34年にわたって母校東京藝術大学絵画科油画研究室で後進の指導にあたり、国展会展、80年会展、個展を主に発表活動を続けてきました。初期の色彩豊かな構成による室内人物の情景や、詩情豊かな静物と風景を構成した魅惑的な具象作品から、いくつかの表現形式を経て、現在の分割による色面と空間の構成へと表現の幅を広げてきました。羽生出の眼は一貫して「自然」に向けられ、その確固とした視点は、自然の持つ様々な様相を探索し絵画という場へ引き込んできました。その制作と思考は緩やかな揺らぎの中で、「自然」からの形をテーマとしています。自然と対峙する様は寄せては消える波のように、ダイナミックな流れの一端を作品として昇華し、作品の変容する様は四季のようでもあります。本展は、2007年3月の東京藝術大学美術学部油画研究室教授退任を記念し、油彩・水彩・素描およそ100余点で構成し、羽生絵画の全貌をみてとれる展覧となっております。

主催: 東京藝術大学

観覧料: 無料

<問い合わせ>

ハローダイヤル: 03-5777-8600

[-> プレスリリース \(PDF形式\)](#)

羽生 出 展 面と空間の詩学

羽生出は34年にわたって母校東京藝術大学絵画科油画研究室で後進の指導にあたり、国画会展80年会展、個展を主に発表活動を続けてきました。初期の色彩豊かな構成による室内人物の情景や、詩情豊かな静物と風景を構成した魅惑的な具象作品から、いくつかの表現形式を経て、現在の分割による色面と空間の構成へと表現の幅を広げてきました。羽生出の眼は一貫して「自然」に向けられ、その確固とした視点は自然の持つ様々な様相を探究し絵画という場へ引き込んできました。その制作と思考は緩やかな揺らぎの中で、「自然」からの形をテーマとしています。自然と対峙する様は寄せては消える波のように、ダイナミックな流れの一端を作品として昇華し、作品の変容する様は四季のようでもあります。

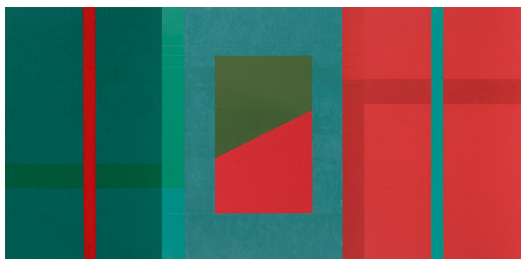
本展は、2007年3月の東京藝術大学美術学部油画研究室教授退任を記念し、油彩・水彩・素描およそ100余点で構成し、羽生絵画の全貌をみてとれる展覧となっています。

会期 2007年1月11日(木)～1月28日(日)
 開館時間 10:00～17:00 (入館は16:30まで)
 休館日 毎週月曜日
 会場 東京藝術大学大学美術館 3階展示室
 入場料 無料
 主催 東京藝術大学美術学部 東京藝術大学大学美術館
 後援 上野芸友倶楽部
 問合せ 03-5777-8600 (ハローダイヤル)
<http://www.geidai.ac.jp/museum/>



《景(肉)》 1973年

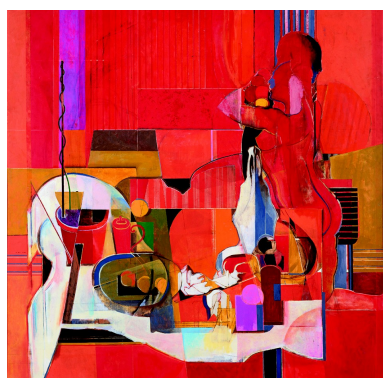
*本展は、2007年6月23日(土)～8月22日(水) 駒ヶ根高原美術館においても開催されます。



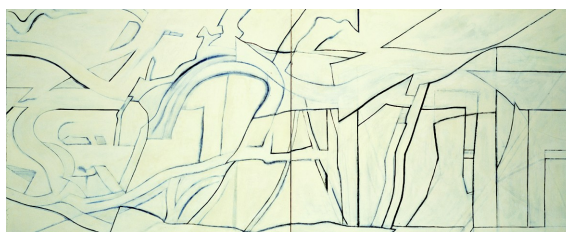
《tsui '95》 1995年



《回》 1986年



《男と女》 1968年

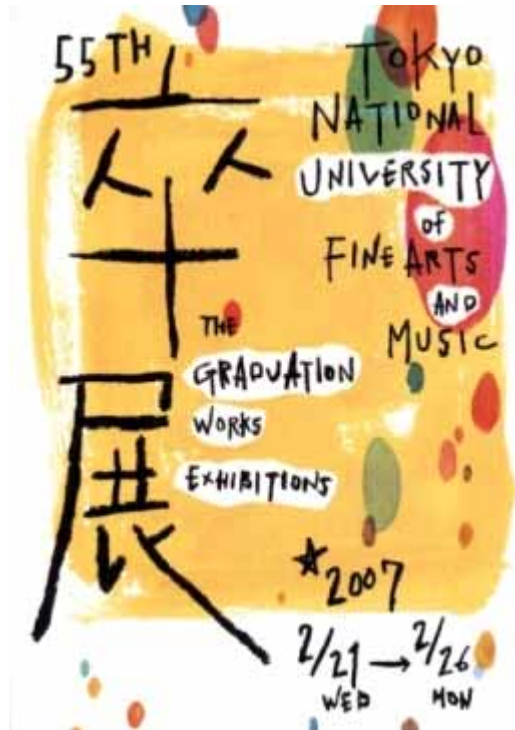


《黒潮》 1988年

組織・附属施設等

大学美術館

第55回 東京芸術大学卒業・修了作品展



日時	2007年2月21日(水)～26日(月) 9:00～16:30(入場は16時まで) ※最終日は12:00まで(入場は11:30まで)
会場	学部生 東京都美術館・大学構内 大学院 大学美術館・陳列館(大学構内) (下記案内図参照)
料金	すべての会場で入場無料
主催	東京芸術大学
お問い合わせ	美術学部教務係 tel:050-5525-2123 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

※ 先端芸術表現科は、ドキュメント展示となります。

実作品は、「Project the Projectors 2007 先端芸術表現科 卒業・修了作品展」にて一般公開いたします。

「Project the Projectors 2007 先端芸術表現科 卒業・修了作品展」

2007年1月24日(水)～1月28日(日)

11:00～19:00

会場:東京芸術大学 取手校地/茨城県取手市小文間5000番地

カタクラショッピングプラザB1/JR取手駅東口前、茨城県取手市取手3-4-11

>>[「Project the Projectors 2007」公式ホームページ](#)

主な展示会場

東京都美術館	1階 学部生卒業作品(デザイン・建築・染織)、工芸科自画像作品 B1階 学部生卒業作品(日本画・油画) B2階 学部生卒業作品(彫金・鍛金・鍍金・漆芸・陶芸) B3階 学部生卒業作品(彫刻)、彫刻科自画像作品
大学美術館 (大学構内)	3階 大学院生修了作品(油画・彫刻・デザイン・美術教育) 2階テラス ドキュメント展示(先端芸術表現科) 1階エントランス 大学院生修了作品(立体作品) B2階 大学院生修了作品(日本画・油画・工芸・デザイン)
陳列館 (大学構内)	2階 大学院生修了作品(建築) 1階 大学院生修了作品(文化財保存学)
正木記念館 (大学構内)	1階 大学院生修了作品(文化財保存学)
絵画棟 (大学構内)	8階 大学院生修了作品(油画) 7階 大学院生修了作品(油画) 6階 大学院生修了作品(油画) 5階 大学院生修了作品(油画) 1階 大学院生修了作品(油画)
彫刻棟 (大学構内)	3階 大学院生修了作品(彫刻)
中央棟 (大学構内)	1階ロビー 大学院修了作品(美術解剖学) 1階第1講義室 大学院修了作品(美術解剖学)
総合工房棟 (大学構内)	3階 プレゼンルーム 学部・修了卒業作品(デザイン) 2階 多目的ラウンジ 先端科ドキュメント展示 1階 オープンアトリエ 学部・修了卒業作品(建築)
大学会館 (大学構内)	学部・大学院とも(映像作品・大型作品等)
大学美術館前広場 他 (大学構内)	学部・大学院とも(屋外展示作品等)



[展覧会・催し物日程](#) [過去の記録](#)

展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



版画研究室交流展

ヴィクトリア・カレッジ・オブ・アーツ、メルボルン大学ー東京芸術大学美術学部

会期： 2006年4月18日(火)-5月2日(火)
月曜休館
午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場： 東京芸術大学大学美術館 陳列館2Fギャラリー

ヴィクトリア・カレッジ・オブ・アーツ、メルボルン大学および東京芸術大学美術学部版画研究室学生、スタッフによる版画作品展。

観覧料： 無料

<問い合わせ>

東京芸術大学美術学部版画研究室 Tel/Fax 050-5525-2158



展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



素描展

東京藝術大学日本画第二研究室

会期： 2006年8月8日(火)-8月20日(日)
会期中無休
午前9時～午後5時(最終日は12:00まで)

会場： 東京藝術大学大学美術館 陳列館2F

日本画第二研究室の大学院修士、博士、教官 21人がそれぞれの考える素描を提示します。

主催： 東京藝術大学日本画第二研究室

観覧料： 無料

<問い合わせ>
ハローダイヤル:03-5777-8600

[-> 本展公式サイト](#)



展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



東京藝術大学
日本画第一研究室発表展

会期： 2006年9月15日(金)-9月24日(日)
会期中無休
午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで/金曜日は19:00まで)

会場： 東京藝術大学大学美術館 陳列館+正木記念館

ごあいさつ

この度、東京藝術大学大学美術館陳列館、正木記念館2階において「東京芸術大学日本画第一研究室研究発表展」を開催いたします。

この展覧会は、東京藝術大学大学院日本画第一研究室の学生と担当教員の研究成果の発表を主とし、展覧会の企画・運営など作品展示に関する総合演習として行われているものです。

学生の自主企画展としてはじまった展覧会ですが、平成15年度より日本画第一研究室の正規カリキュラムとして実施しております。

また、第一研究室担当教員、学生が作品を出品し、研究成果の公表と大学教育の一現場を公開する事を目的としております。

何卒、ご高覧の程、宜しくお願い申し上げます。

東京藝術大学日本画第一研究室

主催： 東京藝術大学大学院日本画第一研究室

観覧料： 無料

<問い合わせ>

ハローダイヤル:03-5777-8600



展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



Good Design Award 1957-2006

Gマーク50年、時代を創ったデザイナーと100のデザインの物語—展

会期: 2006年10月3日(火)-10月13日(金)
会期中無休
午前10時～午後7時、最終日13日は午後3時まで(入館は閉館の30分前まで)

会場: 東京藝術大学大学美術館 陳列館

グッドデザイン賞は日本の生活、産業、社会の豊かな発展をデザインの側面から支援してきた世界でもまれな仕組みです。日本産業デザイン振興会では、Gマークの50年を機にGマークを受賞したデザインや、そのレポート、長い活動期間の中で行われたデザインを巡る議論、この仕組みを支えて来た方々のメッセージを情報アーカイブとして纏めることに着手します。

展示会では、各時代のデザインの空気を伝える100のデザインの展示に併せ、約20名の日本の産業デザインの揺籃期、発展期を企業内デザイナーとして担ったベテランのデザイナーやGマーク審査委員経験者をお招きしてトークセッション「グッドデザイン物語」を開催します。

主催: 東京藝術大学、(財)日本産業デザイン振興会

観覧料: 無料

<問い合わせ>
ハローダイヤル:03-5777-8600

[-> Good Design Award公式サイト](#)



[展覧会・催し物日程](#) [過去の記録](#)

展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



伝統とデザイン

国際交流デザイン展 - 日本・イギリス・韓国 -

東京藝術大学、UCCA芸術大学、中央大学校の3校の授業交換による学生作品

会期： 2006年10月19日(木)-10月29日(日)
月曜休館

会場： 東京藝術大学大学美術館 陳列館

東京藝術大学美術学部デザイン科では、海外諸国とのデザイン交流を図る為、UCCA芸術大学(イギリス)、中央大学校(韓国)と東京藝術大学(日本)による授業交換というかたちで学生作品の交流展を3年間通して行っていくことを企画しました。まず第1回目として東京藝術大学美術学部デザイン科3年の授業『伝統とデザイン』をテーマにした課題を他大学の学生にも行ってもらい、各校10作品(計30作品)選出された作品を2階会場で展示。1階会場では、実際にこの授業で制作された芸大学生の全作品を展示します。この交流を通してそれぞれの国におけるデザイン意識を探ると同時に教育や文化を比較し、お互いに刺激のある作品を生み出す場としていきたいと考えております。

企画・主催： 東京藝術大学美術学部デザイン科

観覧料： 無料

<問い合わせ>

ハローダイヤル: 03-5777-8600

●10月20日(金)

10:00 出品学生とのディスカッション 場所: 東京藝術大学美術館陳列館2階

14:10 特別講演 場所: 総合工房棟3階デザイン科プレゼンテーションルーム

15:10 シンポジウム パネラー: Ajdan Rowe、Astrid Al Mkhlaaf(UCCA芸術大学 ニュメディア・グラフィックコース)



展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



退任記念
堀口光彦展

会期: 2006年11月2日(木)-11月19日(日)
月曜休館
午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場: 東京藝術大学大学美術館 陳列館

彫金の魅力は鑿の痕跡の面白さにつきますと思います。金属の表面に一度つけられた鑿の跡は消し去ることは大変難しく、彫り損じた跡は傷となって最後まで残るのが常であります。「それを景色として活かせるようになれば、一人前の彫金家だ。」とは私が学生の時の教授、山脇洋二先生の教えでした。そんな事を学生に伝えつつ制作した在任中の作品60余点を展示します。彫る、打ち出す、嵌めるという彫金の基礎要素を使いながらも、出来るだけ自由な表現を心がけてきました。

主催: 東京藝術大学

観覧料: 無料

<問い合わせ>
ハローダイヤル: 03-5777-8600

[-> プレスリリース](#) (PDF形式)

◇ギャラリートークのご案内

11月14日(火) 14:00～ 展示室内にて堀口光彦によるギャラリートーク「私の制作発想について」

退任記念 堀口光彦展

彫金の魅力は鑿の痕跡の面白さにつきますと思います。金属の表面に一度つけられた鑿の跡は消し去ることは大変難しく、彫り損じた跡は傷となって最後まで残るのが常であります。「それを景色として活かせるようになれば、一人前の彫金家だ。」とは私が学生の時の教授、山脇洋二先生の教えでした。そんな事を学生に伝えつつ制作した在任中の作品60余点を展示します。彫る、打ち出す、嵌めるという彫金の基礎要素を使いながらも、出来るだけ自由な表現を心がけてきました。

会期 2006年11月2日(木)～11月19日(日)

開館時間 10:00～17:00 (入館は16:30まで)

休館日 毎週月曜日

会場 東京藝術大学大学美術館 陳列館

入場料 無料

主催 東京藝術大学美術学部 東京藝術大学大学美術館

問合せ 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

<http://www.geidai.ac.jp/museum/>



花 1993

堀口 光彦 略歴

1939 山梨県塩山市生まれ
1964 東京藝術大学美術学部工芸科卒業
1966 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程工芸(彫金)専攻修了
1966 東京藝術大学美術学部工芸科彫金研究室助手
(71 非常勤講師 76 助手 86 講師 90 助教授 94 教授)

個展

1978 第七画廊(東京)
1984 村松画廊(東京)
1992 渋谷西武(東京)

展覧会

1969 現代工芸美術展大賞
1970 日展特選
1972 現代工芸美術展文部大臣賞
1977 日展特選
1979 二人展(フォルム画廊) ('88)
1987 東京藝術大学100周年記念教官作品展(有楽町アートフォーラム)
1995 東京藝術大学工芸科教官作品展(東京藝術大学陳列館)
2000 Loft of Alchemist展(ギャラリー・プス) ('02, '04, '06)
2003 「工芸の世紀」展(東京藝術大学大学美術館)
2005 大邱大学国際交流展(大邱大学美術館)/日韓交流展(ハンガラム美術館)

パブリック・コレクション

東京国立近代美術館, 千葉県立美術館, 東京藝術大学大学美術館
九州産業大学美術館, 甲府第一高等学校



Selfportrait on Sunday 1980

展覧会についてのお問合せは下記までお願い致します。

Tel: 050-5525-2438 Fax: 050-5525-2532 E-mail: takebaya@off.geidai.ac.jp



展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



林 亘退任記念 東京藝術大学ガラス造形研究室展

会期： 2006年11月28日(火)-12月10日(日)
月曜休館
午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

会場： 東京藝術大学大学美術館 陳列館2階

東京藝術大学大学院美術研究科にガラス造形講座が創設されて2年。2007年3月、第1期修士3名を送り出すこととなりました。時同じくして、私自身も当初の役目を終え、退任することになります。

創設時の混乱を乗り越え、共にガラス造形講座を作り上げてきた藤原、富樫両氏、6名の大学院生、初年度2名の研究生の作品群を加え、「林 亘退任記念 東京藝術大学ガラス造形研究室展」を開催する運びとなりました。

研究室2年間の成果として、カリキュラムの一部も展示いたします。ご高覧賜りますようお願い申し上げます。 ガラス造形研究室 林 亘

主催： 東京藝術大学

協力： カガミクリスタル株式会社

観覧料： 無料

<問い合わせ>

ハローダイヤル:03-5777-8600

[-> プレスリリース](#) (PDF形式)

◇同時開催

ガラス造形研究室小品展

11月21日(火)～12月10日(日) 会場:藝大アートプラザ(東京藝術大学キャンパス内)

◇関連イベント

セレモニーコンサート「トロンボーン&尺八」(東京藝術大学演奏芸術センター「音楽情報プレゼンテーション」履修生による)

12月2日(土)午後2時～(予定) 会場:藝大アートプラザ中庭

記念ミニコンサート(東京藝術大学演奏芸術センター「音楽情報プレゼンテーション」履修生による)

12月9日(土)、10日(日)各日午後3時～ 会場:大学美術館陳列館1階

林 亘退任記念 東京藝術大学ガラス造形研究室展

東京藝術大学大学院美術研究科にガラス造形講座が創設されて2年。2007年3月、第1期修士3名を送り出すこととなりました。時同じくして、私自身も当初の役目を終え、退任することになります。

創設時の混乱を乗り越え、共にガラス造形講座を作り上げてきた藤原、富樫両氏、6名の大学院生、初年度2名の研究生の作品群を加え、「林 亘退任記念 東京藝術大学ガラス造形研究室展」を開催する運びとなりました。

研究室2年間の成果として、カリキュラムの一部も展示いたします。ご高覧賜りますよう、お願い申し上げます。

ガラス造形研究室 林 亘

会期	2006年11月28日（火）～12月10日（日）
開館時間	10:00～17:00（入館は16:30まで）
休館日	毎週月曜日
会場	東京藝術大学大学美術館 陳列館2階（台東区上野公園12-8）
入場料	無料
主催	東京藝術大学美術学部 東京藝術大学大学美術館
協力	カガミクリスタル株式会社
問合せ	03-5777-8600（ハローダイヤル） http://www.geidai.ac.jp/museum/

◇同時開催

ガラス造形研究室小品展

11月21日（火）～12月10日（日） 会場：藝大アートプラザ（東京藝術大学キャンパス内）

◇関連イベント

セレモニーコンサート「トロンボーン&尺八」（東京藝術大学演奏芸術センター「音楽情報プレゼンテーション」履修生による）

12月2日（土）午後2時～（予定） 会場：藝大アートプラザ中庭

記念ミニコンサート（東京藝術大学演奏芸術センター「音楽情報プレゼンテーション」履修生による）

12月9日（土）、10日（日）各日午後3時～ 会場：大学美術館陳列館1階

林 亘 略歴

1939年 横浜市生まれ
1962年 多摩美術大学立体図案科卒業
1962年 株式会社各務クリスタル製作所入社
1985年 第21回神奈川県美術展審査員
1993年 「'93日本クラフト展」選考委員
1999年 カガミクリスタル株式会社退職
2002年 東京藝術大学美術学部工芸科講師
2006年 東京藝術大学美術学部工芸科ガラス造形講座助教授
現在

東京藝術大学美術学部工芸科ガラス造形講座助教授
日本クラフトデザイン協会会員／日本ガラス工芸協会会員
日本ガラス工芸学会会員
財団法人クラフトセンター・ジャパン評議員

展覧会・受賞

1964年 「日本クラフト展」に出品（以後現在まで）
1979年 「NEW GLASS REVIEW '79」（コーニングガラス美術館）
1984年 「第20回神奈川県美術賞」大賞受賞
「'84年日本のガラス展」（以後現在まで）
1990年 「'90現代ガラスの造形展」（箱根・彫刻の森美術館）
1996年 生誕100年記念「各務鑛三ゆかりの人々展」
1998年 「'98 GAS in Japan SETO 記念展」（瀬戸文化センター）
個展「林 亘クリスタル展」
2003年 「工芸の世紀」（東京藝術大学大学美術館）
2004年 「東京藝大のガラス作家たち」展（東京藝術大学大学美術館陳列館）
2005年 「韓国大学大邱大学国際交流作品展」（大邱大学美術館）



「朝の光」88x324h



コンポート「星の首飾」400φ x70h

展覧会についてのお問合せは下記までお願い致します。

東京藝術大学大学美術館 企画・管理係

Tel: 050-5525-2438 Fax: 050-5525-2532 E-mail: takebaya@off.geidai.ac.jp



展覧会・催し物

下記の展覧会情報は変更される場合があります。最新情報は直接問い合わせください。



東京藝術大学陶芸研究室・大倉陶園共同研究
ディナー食器への挑戦
チャイナペインティングの美展

会期： 2007年1月16日(火)-1月21日(日)
会期中無休
10:00～17:00

会場： 東京藝術大学大学美術館 陳列館1F

大倉陶園チャイナペインティングスクールの協力による陶芸研究室の特別講座チャイナペインティングの実習により制作された作品発表を行います。尚、陳列館2階ではスクール20周年記念作品発表会を開催致します。

主催： 東京藝術大学陶芸研究室、大倉陶園

観覧料： 無料

[-> 大倉陶園ホームページ](#)

平成18年度 教育課程等に関係した展覧会・発表会の例

No	展覧会等の名称	会期等	概要
	主な参加学科・専攻 (参考URL)	開催場所	
1	アート・パス'06	12月8日 ~ 12月10日	取手校地の学生が中心となった年に一度の大規模な作品発表。本年で14回目。大学という場が300を超える作品を持つ大展覧会場に姿を変え、また、学生の企画したイベントも多数行われる。展示される作品は、授業の課題によるものや有志によるもの等さまざま。またワークショップ、公開討論会、体験講座等、一般来場者が見るだけでなく、参加できるイベントも多数開催。
	取手校地学生 (http://www3.to/artpath/)	取手校地	
2	アートパス千住'06	12月16日 ~ 12月17日	18年9月に開所した千住校地に移転した音楽環境創造科の音楽環境創造科の学部1~3年生、大学院生による作品展示、研究発表。 これまで取手校地のART PATHに参加していたが、千住で新たに開催することにしたもの。 音楽環境創造科の学生は、各指導教員の下、6つの専攻に分かれており、その専攻を「PROJECT」と呼んでいる。今回のART PATHはこの「PROJECT」ごとに分かれて、作品展示、企画、運営を行った。
	音楽環境創造 (http://www.geidai.ac.jp/event/artpathsenju06/)	千住校地	
3	東京芸術大学音楽環境創造科卒業制作発表会「So-up」	2月9日 ~ 2月11日	2002年に新設された音楽環境創造科の第2期卒業生による発表会。音楽環境創造科が千住キャンパスに移転して初めて送り出す卒業生が、4年間の集大成として、作品展示、プレゼンテーション、パフォーマンス等を行ったもの。また、昨年度の客員教授であるスティーヴン・アピチュラ=ヒッチコック氏による特別講義も実施。
	音楽環境創造	千住校地	
4	「Project the Projectors 2007」 先端芸術表現科 卒業・修了制作展	1月24日 ~ 1月28日	1999年度に設置の先端芸術表現科の卒業制作展。今回は、学部5期生と修士3期生による。「project the projectors」という展覧会名は2003年度(第1期)から継承しているもの。このテーマは「企画者」という意味であるprojectorたちが、自分自身をさらに前方に(pro)投げる(ject)ことをあらわしている。総入場者数2,853名。
	先端芸術表現 (http://www.ptp2007.jp/)	取手校地(大学美術館取手館、取手校地メディア教育棟)、カタクラショッピングプラザ地下1階	
5	東京芸術大学卒業・修了制作展	2月21日 ~ 2月26日	美術学部卒業生、美術研究科修士課程及び博士後期課程修了者の卒業・修了生作品を展示。学部生は、東京都美術館・大学構内、大学院生は大学美術館・陳列館(大学構内)で開催。(先端芸術表現科・専攻はドキュメントのみの展示で作品展示は、別に開催。)芸術学科・専攻の卒業論文の概要も含め、作品集を刊行している。総入場者数37,778名。
	美術学部・美術研究科の各学科・専攻 (http://www.geidai.ac.jp/topic/sintyaku_kiji/20051227/index.html)	東京都美術館、大学美術館、同陳列館、同正木記念館、絵画棟、彫刻棟、中央棟、総合工房棟、大学会館、大学美術館前広場 他	
6	OPEN STUDIO vol.01	5月8日	18年4月に新設された映像研究科メディア映像専攻1期生16名による課題制作展。「メディアアート特別演習」(藤幡正樹教授)の課題制作を展示。
	メディア映像専攻 (http://www.fnm.geidai.ac.jp/openstudio/index.html)	横浜校地新港校舎	
7	OPEN STUDIO vol.2	7月22日 ~ 7月30日	「ヨコハマEIZONE」(横浜映像文化都市フェスティバル http://www.y-eizone.jp/)共催企画。 4月から7月までに各授業で新設された映像研究科メディア映像専攻1期生が取り組んだ課題作品を中心にH18年度に前期授業の成果を発表した。
	メディア映像専攻 (http://www.fnm.geidai.ac.jp/openstudio/index.html)	横浜校地新港校舎	
8	OPEN STUDIO vol.3 おもしろさへの焦点	12月1日 ~ 12月3日	「OPEN STUDIO」は、メディア映像専攻での制作・研究の成果を一般に公表する展覧会。2006年5月の「vol.1」、7月のヨコハマEIZONEの期間中に開かれた「vol.2」を経て、「OPEN STUDIO vol.3」を2006年12月に開催。本展は、新港校舎を開放し、院生16名が「作家」として、それぞれの手法で制作・研究に取り組んだ成果を展示。
	メディア映像専攻 (http://www.fnm.geidai.ac.jp/openstudio/index.html)	横浜校地馬車道校舎	
9	学生作品上映	7月22日 ~ 7月30日	「ヨコハマEIZONE」(横浜映像文化都市フェスティバル http://www.y-eizone.jp/)共催企画。 映像研究科映画専攻1期生(H17年度入学)、2期生(H18年度入学)の取り組んだ制作作品21本を上映した。
	映画専攻	横浜校地馬車道校舎	

No	展覧会等の名称	会期等	概要
	主な参加学科・専攻 (参考URL)	開催場所	
10	日本画第一研究室発表展	9月15日 ~ 9月24日	本展は、大学院日本画第一研究室の学生と担当教員の研究成果の発表を主とし、展覧会の企画・運営など作品展示に関する総合演習として行われているもの。 学生の自主企画展としてはじまった展覧会だが、平成15年度より日本画第一研究室の正規カリキュラムとして実施している。 また、第一研究室担当教員、学生が作品を出品し、研究成果の公表と大学教育の一現場を公開する事を目的としている。
	日本画第一研究室	大学美術館陳列館、 正木記念館	
11	第6回 東京藝術大学保存科学研究室発表会	10月20日	美術研究科文化財保存学専攻保存科学研究室の教員、大学院生の研究成果発表会
	保存科学	美術学部大会議室	
12	a t l a s 展	11月15日 ~ 11月22日	美術研究科先端芸術表現専攻修士1年生29名による合同企画展覧会。博士後期課程2年の展示も同時開催。
	先端芸術表現 (http://www.ima.fa.geidai.ac.jp/atlas2006/)	取手校地メディア教育棟、大学美術館取手館ほか	
13	椅子展2006 「80年の椅子」	9月25日 ~ 10月1日	本展は、学部1年生が課題として制作した「椅子」を展示するもの。
	建築科	総合工房棟2階多目的ラウンジ	
14	東京藝術大学陶芸研究室・大倉陶園共同研究「ディナー食器への挑戦ーチャイナペインティングの美」	1月15日 ~ 1月22日	大倉陶園との共同研究授業(2006年4月~9月)を行い、「チャイナペインティングの美」を研究テーマとしたディナーセット制作を大学院1年生を中心とした計13名で制作し、その成果を発表した。
	陶芸	大学美術館陳列館	
15	実測課題図面展	9月8日 ~ 9月10日	建築科演習科目として実施している実測の成果図面を芸術祭の開催にあわせて一般に公開展示した。なお、本年度の実測対象は東京国立博物館内に所在する歴史的建造物2棟(六窓庵・応挙館)。
	建築(学部2年生・光井研究室)	東京芸術大学(建築科FM室)	
16	吉田奨学基金を活用した研究報告	12月15日	吉田奨学基金を活用した研究調査の発表会。本年は湊健雄(大学院)「チュニジアの建築」と内田陽介(学部)「インドでのドローイング」2題の発表を行った。
	建築(学部・大学院生)	東京芸術大学(建築科FM室)	
17	文化としての「日本のうた」 ~コンサート・シンポジウム・ワークショップ~	2月7日	音楽学部主催の若手声楽家によるレクチャーコンサート。本学の大学院生及び修了生で奏楽堂日本歌曲コンクール上位入賞者の4名が、「日本のうた」にかかわる日頃の研究・学習の成果を披露した。演奏だけでなく、企画・運営等に至るまで学生主体で行われたコンサート。平成18年度文化庁芸術団体人材育成支援事業
	音楽学部 (http://www.geidai.ac.jp/info/20070122_01.html)	旧東京音楽学校奏楽堂	
18	日本のうた・世界のうた - うたが世界・世代をつなぐ	2月22日	本学の大学院生及び修了生が日頃の研究・学習の成果を披露した。演奏だけでなく、企画・運営等に至るまで学生主体で行われたコンサート。
	音楽学部	台東区生涯学習センター ミレニアムホール	
19	第1回 藝大アートプラザ大賞入賞作品展	2月20日 ~ 4月22日	芸術と社会との新しい出会いの場として設立された藝大アートプラザにおいて、今回初めて、学生の制作活動の一端を学外に発信することを目的としたアートコンペである「藝大アートプラザ大賞」(第1回の作品テーマは「宇宙」)を実施した。厳正な審査を経て選ばれた入選作品を展示した展覧会。展示とともに販売も行った。
	藝大アートプラザ (http://www.geidai.ac.jp/info/070215_01.html)	藝大アートプラザ	
参考 H19 年度 実施	東京芸術大学大学院映像研究科第一期生修了制作展	2007/5/12 ~ 2007/5/13 2007/5/19 ~ 2007/6/1	17年4月に新設した映像研究科映画専攻の第一期修了生(19年3月修了)の修了制作6作品を上映。 渋谷ユーロスペースの上映では、授業の課題として制作したオムニバス作品『新訳:今昔物語』も上映する。
	映像研究科映画専攻 (http://www.fnm.geidai.ac.jp/eiga_shuryoten/index.htm)	横浜校地馬車道校舎 渋谷ユーロスペース	

平成18年度 東京芸術大学 奏楽堂演奏会 入場者数一覧

No	頁	演奏会名	開催日	天気	開演時間	終了時間	入場者数	備考
1	1	創造の杜 ピエール・ブレーズ オーケストラ作品演奏会	H18.4.21	金 晴	19:00	20:25	477	
2	3	創造の杜 ピエール・ブレーズ 室内楽作品演奏会	H18.4.22	土 晴	15:00	17:25	437	
3	5	同声会新人演奏会 第1回	H18.4.23	日 曇	13:00	16:00	485	
4	5	同声会新人演奏会 第2回	H18.4.23	日 曇	18:00	21:00	575	
5	8	第1回モーニング・コンサート(フルート、ピアノ)	H18.5.11	木 雨	11:00	12:00	701	(無料)
6	10	藝大21 和楽の美 邦楽総合アンサンブル「今昔物語」	H18.5.16	火 曇	19:00	21:20	637	
7	8	第2回モーニング・コンサート(クラリネット、ヴァイオリン)	H18.5.18	木 曇	11:00	12:00	685	(無料)
8	12	「シューマン・プロジェクト第1回」レクチャー&コンサート1	H18.5.20	土 晴	15:00	18:50	378	
9	8	第3回モーニング・コンサート(ヴァイオリン、ピアノ)	H18.5.25	木 晴	11:00	12:00	601	(無料)
10	12	「シューマン・プロジェクト第2回」レクチャー&コンサート2	H18.5.27	土 雨	15:00	18:15	309	
11	15	邦楽定期演奏会第72回	H18.5.30	火 晴	18:30	21:30	567	
12	8	第4回モーニング・コンサート(ピアノ、声楽)	H18.6.1	木 晴	11:00	12:00	741	(無料)
13	8	第5回モーニング・コンサート(トロンボーン、オルガン)	H18.6.8	木 曇	11:00	12:00	515	(無料)
14	12	「シューマン・プロジェクト第3回」レクチャー&コンサート3	H18.6.10	土 曇	15:00	18:45	503	
15	16	藝大フィルハーモニア定期第318回 新卒業生紹介演奏会	H18.6.16	金 曇	18:30	20:45	690	
16	12	「シューマン・プロジェクト第4回」レクチャー&コンサート4	H18.6.17	土 晴	15:00	18:35	505	
17	18	藝大フィルハーモニア定期第319回 シューマン・プロジェクト第5回	H18.6.23	金 曇	19:00	20:45	752	
18	19	上野の森オルガンシリーズ シューマン・プロジェクト第6回	H18.6.24	土 晴	15:00	16:45	265	
19	21	うたシリーズVI-1 シューマン・プロジェクト第7回	H18.6.27	火 晴	18:30	21:25	897	
20	8	第6回モーニング・コンサート(アルト・サクソフォーン、ヴァイオリン)	H18.6.29	木 晴	11:00	12:00	754	(無料)
21	23	藝大とあそぼう マザー・グースVS桃太郎	H18.7.2	日 雨	15:00	16:40	607	
22	25	東京藝大チェンバーオーケストラ第7回定期演奏会	H18.7.3	月 雨	19:00	20:55	313	
23	8	第7回モーニング・コンサート(ホルン、ヴァイオリン)	H18.7.6	木 晴	11:00	12:00	666	(無料)
24	26	管打楽器シリーズ モーツァルト協奏曲のひとつ(レクチャーあり)	H18.7.8	土 晴	13:00	17:35	564	
25	8	第8回モーニング・コンサート(テューバ、ヴァイオリン)	H18.7.13	木 晴	11:00	12:00	539	(無料)
26	28	藝大21 時の響き ジャズin藝大~宮間利之とニューハードVSマント・ヴィーヴォ	H18.7.15	土 雨	15:00	18:05	945	
27	8	第9回モーニング・コンサート(作曲)	H18.9.7	木 晴	11:00	12:00	390	(無料)
28	29	弦楽シリーズ 弦楽科教員による「モーツァルトの夕べ」	H18.9.12	火 雨	19:00	21:15	699	
29	8	第10回モーニング・コンサート(作曲、ヴィオラ)	H18.9.14	木 曇	11:00	12:00	428	(無料)
30	30	藝大21 アジア・躍動する音たち 韓国・ソリの伝統と現代の音楽	H18.9.15	金 晴	19:00	21:25	485	
31	32	うたシリーズVI-2 イタリア近代歌曲の展望	H18.9.16	土 曇	15:00	17:05	404	
32	-	東京藝大チェンバーオーケストラヨーロッパ公演特別演奏会	H18.9.19	火 曇	19:00	20:35	688	
33	34	藝大オペラ定期第52回 第1日	H18.10.8	日 晴	14:00	17:10	767	
34	34	藝大オペラ定期第52回 第2日	H18.10.9	祝 晴	14:00	17:15	771	
35	36	上野の森オルガンシリーズ	H18.10.15	日 晴	17:00	19:10	347	
36	37	ロジェストヴェンスキー 学生オーケストラ特別演奏会	H18.10.17	火 晴	19:00	20:32	602	(無料)

No	頁	演奏会名	開催日	天気	開演時間	終了時間	入場者数	備考	
37	39	東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校定期演奏会	H18.10.20	金	晴	18:30	21:20	1,140	(無料)
38	40	藝大フィルハーモニア定期第320回 ショスタコーヴィチ生誕100年2	H18.10.21	土	晴	17:00	18:55	666	
39	41	ハイドン・シリーズ第1夜 オーケストラ演奏会	H18.11.2	木	曇	19:00	20:50	187	
40	41	ハイドン・シリーズ第2夜 弦楽四重奏曲演奏シリーズ その8	H18.11.4	土	晴	19:00	20:50	237	
41	43	藝大フィルハーモニア・合唱定期第321回シューマン・プロジェクト第7回	H18.11.17	金	曇	18:30	20:35	646	
42	44	藝大定期吹奏楽第72回	H18.11.28	火	曇	18:30	20:30	391	
43	8	第11回モーニング・コンサート(作曲、ピアノ)	H18.11.30	木	時々	11:00	12:00	800	(無料)
44	46	藝大学生オーケストラ定期(藝大定期第322回)	H18.12.1	金	晴れ	19:00	20:55	1,072	
45	47	うたシリーズ - 3 英米歌曲を中心として	H18.12.2	土	晴れ	15:00	17:30	340	
46	49	邦楽定期演奏会 第73回	H18.12.5	火	晴れ	18:00	20:40	557	
47	50	平井丈二郎先生退任記念演奏会	H19.1.9	火	雨	15:00	16:15	790	(招待制)
48	8	第12回モーニング・コンサート(フルート、ピアノ)	H19.2.8	木	晴	11:00	12:00	630	(無料)
49	51	藝大定期室内楽第33回 第1夜	H19.2.8	木	曇	18:30	20:45	450	
50	52	藝大定期室内楽第33回 第2夜	H19.2.9	金	曇	18:30	21:00	384	
51	8	第13回モーニング・コンサート(作曲、ピアノ)	H19.2.15	木	晴	11:00	21:07	583	(無料)
52	53	東京藝大チェンパーオーケストラ第8回定期演奏会	H19.2.16	金	晴	19:00	12:00	570	
53	55	管打楽器シリーズ	H19.2.18	日	晴	19:00	18:30	769	
54	57	藝大21 奏楽堂企画学内募集演奏会	H19.3.17	土	晴	15:00	17:00	383	(無料)
55	-	村井祐児先生退任記念演奏会	H19.3.18	日	晴	15:00	17:30	925	(招待制)
56	-	廣野嗣雄先生退任記念演奏会	H19.3.20	火	晴	18:00	20:10	800	(招待制)
合 計							(56件)	33,009	

組織・附属施設等

奏楽堂

創造の杜 ピエール・ブーレーズ オーケストラ作品演奏会

創造の杜
The Museum of Creativity

Pierre BOULEZ

オーケストラ作品演奏会

東京芸術大学・パリ国立高等音楽院友好交流演奏会

フィギュール・ドゥブル・プリスム
(1964) (日本初演)
Figures Double-Prisme (Japan Premiere)

ピアノ独奏のための(12のノタシオン)
(1945)
Duoze Néelème

ピアノ: 野平一郎 Azuro NODAIRA
ノタシオン I-VII-IV-III-II
(1945/1978/1984)
Néelème I, VI, IV, III, II

指揮: ジョルト・ナジ (パリ国立高等音楽院教授)
Zoltan SZOKI, Conductor

管弦楽: 響大フィルハーモニア (東京藝術大学管弦楽団)
Geida Philharmonia

プレコンサート 於: 奏楽堂ホワイエ
18:15開演 18:00開場
ソナチネ (1946) Sonatine Fl: 真鍋恵子 Pf: 秦はるひ

2006年4月21日(金) APRIL 21, 2006 FRI.
19:00開演 会場: 東京芸術大学奏楽堂 入場料: 2,000円
(18:00開場) (全席自由)

お問い合わせ: 東京芸術大学演劇芸術センター 03-5561-0369
チケット・チケット・チケットセンター 03-5561-1180 ファックス 03-5561-0999
チケット・チケット 03-5561-0180 東京2020国際芸術センター 03-5561-0482

主催: 東京芸術大学演劇芸術センター 東京芸術大学音楽学部 後援: フランス大使館、(社)日本作曲家協議会、(社)日本現代音楽協会
協賛: AFAA (Association Française d'Action Artistique) IRCAM (Institut de Recherche et Coordination Acoustique/Musique), Office Pierre Boulez,
(株)松尾楽器商会、株式会社アリア Regalis

キャプション

日時	2006年4月21日(金) 18:00開場 18:15プレコンサート 於: 奏楽堂ホワイエ ソナチネ (1946) Fl: 真鍋恵子 Pf: 秦はるひ 19:00開演
会場	東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	2,000円(全席自由)
主催	東京芸術大学演劇芸術センター 東京芸術大学音楽学部
後援	フランス大使館 (社)日本作曲家協議会 日本現代音楽協会
協力	AFAA IRCAM Office Pierre Boulez (株)松尾楽器商会

株式会社タグチ

フィギュール - ドゥブル - プリズム(1946)<日本初演>

ピアノ独奏のための(12のノタシオン)(1945)

ピアノ：野平一郎

ノタシオン I - VII - IV - III - II(1945/1978/1984)

指揮：ジョルト・ナジ(パリ国立高等音楽院教授)

管弦楽：藝大フィルハーモニア(東京藝術大学管弦楽研究部)

組織・附属施設等

奏楽堂

創造の杜 ピエール・ブーレーズ 室内楽作品演奏会

創造の杜
Pierre BOULEZ
室内楽作品演奏会
東京藝術大学・パリ国立高等音楽院友好交流演奏会
The Museum of Creativity

マラルメによる即興 I :
看取であらび、形取に遊ぶ。美しい即興 (1957) (日本初演)
Improvisation I sur Mallarmé:
"Le vers, le verset et le bel absent"/"L'aspect premier"
Scp: 笠羽映子
Pno: 藤本隆文、梶田光生、平岡浩幸、西川正子、中山道介
Vcl: 田島輝

デリヴ I (1964/1966)
Derive I
P: 梶田光生、C: 芳野壮志
Pno: 藤本隆文、Vc: 笠羽映子
Vc: 田島輝

二重の部の対話 (1984)
Dialogue de l'Ensemble Studio
C: 梶田光生

シュル・アンシューズ (1996/1998) (日本初演)
sur incises (Lignes primaires)
P: 野田高梧、藤本隆文、山本正徳
Vc: 梶田光生、田島輝、笠羽映子
Pno: 藤本隆文、梶田光生、中山道介

指揮: クリストフ・マンングワ (アンシー、ローレ・ネオバウズ) (録音演奏) Christoph MANGOU, Conductor

2006年4月22日(土) APRIL 22, 2006 SAT.
15:30開演 会場: 東京藝術大学奏楽堂 入場料: 2,000円
(全席自由)

レクチャー: 笠羽映子
13:30~15:00 (13:15開場)
「ブーレーズ 音楽創造の60年」
講師: 笠羽映子
(早稲田大学教授、音楽学)

日時	2006年4月22日(土) 13:15開場 13:30レクチャー 於: 奏楽堂 「ブーレーズ 音楽創造の60年」 講師: 笠羽映子 (早稲田大学教授、音楽学) 15:30開演
会場	東京藝術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	2,000円(全席自由)
主催	東京藝術大学演奏芸術センター 東京藝術大学音楽学部
後援	フランス大使館 (社)日本作曲家協議会 日本現代音楽協会
協力	AFAA IRCAM Office Pierre Boulez (株)松尾楽器商会 株式会社タグチ

マラルメによる即興 I :

処女であり、生気にあふれ、美しい今日 (1957)

Sop : 佐竹由美

Perc : 藤本隆文、和田光世、平尾信幸、西川圭子、中山航介

Harp : 田島 緑

デリーヴ I (1984/1986) Fl : 神田勇哉

Cl : 芳賀史徳

Perc : 藤本隆文

Pf : 羽石道代

Vn : 佐原敦子

Vc : 松本卓以

二重の影の対話 (1984) Cl : 亀井良信

シュル・アンシーズ (1996/1998) <日本初演> Pf : 野田清隆、藤原亜美、山田武彦

Hp : 片岡詩乃、田島 緑、信国恵子

Perc : 藤本隆文、和田光世、中山航介

指揮 : クリストフ・マンガウ

(ナンシー、ロレーヌオペラ第1副指揮者)

組織・附属施設等

奏楽堂

同声会新人演奏会 第1回 第2回



日時	2006年4月23日(日) 第1回 13:00開演(ピアノ・チェンバロ・弦楽器) 第2回 18:00開演(声楽・管打楽器・邦楽)
会場	東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	1,800円(昼・夜通し券)
主催	東京芸術大学 東京芸術大学音楽学部同声会

Ⅰ 昼の部 13:00開演 ピアノ・チェンバロ・弦楽器

1. チェンバロ	郡司和也	バッハ	半音階的幻想曲とフーガ 二短調 BWV.903 他
2. ピアノ	川崎翔子	ラヴェル	「鏡」より “I.蛾” “IV.道化師の朝の歌”
3. ピアノ	坂本真由 美	バッハ(ブゾーニ 編)	無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第2番 BWV.1004より 「シャコンヌ」
4. ピアノ	佐藤卓史	モーツァルト	ソナタ 第3番 変ロ長調 K.281(189f)
5. ピアノ	外山啓介	ショパン	2つのノクターン 作品62
6. ピアノ	前田拓郎	アルベニス	組曲「イベリア」より “エル・プエルト” “エリターニャ”

7. ヴァイオリン	寺井 馨	イザイ	無伴奏 ヴァイオリンソナタ Op.27 No.3 「バラード」
8. ヴィオラ	渡邊千春	シューマン	おとぎの絵本 作品113
9. ヴァイオリン	守屋剛志	バッハ	無伴奏バルティータ 第2番 二短調 BWV.1004より「シヤコンヌ」
10. ヴァイオリン	山本美樹子	シューマン	ファンタジー 八長調 作品131
11. チェロ	市 寛也	シューマン	アダージョとアレグロ 変イ長調 作品70

Ⅱ 夜の部 18:00開演 声楽・管打楽器・邦楽

1. 邦楽囃子	吉田振也	三世 桜田治助 作詞 十世 杵屋六左衛門 作曲	長唄「助六」
2. 箏曲生田流	日原暢子	作者不詳 宮城道雄 箏手付	尾上の松
3. クラリネット	中 秀仁	ドナトニ	クレール
4. クラリネット	西崎智子	プーランク	クラリネットとピアノのためのソナタ
5. バス・トロンボーン	山口隼士	カール・ビルス	コンチェルト
6. バリトン	中井智彦	コルンゴルド	歌劇「死の都」より “私の憧れ、私の妄想” 他
7. ソプラノ	嘉村弥生	カタラーニ	歌劇「ワリー」より “さようなら、ふるさとの家よ” 他
8. ソプラノ	清水梢	ドニゼッティ	歌劇「リータ」より (リータのアリア) “この清潔で愛らしい宿屋よ”
9. メゾ・ソプラノ	勝見巴	ベートーヴェン	ああ、不実な者よ(コンサート・アリア)
10. ソプラノ	加藤麻衣	モーツァルト	歌劇「アルバのアスカーニョ」より (ファウノのアリア) “あなたの気高い姿から” 他
11. ソプラノ	佐藤綾子	ヴェルディ	歌劇「エルナーニ」より (エルヴィーラのアリア) “エルナーニ、私を連れて逃げて”
12. ソプラノ	植木千明	チレア	歌劇「グローリア」より (グローリアのアリア) “ああ、私の花のゆりかごよ” 他
13. ソプラノ	田崎尚美	ヴェルディ	歌劇「マクベス」より (マクベス夫人のアリア) “野望に充ちて～立て地獄の司よ”
14. テノール	吉原教夫	モーツァルト	歌劇「後宮からの逃走」より (ベルモンテのアリア) “喜びの涙が流れるとき” 他

15. バリトン	今井俊 輔	ヴェルディ	歌劇「アッティラ」より（エツィオのARIA）“栄光に満ちた 天の頂からある日……” 他
16. 打楽器	石橋知 佳	ヴォラン	毛布にくるまって眠る少女
17. 打楽器	相川 瞳	クセナキス	サッフア

前売所	東京芸術大学藝大アートプラザ 050-5525-2102 東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
お問い合わせ	東京芸術大学音楽学部同声会 03-3821-3924 東京芸術大学演奏芸術センター 050-5525-2300

組織・附属施設等

奏楽堂

モーニング・コンサート1～13

日時	第1回 2006年5月11日(木) 第2回 2006年5月18日(木) 第3回 2006年5月25日(木) 第4回 2006年6月1日(木) 第5回 2006年6月8日(木) 第6回 2006年6月29日(木) 第7回 2006年7月6日(木) 第8回 2006年7月13日(木) 第9回 2006年9月7日(木) 第10回 2006年9月14日(木) 第11回 2006年11月30日(木) 第12回 2007年2月8日(木) 第13回 2007年2月15日(木) 10:30開場 11:00開演
会場	東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	入場無料 要整理券 配布時間:9時30分から 配布場所:東京芸術大学音楽学部守衛所前 整理券番号は、入場優先順位ではありません。 定員になり次第、締め切りとさせていただきますので 予めご了承ください。
主催	東京芸術大学音楽学部 東京芸術大学演奏芸術センター
お問い合わせ	東京芸術大学演奏芸術センター 050-5525-2300

内容詳細

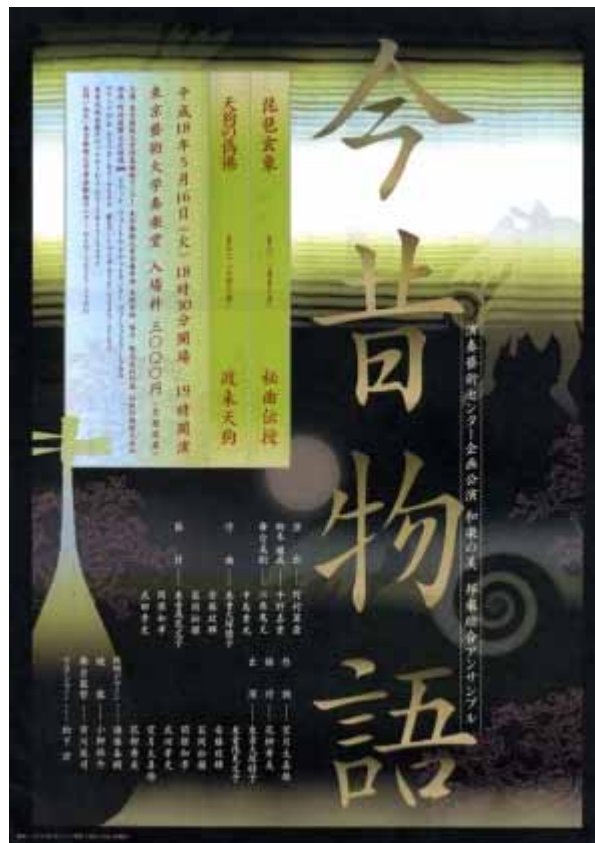
		前半	後半
第1回	5月11日(木) 指揮:小田野宏之	管打楽(4年) 沼田 絵恋 (Fl) C.ライネッケ [23分] フルート協奏曲 二長調 op.283	ピアノ(4年) 石井 園子 W.A.モーツァルト [30分] ピアノ協奏曲 第26番 二長調「戴冠式」
第2回	5月18日(木) 指揮:広上 淳一	管打楽(4年) 芳賀 史徳 (Cl) L.シュポア [25分] クラリネット協奏曲 第4番	弦楽(4年) 高梨 真実(Vn) D.ショスタコーヴィチ [39分] ヴァイオリン協奏曲 第1番 イ短調 op.99

第3回	5月25日(木) 指揮:三河 正典	弦楽(4年) 泉 沙織 (Vn) S.プロコフィエフ [26分] ヴァイオリン協奏曲 第2番 ト短調 op.63	ピアノ(4年) 森永 康夫 A.スクリャーピン [28分] ピアノ協奏曲 嬰へ短調 op.20
第4回	6月1日(木) 指揮:松尾 葉子	ピアノ(4年) 村田 孝樹 S.プロコフィエフ [32分] ピアノ協奏曲 第2番 ト短調 op.16	声楽 W.A.モーツァルト [30分] 歌劇「魔笛」ハイライト
第5回	6月8日(木) 指揮:尾高 忠明	管打楽(4年) 山下 友輔 (Tb) K.セロツキ [20分] トロンボーン協奏曲	オルガン(修士1年) 吉村 怜子 A.ギルマン [27分] オルガンとオーケストラのための交響曲第1番
第6回	6月29日(木) 指揮:松尾 葉子	管打楽(4年) 田村 哲 (Sax) H.トマジ [20分] アルト・サクソフォン協奏曲	弦楽(4年) 西川 茉莉奈 (Vn) A.ドヴォルザーク [35分] ヴァイオリン協奏曲 イ短調 op.53
第7回	7月6日(木) 指揮:田中 良和	管打楽(4年) 向井 正明 (Hr) R.グリエール [26分] ホルン協奏曲 変ロ長調	弦楽(4年) 山本 有紗 (Vn) F.メンデルスゾーン [25分] ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64
第8回	7月13日(木) 指揮:田中 良和	管打楽(4年) 守屋 陽介 (Tu) R.ヴォーン=ウィリアムス [14分] テューバ協奏曲	弦楽(4年) 村津 瑠紀 (Vn) D.ショスタコーヴィチ [39分] ヴァイオリン協奏曲 第1番 イ短調 op.99
第9回	9月7日(木) 指揮:三河 正典	作曲(4年) 松下 倫士 オーケストラのための <カレード スコープ> [12分]	未定
第10回	9月14日(木) 指揮:三河 正典	作曲(4年) 名田 綾子 Sinfonia for Orchestra [17分]	弦楽(4年) 脇屋 冴子 (Va) B.バルトーク [20分] ヴァイオリン協奏曲 改訂版
第11回	11月30日(木) 指揮:未定	作曲(4年) 桑原 ゆう Two Whales [12分]	ピアノ(3年) 武内 みさき F.ショパン [40分] ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 op.11
第12回	2月8日(木) 指揮:未定	管打楽(4年) 川崎 梨紗 (Fl) J.マイヤー [24分] フルート協奏曲「ア・サークル・オブ・ラーガ・ミュージック」	ピアノ(3年) 松尾 建瑠 S.プロコフィエフ [30分] ピアノ協奏曲 第3番 八長調 op.26
第13回	2月15日(木) 指揮:未定	作曲(4年) 堀田 庸元 Ode [20分]	ピアノ(3年) 鎌田 恵梨華 C.サン=サーンス [30分] ピアノ協奏曲 第5番 へ長調 op.103 「エジプト風」

組織・附属施設等

奏楽堂

藝大21 和楽の美 邦楽総合アンサンブル「今昔物語」



日時	2006年5月16日(火) 18:30開場 19:00開演
会場	東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	3,000円(全席指定)
主催	東京芸術大学演奏芸術センター 東京芸術大学音楽学部・美術学部
協力	株式会社竹尾 凸版印刷株式会社
助成	野村国際文化財団

巻の一 「琵琶玄象」「秘曲伝授」

巻の二 「天狗の偽佛」「渡来天狗」

演出	野村萬斎
脚本構成	千野喜資
舞台美術	六角鬼丈

	中島貴光
作曲	東音大塚睦子 安藤政輝 萩岡松韻
節付	東音浅見文子 関根知孝 武田孝史
作調	望月太喜雄
振付	花柳寿美
出演	東音大塚睦子 東音浅見文子 安藤政輝 萩岡松韻 関根知孝 武田孝史 望月太喜雄 花柳寿美 他
照明デザイン	海藤春樹
映像	小柳祐介
舞台監督	寅川英治
ポスターデザイン	松下 計

組織・附属施設等

奏楽堂

シューマン・プロジェクト レクチャー&コンサート第1回～第4回(全4回)



日時	第1回 2006年5月20日(土) 第2回 2006年5月27日(土) 第3回 2006年6月10日(土) 第4回 2006年6月17日(土) 14:30開場 レクチャー 15:00開演 コンサートのチケットでご入場いただけます。 コンサート 16:30開演
会場	東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	2,000円(全席自由)
主催	東京芸術大学演奏芸術センター 東京芸術大学音楽学部
レクチャー講師	前田 昭雄 檜山 哲彦

藤本 一子
小澤 和子

I 平成18年5月20日(土)

[レクチャー] 詩と音楽 - 作曲家誕生への道程 -

講師: 前田昭雄 (Akio MAEDA) 大阪芸術大学教授、ウィーン大学名誉教授、シューマン新全集編集主幹

[コンサート]

ピアノ四重奏曲 八短調より Klavierquartett c-moll Anh.El (1828-29)

Pf.: 後藤友香理 Vc.: 三木晶子 Va.: 吉田 篤 Vc.: 福富祥子

子供の情景 Kinderszenen Op.15 (1838)

Pf.: 児嶋一江

アダージョとアレグロ 変イ長調 Adagio und Allegro As-Dur Op.70 (1849)

Hr.: 松坂 隼 Pf.: 山形明朗

童話の挿絵 Märchenbilder Op.113 (1851)

Va.: 百武由紀 pf.: 多 美智子

クライスレリアーナ Kreisleriana Op.16 (1838)

Pf.: 秦はるひ

II 平成18年5月27日(土)

[レクチャー] シューマンとハイネ

講師: 檜山哲彦 (Tetsuhiko HIYAMA) 本学音楽学部教授

[コンサート]

弦楽四重奏曲 第1番 Streichquartett a-moll Op.41-1 (1842)

Vn.: 清岡優子、漆原直美 Va.: 富田大輔 Vc.: 夏秋 彩

蓮の花 Die Lotosblume (《ミルテの花 Myrthen》Op.25-7) (1840)

君は花のごとく Du bist wie eine Blume (《ミルテの花 Myrthen》Op.25-24) (1840)

哀れなペーター Der arme Peter (《ロマンとバラード第3集 Romanzen und Balladen III》Op.53-3) (1840)

ペルシャザル Belsazar Op.57 (1840)

悲劇 Tragödie (《ロマンとバラード第4集 Romanzen und Balladen IV》Op.64-3) (1841)

Sop.: 笠松はる M-Sop.: 小泉詠子 Alt.: 布施奈緒子 Ten.: 西岡慎介 Bar.: 高橋洋介

Pf.: 清水真理子、千葉かほる

詩人の恋 Dichterliebe Op.48 (1840)

Bar.: 吉田浩之 Pf.: 丸山 滋

III 平成18年6月10日(土)

[レクチャー]理想と現実の狭間で

講師:藤本一子(Itsuko FUJIMOTO) 国立音楽大学教授

[コンサート]

ダーヴィト同盟舞曲集 Davidsbündlertänze Op.6(1837)

Pf.:松尾奈々

アンダンテと変奏曲 変ロ長調(初稿) Andante und Variationen B-Dur Op.46(Original Fassung, 1843)

Pf.:植田克己、迫 昭嘉 Vc.:河野文昭、羽川真介 Hr.:安田健太

3つの幻想小曲 Drei Fantasiestücke Op.73(1849)

Cl.:桜井真理、Pf.:圓井晶子

ピアノ五重奏曲 変ホ長調 Klavierquintett Es-Dur Op.44(1842)

Pf.:青柳 晋 Vn.:岡山 潔、玉井菜採 Va.:川崎和憲 Vc.:河野文昭

IV 平成18年6月17日(土)

[レクチャー]黄昏か黎明か - 後期シューマンをめぐって -

講師:小澤和子(Kazuko OZAWA)シューマン新全集、書簡集、ヘンレ原典版編集委員

3つの幻想小曲 Drei Fantasiestücke Op.111(1851)

Pf.:神 三奈

[コンサート]

「F.A.E.」ソナタ イ短調 “F.A.E.” - Sonate a-Moll(A.ディートリヒ、シューマン、ブラームスの合作)(1853)

Vn.:浦川宜也 Pf.:コンラート・リヒター

メアリー・スチュアート女王の詩 Gedichte der Königin Maria Stuart Op.135(1852)

M-Sop.:栗林朋子 Pf.:丸山 滋

6つの歌(A.ライマン編曲) Sechs Gesänge Op.107(1851-52)

Sop.:平松英子 Vn.:清岡優子、漆原直美 Va.:富田大輔 Vc.:夏秋 彩

3つのロマンス Drei Romanzen Op.94(1849)

Ob.:池田昭子 Pf.:松岡淳

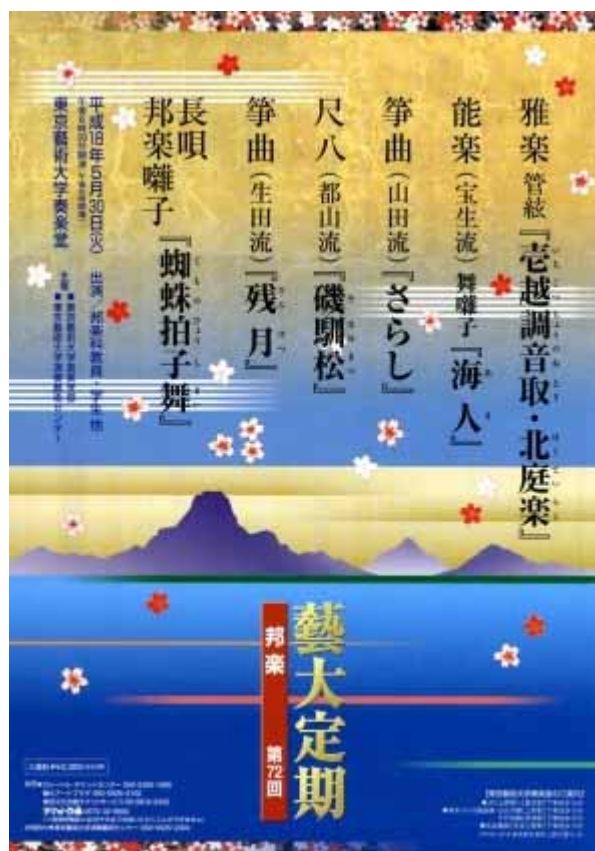
ピアノ四重奏曲 変ホ長調 Klavierquartett Es-Dur Op.47(1842)

Pf.:伊藤 恵 Vn.:澤 和樹 Va.:川崎和憲 Vc.:山崎伸子

組織・附属施設等

奏楽堂

邦楽定期演奏会第72回



日時	2006年5月30日(火) 18:00開場 18:30開演
会場	東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	2,000円(全席自由)
主催	東京芸術大学音楽学部 東京芸術大学演奏芸術センター
出演	邦楽科教員・学生他

雅楽 管絃「壹越調音取・北庭楽」

能楽(宝生流) 舞囃子「海人」

箏曲(山田流)「さらし」

尺八(都山流)「磯馴松」

箏曲(生田流)「残月」

長唄・邦楽囃子「蜘蛛拍子舞」

組織・附属施設等

奏楽堂

藝大フィルハーモニア定期第318回 新卒業生紹介演奏会



日時	2006年6月16日(金) 18:00開場 18:30開演
会場	東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	1,500円(全席自由)
主催	東京芸術大学音楽学部 東京芸術大学演奏芸術センター
指揮	田中良和
管弦楽	藝大フィルハーモニア (東京芸術大学管弦楽研究部)

神田勇哉(フルート)	A.ジョリヴェ フルート協奏曲
田崎尚美(声楽・ソプラノ)	G.ヴェルディ 歌劇「マクベス」より“野望に充ちて～立て地獄の司よ”
辻本 玲(チェロ)	A.ドヴォルジャーク チェロ協奏曲 口短調 作品104

後藤英江(作曲)	後藤英江 ビート・プロジェクト～オーケストラのための
前田拓郎(ピアノ)	S.ラフマニノフ ピアノ協奏曲 第2番 八短調 作品18

組織・附属施設等

奏楽堂

藝大フィルハーモニア定期第319回 シューマン・プロジェクト第5回



CONCERT OF GEIDAI PHILHARMONIA

藝大の響き 2006

シューマン・プロジェクト 第5回
SCHUMANN PROJECT No.5

**藝大
フィルハーモニア
定期演奏会**

平成18年6月23日(金)
19:00開演
東京藝術大学奏楽堂(大学構内)
入場料:¥2,000(全自由席)

チェロ協奏曲 イ短調 作品129
Violoncello-Konzert a-moll Op.129
チェロ:上森祥平

交響曲 第4番 二短調 作品120
Symphonie No.4 d-moll Op.120

指揮:小林研一郎
Conductor: Ken-ichiro KOBIYASHI

オーケストラ:藝大フィルハーモニア(東京藝術大学管弦楽研究部)
Orchestra: Geidai Philharmonia

プレコンサート

18:15開演(18:00開場)

ベルンハルト・アルト:4本のコントラバスのための組曲
Bernhard Altmann: Four Double Basses
赤池光治、杉原茂範、小室昌広、那須野直裕

お問い合わせ:東京藝術大学演奏部センター 03-5523-2390
チケット:プロモーション・チケットセンター 03-5250-1088、チケット12番 03-79-02-0606
チケット・プロジェクト:03-5523-2122、東京芸術大学チケットサービス 03-5523-25-0015-0402
主催:東京藝術大学演奏部、東京藝術大学演奏芸術センター

日時	2006年6月23日(金) 18:30開場 19:00開演
会場	東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	2,000円(全席自由)
主催	東京芸術大学音楽学部 東京芸術大学演奏芸術センター

チェロ協奏曲 イ短調 作品129

チェロ:上森祥平

交響曲 第4番 二短調 作品120

指揮:小林研一郎

オーケストラ:藝大フィルハーモニア(東京芸術大学管弦楽研究部)

[プレコンサート] 18:15開演(18:00開場)

ベルンハルト・アルト:4本のコントラバスのための組曲

赤池光治、杉原茂範、小室昌広、那須野直裕

組織・附属施設等

奏楽堂

上野の森オルガンシリーズ シューマン・プロジェクト第6回



日時	2006年6月24日(土) 14:30開場 15:00開演
会場	東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	2,000円(全席自由)
主催	東京芸術大学演奏芸術センター 東京芸術大学音楽学部
オルガン	ハンス・ファギウス
オーボエ	小畑善昭

G.ベーム	プレリュード 八長調
J.L.クレプス	オーボエとオルガンのための2つの作品
R.マルティンソン	和音と鐘(2006)
R.シューマン	《バッハの名による6つのフーガ》Op.60(1845)より 第2番 / 第3番 / 第5番 / 第6番
W.A.モーツァルト	時計のためのオルガン曲(ファンタジーへ短調)KV 608

J.F.ドッペルバウアー	オーボエとオルガンのためのソナタ
J.S.バッハ	(バビロンの流れのほとりで) BWV 653b
J.S.バッハ	ファンタジーとフーガ ト短調 BWV 542

ハンス・ファギウス オルガン

1951年、スウェーデン、ノルヒェーピング生。オルガンをベント・ベリ、またストックホルム音楽大学でアルフ・リンダー教授に師事。74年からはパリにてモーリス・デュリュフレに師事。ヨーロッパ全土で定期的によりサイトを開き、さらにオーストラリア、アメリカ、カナダでも精力的な演奏活動を行う。2006年には初めて韓国と日本を訪れる。スウェーデンのレーベルBISより、17枚に及ぶJ.S.バッハのオルガン全作や(フーガの技法)、またW.A.モーツァルト、C.-M.ヴィドールの交響曲、リスト主要3作(1981年、リスト・ディスク大賞受賞)のほか、近年ではM.デュリュフレのオルガン全作(2003年12月グラモフォン批評家推薦盤)など、数多くの作品を録音している。ストックホルム、イエーテボリの音楽大学で数年オルガンを教えた後、王立デンマーク音楽院の教授に就任。1998年には王立スウェーデン音楽アカデミー会員に選出されている。

小畑善昭 オーボエ

東京芸術大学卒業、1987年同大学院修了。第42回毎日音楽コンクール管弦楽部門第3位入賞。1979年より1982年まで東京交響楽団に在籍。のち1985年まで西ベルリン留学。この間ベルリン・フィルハーモニー交響楽団のエキストラを務める。帰国後、新日本フィルハーモニー交響楽団首席オーボエ奏者を経て、現在母校の助教授として後進の指導に当たるかたわら、独奏及び室内楽、また古楽器奏者としても活発な演奏活動を繰り広げている。

組織・附属施設等

奏楽堂

うたシリーズVI-1 シューマン・プロジェクト第7回



日時	2006年6月27日(火) 18:00開場 18:30開演
会場	東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	2,000円(全席自由)
主催	東京芸術大学演奏芸術センター 東京芸術大学音楽学部

ゲノフェーファ	佐々木典子
ジークフリート	多田羅迪夫
ゴード	吉田浩之
マルガレータ	寺谷千枝子
ヒドゥルルス	萩原 潤
ドラゴ	小野和彦
バルタザル	駒田敏章
カスバル	原田勇雅

指揮	佐藤功太郎、松尾葉子 指揮者変更のお知らせ 指揮者佐藤功太郎は急病のため出演不可能となりました。 指揮者を田中良和に変更いたします。
管弦楽	東京藝術大学音楽学部学生オーケストラ
合唱指導	アントン・トレムメル
合唱	東京藝術大学音楽学部声楽科学生

企画について

ゲノフェーファ は、シューマンが作曲した唯一のオペラです。1850年の初演以来、再演される機会は少なく、オペラ史の表舞台に登場することなく今日に至りました。しかし昨今、音楽的魅力がいっぱいのこのオペラに対する関心が、高まっています。

ゲノフェーファ は、台本もシューマンの手によります。中世の聖女ゲノフェーファの伝説を素材にドイツの劇作家テイクとヘッベルが書いた戯曲をもとに、シューマンはオペラの台本を仕上げました。

今年はシューマンの没後150年の記念の年にあたります。私たち東京藝術大学では音楽学部の声楽科、指揮科、学生オーケストラ、そして演奏芸術センターが一体となって、「うたシリーズ VI - 1」の企画のなかで、この作品を演奏会形式で上演することにしました。

あらすじ

ジークフリート伯爵は若い騎士ゴーロに、自分が聖戦に出ているあいだ妻ゲノフェーファを守るよう頼む。ゴーロは美貌のゲノフェーファに密かな恋心を抱いていた。彼にはつらい使命であった。夫を戦地に送り出して、ゲノフェーファが悲しみのあまり気絶すると、ゴーロは意識のない彼女の唇を奪ってしまう。

ある夜、ゴーロは自分の気持ちをゲノフェーファに打ち明け、言い寄る。だが、ゲノフェーファの激しい拒絶に会って、愛情は憎悪へと変わり、ゴーロは復讐を決意する。彼は正直者の家臣ドラゴをだまして、ゲノフェーファの寝室に忍び込ませ、彼女に不貞の罪をきせる。

妻の不貞をゴーロから聞かされたジークフリートは、最初は信じないが、魔女マルガレータから魔法の鏡で妻の姿を見せられ、ゴーロにゲノフェーファの処刑を命じる。処刑場に引き立てられる途中、ゲノフェーファが神に祈っていると、岩陰の MARIA 像から赤い光が出て、彼女はそれを身に浴びる。光が消えたとき、ゴーロが現れ、一緒に逃げようと誘惑するが、ゲノフェーファはまたもきっぱり拒絶する。

恐怖のために気を失ったゲノフェーファのもとに、ジークフリートが狩人と騎士の団を引き連れやってくる。マルガレータが改心して、ジークフリートにゴーロのたくらみのすべてを話したのである。ゲノフェーファは夫の呼びかけに意識を取り戻し、二人は再会を喜ぶ。

組織・附属施設等

奏楽堂

藝大とあそぼう マザー・グースVS桃太郎



日時	2006年7月2日(日) 14:30開場 15:00開演
会場	東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	大人(高校生以上)1,000円 小人(中学生以下)500円(全席自由)
主催	東京芸術大学演奏芸術センター 東京芸術大学音楽学部
協力	台東区教育委員会

曲目	マザー・グースの動揺から「ロンドン橋」「メリーさんの羊」ほか 日本昔ばなしの唱歌から「桃太郎」「浦島太郎」ほか ディズニー・アニメの歌から「美女と野獣」ほか ラヴェル 組曲「マ・メール・ロワ」より 青島広志 「モン・ペール・ロワ」より ほか
出演	芸大メルヒェン・シンガーズ(鈴木江美 Sop、北條加奈 Alt、鏡 貴之 Ten、原田勇雅 Bar) ナーサリー・ライム・アンサンブル(芸大器楽科学生・大学院生有志) 日本一桃太郎合奏団(芸大邦楽科学生・大学院生有志)

	佐藤玲子(語り部)
司会・ピア ノ	青島広志
編曲	青島広志、蓑田弘大

組織・附属施設等

奏楽堂

東京藝大チェンバーオーケストラ第7回定期演奏会



日時	2006年7月3日(日) 18:30開場 19:00開演
会場	東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	1,500円(全席自由)
主催	東京芸術大学音楽学部 東京芸術大学演奏芸術センター

指揮	ゲルハルト・ボッセ
独奏	ヴァイオリン 岡山 潔 ヴィオラ 川崎 和憲
曲目	J.S.バッハ ブランデンブルク協奏曲 第3番ト長調 BWV1048 W.A.モーツァルト 協奏交響曲変ホ長調 K320d(364) F.J.ハイドン 交響曲第85番「女王」変ロ長調

組織・附属施設等

奏楽堂

管打楽器シリーズ モーツァルト協奏曲のひとつ(レクチャーあり)



日時	2006年7月8日(土) 12:30開場 レクチャー 13:00開演 コンサートのチケットでご入場いただけます。 コンサート 15:30開演
会場	東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	2,000円(全席自由)
主催	東京芸術大学演奏芸術センター 東京芸術大学音楽学部

レクチャー「通説に挑む！」

モーツァルト

フルート曲(K.313,314,285a,285b)の真実

オーボエ協奏曲 K.314の真実

管楽協奏交響曲 K.Anh9(K.297B)の謎

講師：金昌国

ピアノ	沼光絵理佳
フルート	上野由恵
オーボエ	多田敦美
ヴァイオリン	西川茉莉奈
フラウト・トラヴェルソ	北川森央
バロック・オーボエ	川澄萌野
バロック・ヴァイオリン	廣海史帆
チェンバロ/フォルテピアノ	郡司和也

協奏曲のひとつ

ホルン協奏曲第4番 変ホ長調 K.495	ホルン： 大野雄太(新日本フィルハーモニー交響楽団)
フルート協奏曲第1番 ト長調 K.313	フルート： 高木綾子(東京藝術大学非常勤講師)
オーボエ協奏曲 八長調 K.314	オーボエ： 小畑善昭(東京藝術大学助教授)
4つの管楽器のための協奏交響曲 変ホ長調 K.297B	オーボエ： 真田伊都子(日本フィルハーモニー交響楽団首席奏者) クラリネット： 村井祐児(東京藝術大学教授) ファゴット： 河村幹子(新日本フィルハーモニー交響楽団首席奏者) ホルン： 守山光三(東京藝術大学教授)

管弦楽	東京藝術大学有志オーケストラ
指揮	金昌国(東京藝術大学教授)

組織・附属施設等

奏楽堂

藝大21 時の響き ジャズin藝大～宮間利之とニューハードVSマント・ヴィーヴォ



日時	2006年7月15日(土) 14:30開場 15:00開演
会場	東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	S席 / 4,000 A席 / 3,000円(全席指定)
主催	東京芸術大学演奏芸術センター 東京芸術大学音楽学部

曲目	ショスタコーヴィチ:ジャズ組曲第1番 ジョン・コルトレーン:至上の愛 「レッツ・ダンス」「メモリーズ・オブ・ユー」他
出演	宮間利之とニューハード Manto Vivo(藝大学生ジャズ・バンド) ほか東京芸術大学音楽学部教員、学生
ゲスト	北村英治(クラリネット) 村井祐児(クラリネット) 多田羅迪夫(バリトン)

組織・附属施設等

奏楽堂

弦楽シリーズ 弦楽科教員による「モーツァルトの夕べ」



日時	2006年9月12日(火) 18:30開場 19:00開演
会場	東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	2,000円(全席自由)
主催	東京芸術大学演奏芸術センター 東京芸術大学音楽学部

弦楽五重奏曲 ハ長調 K.515	ヴァイオリン : 清水高師、漆原朝子 ヴィオラ : 大野かおる、阿部 哲 チェロ : 山崎伸子
弦楽五重奏曲 ト短調 K.516	ヴァイオリン : 松原勝也、山崎貴子 ヴィオラ : 川崎和憲、佐々木 亮 チェロ : 河野文昭
ヴァイオリン協奏曲 第2番 二長調 K.211	独奏 玉井菜採 合奏 弦楽科教員
ディヴェルティメント 変ロ長調 K.137	合奏 弦楽科教員

組織・附属施設等

奏楽堂

藝大21 アジア・躍動する音たち 韓国・ソリの伝統と現代の音楽

東京芸術大学・韓国藝術総合学校友好交流演奏会

藝大21 《アジア・躍動する音たち》
～韓国・ソリの伝統と現代の音楽～

2006年9月15日(金)
午後6時30分開場 午後7時開演
東京芸術大学奏楽堂
入場料：2,000円(全席自由)

韓国伝統：申快童流玄琴散調
正琴併唱(赤壁歌)より「セタリョン(鳥の歌)」
尹 伊桑 (ソリ)-独奏フルートのための
金 泳宰 (鳥鳴曲)(奚琴と杖鼓)
韓国伝統：シナウイ合奏
朴 銀荷 (蝶の舞)-伽倻琴、オーボエ、ヴァイオリン、チェロのための
韓国伝統：玄琴散調
尹 伊桑 (ソリ)-室内アンサンブルのための

文筆・楽評：金 泳宰 (韓国藝術総合学校校長兼音楽教授)
監 修：金 明子
監 修：金 明子
監 修：金 明子
監 修：金 明子
監 修：金 明子

〒100-8555 東京都千代田区千代田1-3-1 東京芸術大学演奏芸術センター
TEL:03-5681-1111 FAX:03-5681-1112
TEL:03-5681-1111 FAX:03-5681-1112
TEL:03-5681-1111 FAX:03-5681-1112

日時	2006年9月15日(金) 18:30開場 19:00開演
会場	東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	2,000円(全席自由)
主催	東京芸術大学演奏芸術センター 東京芸術大学音楽学部
後援	駐日韓国大使館 韓国文化院

韓国伝統	申快童流玄琴散調 玄琴併唱(赤壁歌)より セタリョン(鳥の歌)
尹 伊桑	(ソリ)-独奏フルートのための
金 泳宰	(鳥鳴曲)(奚琴と杖鼓)
韓国伝統	シナウイ合奏
朴 銀荷	(蝶の舞)-伽倻琴、オーボエ、ヴァイオリン、チェロのための

韓国の伝統	奚琴散調
尹 伊桑	(洛陽) - 室内アンサンブルのための

玄琴、奚琴	金 泳宰 (韓國藝術綜合學校傳統藝術院教授)
伽倻琴	金 貴子
ピリ	金 泰更
テグム	李 アラム
杖 鼓	金 龍河
出演	Fl: 渡邊玲奈、上野由恵 Ob: 久壽米木知子 Cl: 中秀仁 Bn: 依田晃宣 Hp: 岩城晶子 Perc: 藤本隆文、窪田健志、相川瞳、上原なな江 Vn: 廣瀬麻名 Vc: 多井智紀
指揮	松下 功
解説	植村幸生

組織・附属施設等

奏楽堂

うたシリーズ -2 イタリア近代歌曲の展望 G. Martucciとその周辺



日時	2006年9月16日(土) 14:30開場 15:00開演
会場	東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	2,000円(全席自由)
主催	東京芸術大学演奏芸術センター 東京芸術大学音楽学部

作曲 G. Martucci	思い出のカンツォーネ
作曲 O. Respighi	トスカーナ地方の四つのリスベット
作曲 E. Wolf-Ferrari	バリトンの為の五つの歌 ソプラノの為の四つのリスベット テノールの為の四つの歌 他

Soprano	島崎智子 大隅智佳子 岩下晶子 鈴木江美 田中樹里 藤野沙優
Mezzo soprano	竹之内淳子 見崎千夏
Tenore	吉田浩之 安保克則 村越大春

Baritono	上江隼人
Pianoforte	高木由雅 村上尊志

藝大オペラ定期第52回 G.ロッシーニ「セヴィリアの理髪師」



日時	2006年10月8日(日)、9日(月・祝) 両日共 13:30開場 14:00開演
会場	東京芸術大学音楽堂(大学構内)
入場料	3,000円(全席指定) 完売しました
主催	東京芸術大学音楽学部 東京芸術大学演奏芸術センター
特別協賛	東京芸術大学音楽学部同声会 カルビー食品株式会社

演目	G.ロッシーニ 「セヴィリアの理髪師」全二幕(原語上演/字幕スーパー付)
指揮	A.トレムメル
演出	粟國淳
出演	東京芸術大学大学院音楽研究科声楽専攻生 東京芸術大学音楽学部オペラ研究部
オーケストラ	東京芸術大学音楽学部管弦楽研究部
合唱	声楽科学部3年生(オペラ実習 履修生) 声楽科学部2年有志

キャスト	<8日>
------	------

	西村悟、今尾滋、谷原めぐみ、大山大輔、川田知洋、郷家暁子、谷友博 <9日> 馬場崇、木村善明、相田麻純、渥美史生、小野和彦、小畑朱実、萩原潤
8日、9日両日出演	永塚節 又吉秀樹、加来徹、吉田侍史
装置	横田あつみ
照明	笠原俊幸
衣装	渡邊園子
舞台監督	賀川祐之
演出助手	久恒秀典
原語指導	ウバルド・ガルディーニ、アントン・トレムメル
副指揮・合唱指揮	千葉芳裕
副指揮	富平恭平
コーチ・チェンバロ	村上尊志
コーチ	大藤玲子、勝郁子、田中梢
字幕	本谷麻子

組織・附属施設等

奏楽堂

上野の森オルガンシリーズ



日時	2006年10月15日(日) 16:30開場 17:00開演
会場	東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	2,000円(全席自由)
主催	東京芸術大学演奏芸術センター 東京芸術大学音楽学部

オルガン / 徳岡めぐみ	B.ストラーク (17世紀) 《戦いの踊り》 D.ブクステフーデ (1637頃-1707) トッカータ 二短調 BuxWV155 ほか
トランペット / 島田俊雄	G.P.テレマン (1681-1767) トランペット協奏曲 二長調
オルガン / 椎名雄一郎	J.S.バッハ (1685-1750) パッサカリア 八短調 BWV582 ほか
トランペット / 島田俊雄	P.エベン (1929-) 《窓》より
オルガン / 廣江理枝	O.メシアン (1908-1992) 《聖体秘蹟の書》より ほか

組織・附属施設等

奏楽堂

ロジェストヴェンスキー 学生オーケストラ特別演奏会

東京藝術大学学生オーケストラ
特別演奏会
～マエストロ・ゲンナジー・ロジェストヴェンスキーを迎えて～

2006
10/17 tue 入場無料(整理券有り)
18:00 Open
18:30 Start
東京藝術大学奏楽堂

主催: 東京藝術大学音楽学部・演奏芸術センター
協力: 読売日本交響楽団
問合せ: 東京藝術大学演奏芸術センター
03-5525-2300

指揮: ロジェストヴェンスキー
Conductor: Gennadiy Rozdestvensky
東京藝術大学学生オーケストラ
Tokyo Geidai Student Orchestra

ショーソーン: 交響曲 変ロ長調
Ernest Chausson: Symphony H-flat major op.20
ルーセル: 組曲 へ長調
Albert Roussel: Suite in F op.33
チャイコフスキー: (フランチェスカ・ダ・リミニ)
Peter Iyich Tchaikovsky: Francesca da Rimini op.32

日時	2006年10月17日(火) 18:00開場 18:30開演
会場	東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	無料(整理券有り)
主催	東京芸術大学音楽学部 東京芸術大学演奏芸術センター
協力	読売日本交響楽団
指揮	ゲンナジー・ロジェストヴェンスキー
オーケストラ	東京芸術大学学生オーケストラ

E. ショーソーン	交響曲 変ロ長調
A. ルーセル	組曲 へ長調
P. I. チャイコフスキー	(フランチェスカ・ダ・リミニ)

ゲンナジー・ロジェストヴェンスキー

1931年モスクワ生まれ。

8歳でグネーシン音楽学校に入学、その後、モスクワ音楽院に進学。

指揮を父である名指揮者アノーソフに師事、ピアノをオボーリンに師事する。

在学中より、ポリショイ劇場を皮切りに、多くのオーケストラを指揮。

56年～61年ポリショイ劇場バレエ指揮者、64年～70年ポリショイ劇場首席指揮者、61年～73年にはモスクワ放送響音楽監督兼首席指揮者、74年～78年並びに91年～95年ロイヤル・ストックホルム・フィルハーモニック首席指揮者、78年～82年BBC交響楽団首席指揮者を歴任。2000年9月から2001年まで、ポリショイ劇場の芸術監督を務めた。日本では、90年に読売日本交響楽団の名誉指揮者に就任し、90年以降、ショスタコーヴィチをはじめ、チャイコフスキー、スクリャーピン、プロコフィエフ、ラフマニノフ、ストラヴィンスキー、リャードフ、グラスノフ、ポロディンなどロシア音楽の紹介に勤めてきた。

2001年秋にはそれらの功績が称えられ、勲三等旭日中綬章を授章。

なお、今回の芸大での公演は2002年マエストロシリーズ(芸大フィル)に続き2度目の指揮。この度の来日は、読売日本交響楽団の公演(指揮)によるもので、オーケストラの協力で、東京芸術大学での演奏会の運びとなった。

[トップ](#) > [演奏会スケジュール](#) >

第18回 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校 定期演奏会

日時 : 2006年10月20日(金)
18:00開場
18:30開演

会場 : 東京芸術大学奏楽堂(大学構内)

入場料 : 入場無料(整理券が必要です)
9月25日(月)9:00より事務室窓口にて整理券配布開始いたします。

主催 : 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校

邦楽合奏

宮城道雄(作曲) : 箏曲「飛鳥の夢」

華堂得知(作歌) : 長唄「神田祭」

杵屋六四郎(作曲)

吉住小三郎(作曲)

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校生徒
演奏補助: 芸大助手、院生、学部生

オーケストラと合唱

ケテルピー : ペルシャの市場にて

レスピーギ : リュートの為の古代舞曲とアリア「第3組曲」

バッハ : マニフィカート BWV 243

指揮: 鈴木雅明

ドボルザーク : 交響曲 第8番 ト長調 Op.88

指揮: 尾高忠明

合唱指導 : 木部敏司

管弦楽・合唱 : 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校生徒
演奏補助 : 本校教員、芸大助手、院生、学部生、卒業生

組織・附属施設等

奏楽堂

藝大フィルハーモニア定期第320回 ショスタコーヴィチ生誕百年



日時	2006年10月21日(土) 17:00開演
会場	東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	2,000円(全席自由)
主催	東京芸術大学音楽学部 東京芸術大学演奏芸術センター
指揮	松尾葉子
オーケストラ	藝大フィルハーモニア(東京芸術大学管弦楽研究部)

ドミトリー・ショスタコーヴィチ	5つの断章 作品42 ピアノ協奏曲第2番 へ長調 作品102 交響曲第10番 ホ短調 作品93	ピアノ:北川暁子
-----------------	---	----------

プレコンサート 奏楽堂ホワイエ 16:15開演(16:00開場)

ショスタコーヴィチ:弦楽四重奏曲より

Vn:寺井馨・漆原直美 Va:阿部哲 Vc:石豊久

シンポジウム「ショスタコーヴィチ像の現在」 音楽学部5-109講義室 14:00開始 入場無料 共催:日本音楽学会関東支部

コーディネーター:森泰彦(西洋音楽史) 司会:千葉潤(現代ロシア音楽)

パネリスト:梅津紀雄(表象文化論、ロシア音楽史)、中田朱美(20世紀ロシア・ソヴィエト音楽)

一柳富美子(ロシア・オペラ、近現代ロシア音楽史)、森田稔(ロシア音楽)

組織・附属施設等

奏楽堂

ハイドン・シリーズ



日時	第1夜 11月2日(木) 第2夜 11月4日(土) 各日 18:30開場 19:00開演
会場	東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	1,500円(全席自由)
主催	東京芸術大学演奏芸術センター 東京芸術大学音楽学部

第1夜 11月2日(木) オーケストラ演奏会

曲目	ノットゥルノ ヘ長調 Hob. -28 交響曲第8番 ト長調(夜) 交響曲第82番 八長調(熊)
管弦楽	東京芸術大学ハイドンシリーズオーケストラ

第2夜 11月4日(土) 弦楽四重奏曲全曲演奏シリーズ その8

曲目	ハイドン:弦楽四重奏曲 口短調 Hob. -37(op.33-1)
----	-----------------------------------

	ハイドン:弦楽四重奏曲 変ホ長調 Hob. -80(op.76-6) ドホナーニ:弦楽四重奏曲第3番 イ短調 op.33
演奏	エルデーディ弦楽四重奏団

[エルデーディ弦楽四重奏団]

1989年、東京芸術大学出身者によって結成された日本を代表する弦楽四重奏団。

アマデウス弦楽四重奏団の薫陶を受け、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンからバルトークまで幅広いレパートリーと、その深い作品解釈が常に高い評価を得ています。

結成10周年を迎えた1999年にはハイドンのエルデーディ四重奏曲全6曲演奏会を、2001年、03年には欧州公演を行うなど、近年益々充実した活動を展開しています。

組織・附属施設等

奏楽堂

藝大フィルハーモニア・合唱定期 第321回 シューマン・プロジェクト第8回



日時	2006年11月17日(金) 18:00開場 18:30開演
会場	東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	2,000円(全席自由)
主催	東京芸術大学音楽学部 東京芸術大学演奏芸術センター
指揮	ハンス=マルティン・シュナイト
合唱指揮	栗山文昭
オーケストラ	藝大フィルハーモニア(東京芸術大学管弦楽研究部)
合唱	東京芸術大学音楽学部声楽科学生

ミニヨンへのレクイエム Op.98b	小林沙羅 元村亜美 原山桃子 安本ゆか 原田勇雅
小姓と王女 Op.140	布施奈緒子 岡昭宏 安本ゆか 元村亜美 西岡慎介 駒田敏章 小林沙羅 原田勇雅
うたびとの呪い Op.139	布施奈緒子 岡昭宏 中西美友紀 西岡慎介 駒田敏章

組織・附属施設等

奏楽堂

藝大定期 吹奏楽第72回



日時	2006年11月28日(火) 18:00開場 18:30開演
会場	東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	1,500円(全席自由)
主催	東京芸術大学音楽学部 東京芸術大学演奏芸術センター
指揮	現田 茂夫
テノール	安保克則
オルガン	浅井美紀
演奏	東京芸術大学音楽学部 管打楽器専攻学生

G.ジェイコブ	イギリス民謡によるファンタジア
鈴木英史	吹奏楽のための「光の祭典」
E.グレッグスン	王は受け継がれゆく
R.ヴォーン・ウィリアムズ	イギリス民謡組曲

G.ジェイコブ

交響曲 AD78

組織・附属施設等

奏楽堂

藝大定期 第322回 第38回 学生オーケストラ演奏会



日時	2006年12月1日(金) 18:30開場 19:00開演
会場	東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	1,500円(全席自由)
主催	東京芸術大学音楽学部 東京芸術大学演奏芸術センター
指揮	小林 研一郎
オーケストラ	学生オーケストラ

コダーイ	ガラータ舞曲
ベルリオーズ	幻想交響曲

組織・附属施設等

奏楽堂

うたシリーズ - 3 イギリス・アメリカの歌曲

うたシリーズ VI-3

イギリス・アメリカの歌曲

A. コーブランド: 「エミリー・ディキンソンの12の詩」より
「アメリカの古い歌」より

S. バーバー: 「4つの歌曲」作品13
「世捨て人の歌」作品29より

D. アーシェント: 「6つのエリザベス朝の歌」より

N. ロレム: 哀歌、アレルヤ他

R. クウィルター: 「シェークスピアの3つの歌」
「シェークスピアの5つの歌」より
「アンのエリザベス朝の歌」より

R. フォーン・ウィリアムス: 「鳥の家」より他

出 演: 佐藤 ひさら、永井 和子、今尾 滋、勝部 太
東京藝術大学音楽学部大学院生

ピアノ: 奥 千歌子、鈴木 真理子、千葉 かほる

2006年12月2日(土) 15:00開演(14:30開場)
会場: 東京藝術大学奏楽堂(大学構内) 入場料: 2,000円(全席自由)

チケット代: 2,000円(学生割引あり) 2006年12月1日(土) 15:00開演(14:30開場) 会場: 東京藝術大学奏楽堂(大学構内) 入場料: 2,000円(全席自由) 問い合わせ: 東京藝術大学音楽学部 03-3582-1111

日時	2006年12月2日(土) 14:30開場 15:00開演
会場	東京藝術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	2,000円(全席自由)
主催	東京藝術大学演奏芸術センター 東京藝術大学音楽学部
出演	佐藤 ひさら、永井 和子、今尾 滋、勝部 太、東京藝術大学音楽学部大学院生
ピアノ	奥 千歌子、鈴木 真理子、千葉 かほる

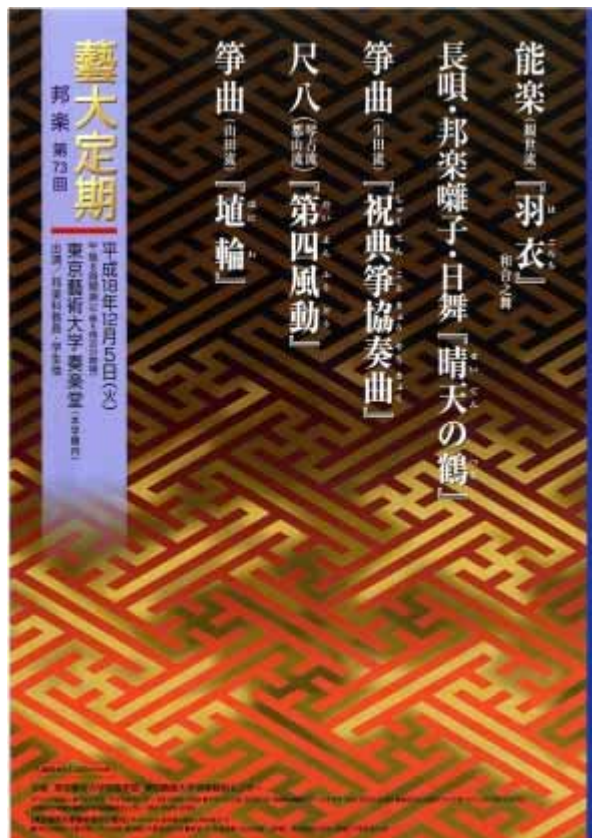
A. コーブランド	「エミリー・ディキンソンの12の詩」より 「アメリカの古い歌」より
S. バーバー	「4つの歌曲」作品13 「世捨て人の歌」作品29より
D. アーシェント	「6つのエリザベス朝の歌」より
N. ロレム	哀歌、アレルヤ他
R. クウィルター	「シェークスピアの3つの歌」

	「シェークスピアの5つの歌」より 「7つのエリザベス朝の歌」より
R.ヴォーン・ウィリアム	「命の家」より他

組織・附属施設等

奏楽堂

邦楽定期演奏会 第73回



日時	2006年12月5日(火) 17:30開場 18:00開演
会場	東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	2,000円(全席自由)
主催	東京芸術大学音楽学部 東京芸術大学演奏芸術センター
出演	邦楽科教員・学生他

能楽(観世流)	「羽衣」和合之舞
長唄・邦楽囃子・日舞	「晴天の鶴」
箏曲(生田流)	「祝典箏協奏曲」(宮城道雄 作曲)
尺八(箏古流 都山流)	「第四風動」(杵屋正邦 作曲)
箏曲(山田流)	「埴輪」(中勘助 作詞、中田博之 作曲)

組織・附属施設等

奏楽堂

平井丈二郎先生退任記念演奏会



ピアノ芸術への招待

講演と演奏	平井丈二郎
日時	2007年1月6日(土) 13:30開場 14:00開演
会場	東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	全席招待(要招待状)
主催	東京芸術大学音楽学部
共催	東京芸術大学同声会

平井丈二郎プロフィール(本名 孝和)

東京芸術大学音楽学部ピアノ科教授。

米国ジュリアード音楽大学音楽芸術博士(DMA)。

1970年ヴィオッティ国際コンクール第2位。

著書(監修校訂)「ジョン・フィールド名曲選集」「スクリアピン ピアノ曲集 全5巻」、現在「ラフマニノフ ピアノ曲集」続々刊行中。作曲家としても活動し、ピアノのための小品に「かざぐるま」「ユーモレスク」「すずらんの香り」など、また歌曲に「びわの実」「小さな花の春の歌」「鐘を鳴らす少女」「秋のことば」「金子みすゞの詩による『海のうた三章』」など。

組織・附属施設等

奏楽堂

藝大定期 室内楽 第33回(第1夜)



日時	2007年2月8日(木) 18:00開場 18:30開演
会場	東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	1,500円(全席自由)
主催	東京芸術大学音楽学部 東京芸術大学演奏芸術センター

モーツァルト	弦楽四重奏曲 ト長調 K. 387
ベートーヴェン	弦楽四重奏曲 八長調 作品59の3「ラズモフスキー」
ブルーマー	木管五重奏曲 作品52
メンデルスゾーン	弦楽四重奏曲 ホ短調 作品44の2

組織・附属施設等

奏楽堂

藝大定期 室内楽 第33回(第2夜)



日時	2007年2月9日(金) 18:00開場 18:30開演
会場	東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	1,500円(全席自由)
主催	東京芸術大学音楽学部 東京芸術大学演奏芸術センター

モーツァルト	弦楽四重奏曲 変口長調 「狩」 K.458
バルトーク	弦楽四重奏曲 第2番 作品17
福士則夫	トリプレクス(打楽器合奏)
ドビュッシー(神田寛明編曲)	ベルガマスク組曲(フルート四重奏)
シューベルト	弦楽四重奏曲 二短調 D810 「死と乙女」

組織・附属施設等

奏楽堂

東京藝大チェンバーオーケストラ 第八回定期演奏会



日時	2007年2月16日(金) 18:30開場 19:00開演
会場	東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	1,500円(全席自由)
主催	東京芸術大学音楽学部 東京芸術大学演奏芸術センター
指揮とピアノ	野平一郎

武満 徹	弦楽のためのレクイエム
W.A.モーツァルト	ピアノ協奏曲 第21番 八長調 K.467
J.S.バッハ = 野平 編曲	「フーガの技法 BWV 1080」より
A.ベルク	抒情組曲より

東京藝大チェンバーオーケストラ

2003年に創設され、メンバーは東京芸術大学音楽学部と大学院に在籍する弦楽器の精鋭28名が中心となり曲目によって管打楽器や鍵盤楽器の学生も加わり、多彩に活動を行なう室内オーケストラである。創設時から大学教員による地道で緻密なアンサンブル指導に加え、公演毎に国の内外から卓越した指揮者を迎えての演奏内容は常に高い評価を得ている。

これまでにG.ボッセを中心にP.チャバ、M.レイフィールド、W.ヤーン、高関健、J.マイルス氏等を指揮者、指導者として招き、J.S.バッハ、J.C.バッハ、ハイドン、モーツァルト、シューベルト、メンデルスゾーン、ドヴォルザーク、グリーグ、チャイコフスキー、エルガー、R.シュトラウス、シェーンベルク、バルトーク、K.A.ハルトマン、ブリテン、V.ウィリアムス、M.ティベット、A.ウェーベルン等の古典から現代まで幅広いレパートリーを意欲的に取り上げている。

2006年10月にはG.ボッセ氏の指揮でライプツィヒ、シュトゥットガルト、ミュンヘン、ウィーンなどヨーロッパ主要都市で公演を行い、好評を博した。

今回の定期演奏会では、作曲家、ピアニスト、指揮者として活躍する野平一郎氏が登場し、現代作品を中心に、野平氏ならではのプログラムをお届けする。

組織・附属施設等

奏楽堂

管打楽器シリーズ Saxophone Day



日時	2007年2月18日(日) 14:30開場 15:00開演
会場	東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	2,000円(全席自由)
主催	東京芸術大学演奏芸術センター 東京芸術大学音楽学部
演奏	富岡 和男 須川 展也 平野 公崇 東京芸術大学音楽学部生・別科生・大学院生

F. ボルヌ	カルメン・ファンタジー
石毛 里佳	[新作初演]
F. シュミット	伝説 作品66
J.-M. ダマーズ	トリオ～ソプラノ・サクソフォンとバリトン・サクソフォンとピアノのための～
E. ショーソン	ピアノ四重奏曲 作品30より 第一楽章
E. ボザ	アンダンテとスケルツォ
林田 祐和	[新作初演]
平野 公崇	2本のサクソフォンのための練習曲 [初演]
野平 一郎	サクソフォン四重奏曲

C. ドビュッシー	ラブソディー (伊藤 康英 編曲)
山内 雅弘	3 Movements for Saxophone Orchestra [初演]

組織・附属施設等

奏楽堂

奏楽堂企画学内募集演奏会 (想像作曲法) 伊東光介の世界



日時	2007年3月17日(土) 14:30開場 15:00開演
会場	東京芸術大学奏楽堂(大学構内)
入場料	無料(全席自由)
主催	東京芸術大学演奏芸術センター 東京芸術大学音楽学部
オルガン	齊藤健介
作曲・ピアノ	伊東光介
お問い合わせ	東京芸術大学演奏芸術センター 050-5525-2300

伊東光介(作曲・ピアノ)

これまでに手掛けた作曲・編曲の作品数は1000を超え、作詞・物語は500に及び、現在、東京芸術大学作曲科学部3年次在学中。

演奏においては即興演奏を中心に、三味線、尺八、箏などの和楽器や、日本舞踊などの踊りとのコラボレーション、そして最近では、毎月横浜ZAINで行われている「LET'S 即興」にピアニストとして出演し、トリヴァンドラムとの共演を果たす等、活動の場を広げている。また昨年には津田塾大学、津田梅子記念交流館にてオルガンによる即興演奏も行い、絶賛される。教会旋法や民族音楽も取り入れており、さらには暗闇での演奏、イマリアル楽器を自ら奏でながらピアノを演奏する(想像作曲法)の世界による表現、自作詞自作曲による歌の弾き語り等、ジャンルを問わず幅広く演奏の可能性を探っている。

夏にはパリのノートルダム寺院、サン・シュルピス教会、サン・セヴラン教会等を訪れ、フランスのオルガン即興演奏についての研鑽を積む。滞在中、同地ガヴァー・デ・ズブリエットにて飛び入り即興ライブを決行、喝采を浴びる。

大学内においても、谷川俊太郎氏の詩に曲をつけた作品について、谷川氏本人から直接の講評をいただき、今後の表現スタイルへの大きな影響を受けた。

その他、開港記念会館での横浜アートプロジェクト主催によるスカイハートコンサート、旧東京音楽学校奏楽堂での日曜オルガンコンサート、各地の教会、ライブカフェ、ライブハウス等に多数出演している。

近日、クラシックカタログ社より2006年ワールドカップ出場国の全国歌編曲を手掛けたCD「32 Anthems in Strings」が発売される予定。

モグラ研究会会長、音光伝承集団「MicroLights」代表、グルメ演奏団体「fooor」オーナー、闇鍋会会員。

平成18年度 東京芸術大学 公開試験等演奏会 一覧(無料演奏会)

No.	演奏会名	会場	開催日	開演時間	備考
1	学内演奏会(オーケストラ)	奏楽堂	H18.4.28 金	18:30	
2	学内演奏会(古楽)	奏楽堂	H18.5.9 火	10:00	
3	学内演奏会(オルガン)	奏楽堂	H18.5.9 火	14:30	
4	学内演奏会(管打楽器)	奏楽堂	H18.5.12 金	13:00	
5	学内演奏会(ピアノ)	奏楽堂	H18.5.23 火	13:00	
6	学内演奏会(管打楽器)	奏楽堂	H18.5.25 木	13:00	
7	学内演奏会(オーケストラ)	奏楽堂	H18.5.26 金	18:30	
8	学内演奏会(管打楽器)	奏楽堂	H18.5.29 月	13:00	
9	学内演奏会(ピアノ)	奏楽堂	H18.6.2 金	13:00	
10	学内演奏会(ピアノ)	奏楽堂	H18.6.6 火	13:00	
11	学内演奏会(ピアノ)	奏楽堂	H18.6.9 金	13:00	
12	学内演奏会(ピアノ)	奏楽堂	H18.6.13 火	13:00	
13	芸高3年公開実技試験(ピアノ)	奏楽堂	H18.6.18 日	10:00	
14	芸高3年公開試験(弦楽器)	奏楽堂	H18.6.20 火	10:00	
15	学内演奏会(吹奏楽)	奏楽堂	H18.7.12 水	18:30	
16	学内演奏会(弦楽)	奏楽堂	H18.10.12 木	13:00	
17	学内演奏会(弦楽)	奏楽堂	H18.10.13 金	13:00	
18	学内演奏会(声楽)	奏楽堂	H18.10.23 月	13:30	
19	学内演奏会(声楽)	奏楽堂	H18.10.24 火	13:30	
20	学内演奏会(声楽)	奏楽堂	H18.10.25 水	13:30	
21	学内演奏会(能楽)	第4ホール	H18.10.25 水	14:00	
22	学内演奏会(指揮)	奏楽堂	H18.10.26 木	11:00	
23	学内演奏会(弦楽)	奏楽堂	H18.10.26 木	13:00	
24	学内演奏会(声楽)	奏楽堂	H18.10.27 金	13:30	
25	学内演奏会(箏曲・尺八)	奏楽堂	H18.10.30 月	12:30	
26	学内演奏会(三味線・日本舞踊)	奏楽堂	H18.10.31 火	11:00	
27	学内演奏会(指揮)	奏楽堂	H18.11.2 木	11:00	
28	学内演奏会(作曲)	奏楽堂	H18.11.7 火	14:00	
29	学内演奏会(作曲)	奏楽堂	H18.11.10 金	14:00	
30	卒業試験公開演奏会(ピアノ)	奏楽堂	H18.12.11 月	10:00	
31	学内演奏会(楽理科研究演奏会)	第6ホール	H18.12.12 火	13:00	
32	卒業試験公開演奏会(ピアノ)	奏楽堂	H18.12.12 火	10:00	
33	卒業試験公開演奏会(ピアノ)	奏楽堂	H18.12.13 水	10:00	
34	卒業試験公開演奏会(三味線・日本舞踊)	奏楽堂	H18.12.18 月	10:00	
35	卒業試験公開演奏会(声楽)	奏楽堂	H19.1.9 火	10:00	
36	卒業試験公開演奏会(声楽)	奏楽堂	H19.1.10 水	10:00	
37	卒業試験公開演奏会(管打楽器)	奏楽堂	H19.1.12 金	10:30	
38	卒業試験公開演奏会(管打楽器)	奏楽堂	H19.1.15 月	11:00	
39	卒業試験公開演奏会(弦楽)	奏楽堂	H19.1.16 火	9:30	
40	卒業試験公開演奏会(弦楽)	奏楽堂	H19.1.17 水	10:00	
41	卒業試験公開演奏会(指揮)	奏楽堂	H19.1.18 木	11:00	
42	卒業試験公開演奏会(箏曲・尺八)	奏楽堂	H19.1.19 金	10:00	
43	卒業試験公開演奏会(オルガン)	奏楽堂	H19.1.22 月	14:30	
44	卒業試験公開演奏会(古楽)	奏楽堂	H19.1.22 月	16:30	
45	卒業試験公開演奏会(能楽)	第4ホール	H19.1.25 木	14:00	
46	修士課程学位審査会演奏会(指揮)	第6ホール	H19.1.25 木	11:00	
47	修士課程学位審査会演奏会(声楽)	奏楽堂	H19.1.24 水	11:00	
48	修士課程学位審査会演奏会(声楽)	奏楽堂	H19.1.25 木	11:00	
49	修士課程学位審査会演奏会(弦楽)	第6ホール	H19.1.25 木	13:00	
50	修士課程学位審査会演奏会(弦楽)	第6ホール	H19.1.26 金	10:00	
51	修士課程学位審査会演奏会(弦楽)	第6ホール	H19.1.29 月	13:30	
52	修士課程学位審査会演奏会(室内楽)	第6ホール	H19.1.25 木	16:00	
53	修士課程学位審査会演奏会(邦楽)	第4ホール	H19.1.25 木	15:30	
54	修士課程学位審査会演奏会(邦楽)	第6ホール	H19.2.1 木	13:00	
55	修士課程学位審査会演奏会(古楽)	奏楽堂	H19.1.26 金	10:00	
56	修士課程学位審査会演奏会(古楽)	奏楽堂	H19.1.29 月	10:30	
57	修士課程学位審査会演奏会(オルガン)	奏楽堂	H19.1.29 月	14:45	
58	修士課程学位審査会演奏会(ピアノ)	第6ホール	H19.1.30 火	10:00	
59	修士課程学位審査会演奏会(ピアノ)	第6ホール	H19.1.31 水	10:00	
60	修士課程学位審査会演奏会(オペラ)	奏楽堂	H19.2.1 木	13:00	
61	修士課程学位審査会演奏会(オペラ)	奏楽堂	H19.2.2 金	13:00	
62	修士課程学位審査会演奏会(管打楽)	第6ホール	H19.2.2 金	10:00	
合 計			(62件)		

平成18年度 演奏依頼等一覧

月	日	曜日	演奏会名	内容	会場	主催
4月	6日	木	平成18年度東京工業大学学部・大学院入学記念演奏会	ピアノ	東京工業大学体育館	東京工業大学
	20日	木	木曜コンサート	ピアノ	旧演奏堂	(財)台東区芸術文化財団 演奏堂
	20日	木	[受託演奏] 日本国際賞授賞式	指揮・学生オーケストラ	国立劇場	国際科学技術財団
	21日	金	株式会社 丸正創業50周年記念式典	(弦5名・木管4名) 弦楽器・声楽 P.f.O.g.弦・管・打・邦楽 特別編成学生オーケストラ・木管アンサンブル	帝国ホテル	株式会社 丸正
23日	日	平成18年度同声会賞新人演奏会	弦楽器・声楽 P.f.O.g.弦・管・打・邦楽	演奏堂	東京芸術大学音楽学部同声会	
29日	土	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポ「熱狂の日」音楽祭2005	特別編成学生オーケストラ・木管アンサンブル	東京国際フォーラム	東京都	
1日	月	東京都美術館80周年記念祭	雅楽	東京都美術館	東京都美術館	
2日	火		管弦楽研究部(弦楽四重奏)	東京都美術館	東京都美術館	
5日	金	第76回読売新聞社主催新人演奏会	声楽・ピアノ・弦楽・管打楽	東京文化会館	読売新聞社	
6日	土					
6日	土	東京メトロサンクスイベント	木管9重奏(教員・学生)	東京メトロ銀座駅	株式会社 メトロコマース	
5月	11日	木	[受託演奏] 平成18年度春の叙勲 勲章伝達式	管弦楽研究部(弦楽四重奏)	国立劇場大劇場	文部科学省人事課
	17日	水	[受託演奏] 平成18年度紫綬褒章 藍綬褒章及び黄綬褒章伝達式	管弦楽研究部(弦楽四重奏)	如水会館	文部科学省人事課
	18日	木	木曜コンサート	弦楽	旧演奏堂	(財)台東区芸術文化財団 演奏堂
	31日	水	京都・国際音楽学生フェスティバル2006	Va1名・Vc1名	京都府立府民ホール	ロームミュージックファンデーション
6月	8日	木	JTアタヌーコンサート	声楽(ピアノ伴奏)	JTアトール アフィニス	日本たばこ産業株式会社
	9日	金	九段自立プラン 日本伝統文化体験・江戸っ子 指導	邦楽	千代田区九段中学校	千代田区九段中学校
	10日	土		木管・金管	戸頭中学校	
	10日	土		木管・金管・打楽器	野々井中学校	取手市教育委員会
	10日	土	平成18年度取手市小・中学校との交流事業(吹奏楽部指導)	木管・金管	藤代中学校	
	10日	土		木管・金管	藤代南中学校	
	11日	日	平成18年度取手市小・中学校との交流事業(吹奏楽部指導)	木管・金管・打楽器	取手第二中学校	取手市教育委員会
	14日	水	国立新美術館竣工式典	金管・打楽器	国立新美術館	文化庁芸術文化課
	15日	木	木曜コンサート	指揮	旧演奏堂	(財)台東区芸術文化財団 演奏堂
	16日	金	九段自立プラン 日本伝統文化体験・江戸っ子 指導	邦楽	千代田区九段中学校	千代田区九段中学校
6月	16日	金	2006レクサス演奏会	ピアノ	レクサス荻窪	東京トヨペット株式会社
	17日	土			レクサス荻窪	
	17日	土	[受託演奏] 浅草公会堂改修記念演奏会	指揮・特別編成学生オーケストラ	浅草公会堂ホール	台東区役所
	24日	土		弦楽四重奏	レスサス三鷹	
	24日	土		フィンハロ・ハロッグアイオリ	レクサス高輪	東京トヨペット株式会社
	24日	土	2006レクサス演奏会	弦楽四重奏	レクサス深川	
	24日	土		弦楽四重奏	レスサス三鷹	
	25日	日		邦楽(箏曲・山田流)	日本芸術院	日本芸術院
	26日	月	平成18年度第62回日本芸術院授賞式	弦楽四重奏	大学会館食堂	日本学生支援機構 関東甲信越支部
	28日	水	平成18年度東京・関東甲信越地区学生指導研修会情報交換会	弦楽四重奏	三輪田学園講堂	三輪田学園中学校
30日	金	平成18年度三輪田学園邦楽鑑賞会	邦楽			

月	日	曜日	演奏会名	内容	会場	主催
7月	1日	土		木管・金管・弦	取手第一中学校	取手市教育委員会
	1日	土		木管・金管・打楽器	取手第二中学校	
	1日	土	平成18年度取手市小・中学校との交流事業(吹奏楽部指導)	木管・金管	戸頭中学校	
	1日	土		木管・金管	藤代中学校	
	2日	日		木管・金管・打楽器	取手東中学校	
	3日	月	平成18年度日本学士院第96回授賞式	管弦楽研究部(弦楽四重奏)	日本学士院	
	8日	土	平成18年度取手市小・中学校との交流事業(吹奏楽部指導)	木管・金管・打楽器	野々井中学校	
	9日	日		木管・金管・打楽器	取手東中学校	
	12日	水	未来館コンサート	P12名	女性と仕事の未来館ホール	
	14日	金	九段自立プラン 日本伝統文化体験・江戸っ子 指導	邦楽	千代田区九段中学校	
	15日	土	平成18年度取手市小・中学校との交流事業(吹奏楽部指導)	木管・金管	戸頭中学校	
16日	日	平成18年度取手市小・中学校との交流事業(吹奏楽部指導)	木管・金管・打楽器	取手東中学校		
20日	木	木曜コンサート	オペラ・指揮	旧奏楽堂		
22日	土	日本舞踊公演第5回「踊りらいぶ」演奏	邦楽	浅草公会堂		
23日	日	【受託演奏】新座第九演奏会	指揮・管弦楽研究部	新座市民会館大ホール		
26日	水	第1回安曇野市立穂高東・西中学校楽器演奏指導・コンサート	木管・金管	穂高東・西中学校		
27日	木			穂高東・西中学校・穂高会館		
8月	1日	火	平成18年度伝統音楽研修会	邦楽	奏楽堂	文部科学省初等中等教育局
	5日	土	J1アパタヌーンコンサート	ピアノ	J1アートホール アフィニス	日本たばこ産業株式会社
	5日	土	第56回社会を明るくする運動音楽教室「竹の太鼓を作って演奏しよう」	打楽器	奏楽堂	法務省保護局
	5日	土		マリンバ独奏	レスサスとさわ台	東京トヨペット株式会社
	5日	土		フルート四重奏	レスサス高輪	
	6日	日	2006レクサス演奏会	マリンバ	レスサスとさわ台	
	6日	日		フルート四重奏	レスサス高輪	
	6日	日		弦楽四重奏	レスサス用賀	
	13日	日		指揮・管弦楽研究部	日本武道館	
	15日	火	全国戦没者追悼式典	声楽(独唱)	旧奏楽堂	
	17日	木	木曜コンサート	フルート四重奏	レスサス高輪	
	19日	土		チェンバロ独奏	レスサス雪谷	
	19日	土		フルート四重奏	レスサス雪谷	
	20日	日	2006レクサス演奏会	フルート四重奏	レスサス高輪	
	20日	日		チェンバロ独奏	レスサス雪谷	
22日	火	総合研究大学院大学サマープログラム送別会	邦楽	ホテルバシフィック東京		
26日	土		ピアノトリオ	レスサス足立		
26日	土		チェンバロ独奏	レスサス三鷹		
27日	日	2006レクサス演奏会	ピアノトリオ	レスサス足立		
27日	日		チェンバロ独奏	レスサス三鷹		
30日	水	～9月4月(日)平成18年度日露青年交流事業「日露学生フォーラム」	金管五重奏	モスクワ国立大学	日露青年交流センター	

月	日	曜日	演奏会名	内容	会場	主催
74	16日	土	平成18年度教育委員会主催ミニコンサート	雅楽	取手市福祉交流センター	取手市教育委員会
75					レクサス晴海	
76					レクサス高輪	
77					レクサス深川	
78					レクサス雪谷	
79					レクサス用賀	
80	19日	火	2006レクサス演奏会	弦楽四重奏	レクサス荻窪 レクサスときわ台 レクサス足立 レクサス三鷹 レクサス府中 レクサス町田	東京トヨペット株式会社
81						
82						
83						
84						
85						
86	21日	木	木曜コンサート	木管・金管	旧奏楽堂	(財)台東区芸術文化財団奏楽堂
87	22日	金	九段自立プラン 日本伝統文化体験・江戸っ子 指導	邦楽	千代田区九段中学校	千代田区九段中学校
88	23日	土	【受託演奏】 文京シビック第4回定期演奏会	管弦楽研究部	文京シビック	文京シビック合唱団
89	29日	金	九段自立プラン 日本伝統文化体験・江戸っ子 指導	邦楽	千代田区九段中学校	千代田区九段中学校
90	30日	土	平成18年度取手市小・中学校との交流事業(吹奏楽部指導)	木管・金管	藤代南中学校	取手市教育委員会
91	1日	日	第7回上野不忍華舞台芸大生による「古典芸能の若い力」	邦楽	上野公園 水上音楽堂	上野観光連盟
92	5日	木	銀座 赤レンガ美術サロンコンサート	H・F.I	ワード管生堂	文化バステル
93	7日	土	平成18年度取手市小・中学校との交流事業(吹奏楽部指導)	木管・金管・打楽器	永山中学校	取手市教育委員会
94	7日	土	上野・浅草・にほんの音(芸大生による邦楽セッション)	邦楽	生涯学習センター	(財)台東区芸術文化財団
95	14日	土	平成18年度取手市小・中学校との交流事業(吹奏楽部指導)	木管・金管・打楽器	永山中学校	取手市教育委員会
96	14日	土	第2回安曇野市立穂高東・西中学校楽器演奏指導	木管・金管	穂高東・西中学校	安曇野市教育委員会
97	15日	日			穂高東・西中学校	
98	19日	木	木曜コンサート	古楽	旧奏楽堂	(財)台東区芸術文化財団奏楽堂
99	21日	土	平成18年度旧奏楽堂デビューコンサート	ピアノ	旧奏楽堂	(財)台東区芸術文化財団
100	21日	土	みやこ町愛郷音楽祭	金管楽器アンサンブル	みやこ町総合文化センター	福岡県京都市みやこ町
101	28日	土	第20回伊沢修二先生記念演奏会	指揮・学生オーケストラ・声楽	高遠町文化体育館	高遠町教育委員会
102	29日	日	～11月4日(土) アジアの弦の音演奏会	邦楽	国立劇場(ソウル)	日本青少年文化センター
103						
104	3日	金	平成18年度国立磐梯青年の家主催事業「部活動サポーター磐梯ミュージックフェスタ2006」	木管・金管・打楽器	国立磐梯青年の家	国立青年の家 国立磐梯青年の家
105	4日	土				
106	4日	土	「したまち邦楽フェスティバル」演奏指導	邦楽	東京芸術大学教室	(財)台東区芸術文化財団
107	6日	月	【受託演奏】 文化功労者顕彰式	管弦楽研究部(弦楽四重奏)	ホテル オークラ	文部科学省大臣官房人事課
108	8日	水	JTアフタヌーンコンサート	声楽・Pf	JTアートホール アフィニス	日本たばこ産業株式会社
109	8日	水	未来館コンサート	弦楽四重奏・Pf	女性と仕事の未来館ホール	女性と仕事の未来館
110	8日	水	【受託演奏】 平成18年度秋の叙勲伝達式	管弦楽研究部(弦楽四重奏)	赤坂プリンスホテル	文部科学省大臣官房人事課

月	日	曜日	演奏会名	内容	会場	主催
11月	10日	金	九段自立プラン 日本伝統文化体験・江戸っ子 指導	邦楽	千代田区九段中学校	千代田区九段中学校
	11日	土	東京国立博物館「留学生の日」コンサート	邦楽	東京国立博物館	東京国立博物館
	11日	土	平成18年度取手市小・中学校との交流事業(吹奏楽部指導)	木管・金管	藤代南中学校	取手市教育委員会
	11日	土	「したまち邦楽シニアアソシエーション」演奏指導	邦楽	東京芸術大学教室	(財)台東区芸術文化財団
	16日	木	【受託演奏】平成18年度秋の褒章伝達式	学生・管弦楽研究部(弦楽四重奏)	如水会館	文部科学省大臣官房人事課
	16日	木	木曜コンサート	作曲	旧奏楽堂	(財)台東区芸術文化財団奏楽堂
	17日	金	九段自立プラン 日本伝統文化体験・江戸っ子 指導	邦楽	千代田区九段中学校	千代田区九段中学校
	18日	土	【受託演奏】ジャン・マルク・レイサダ氏との共演	特別編成学生オーケストラ	東京芸術劇場大ホール	株式会社 東京アイエムシー
	20日	月	第22回国際生物学賞授賞式	管弦楽研究部(弦楽四重奏)	日本学士院	日本学術振興会
	22日	水	JTアフタヌーンコンサート	声楽・Pf	JT7-ホール アフィニス	日本たばこ産業株式会社
	23日	木	【受託演奏】芸大とあそぼう in 北とびあ	声楽・特別編成学生・演奏芸術センター	北とびあさくらホール	(財)北区文化振興財団
24日	金	九段自立プラン 日本伝統文化体験・江戸っ子 指導	邦楽	千代田区九段中学校	千代田区九段中学校	
25日	土	「したまち邦楽シニアアソシエーション」演奏指導	邦楽	東京芸術大学教室	(財)台東区芸術文化財団	
2日	土	平成18年度教育委員会主催ミニコンサート	木管五重奏	取手市戸頭公民館	取手市教育委員会	
2日	土	「したまち邦楽シニアアソシエーション」演奏指導	邦楽	東京芸術大学教室	(財)台東区芸術文化財団	
5日	火	台東区立田原小学校創立95周年記念演奏会	邦楽	浅草公会堂	台東区立田原小学校	
6日	水	JTアフタヌーンコンサート	Vn・Pf	JT7-ホール アフィニス	日本たばこ産業株式会社	
8日	金	平成18年度学習院初等科邦楽鑑賞会	邦楽	学習院初等科正堂	学習院初等科	
8日	金	九段自立プラン 日本伝統文化体験・江戸っ子 指導	邦楽	千代田区九段中学校	千代田区九段中学校	
9日	土	「したまち邦楽シニアアソシエーション」演奏指導	邦楽	東京芸術大学教室	(財)台東区芸術文化財団	
10日	日	【受託演奏】アリック・メンデルソーン・ハルトデイ基金チャリティコンサート	特別編成学生オーケストラ	東京国際フォーラム	アリック・メンデルソーン・ハルトデイ基金	
10日	日	平成18年度第26回取手市民音楽祭	教員・学生(木管合奏)	取手市市民会館	取手市文化事業団	
12日	火	第56回チャリティコンサート メサイア	指揮(声楽・Tp学生)・管弦楽研究部	東京文化会館	朝日新聞厚生文化事業団	
14日	木	「花フェスタ IN GINZA」コンサート	邦楽(日舞・箏曲山田流)	東京メトロ 銀座駅	(株)メトロコマース	
16日	土	「したまち邦楽シニアアソシエーション」演奏指導	邦楽	東京芸術大学教室	(財)台東区芸術文化財団	
16日	土	【受託演奏】LEXUSコンサート in 藝大 06	教員・学生・非常勤教員	奏楽堂	東京トヨベット株式会社	
16日	土	平成18年度旧奏楽堂チャリティコンサート	声楽(Vカラ)	旧奏楽堂	(財)台東区芸術文化財団	
17日	日	第26回「台東第九公演」	指揮・声楽・管弦楽研究部	奏楽堂	台東区企画財務部	
18日	月					
19日	火	「大学地域開放事業」御徒町台東中学校吹奏楽指導	木管・金管・打楽器	芸大第1ホール	台東区立御徒町台東中学校・台東区教育委員会	
20日	水					
21日	木	木曜コンサート	打楽器	旧奏楽堂	(財)台東区芸術文化財団奏楽堂	
21日	木					
22日	金	「大学地域開放事業」御徒町台東中学校吹奏楽指導	木管・金管・打楽器	芸大第1ホール	台東区立御徒町台東中学校・台東区教育委員会	
23日	土					
23日	土	天皇陛下御誕生祝賀レセプションにおける国歌独唱	声楽(テノール)	飯倉公館	外務省	
24日	日	第4回御徒町台東中と芸大による奏楽堂演奏会	教員・木金打学生・演奏芸術センター	奏楽堂	台東区教育委員会	

月	日	曜日	演奏会名	内容	会場	主催
1月	7日	日	平成18年度第17回取手市少年の主張大会	F!(P伴奏)	取手市立市民会館	取手市教育委員会
	13日	土	平成18年度取手市小・中学校との交流事業(吹奏楽部指導)	木管・金管	藤代南中学校	取手市教育委員会
	18日	木	木曜コンサート	声楽	旧奏楽堂	(財)台東区芸術文化財団奏楽堂
	19日	金	九段自立プラン 日本伝統文化体験・江戸っ子 指導	邦楽	千代田区九段中学校	千代田区九段中学校
	26日	金	九段自立プラン 日本伝統文化体験・江戸っ子 指導	邦楽	千代田区九段中学校	千代田区九段中学校
	28日	日	上野・浅草・にほんの音 新春!! 邦楽爛漫	邦楽	生涯学習センター	(財)台東区芸術文化財団
	28日	日	東京芸術大学金管五重奏と歌による～春を呼ぶコンサート～	金管・声楽・ピアノ	板東市民音楽ホール	板東市文化振興事業団
	3日	土	第3回安曇野市立穂高東・西中学校楽器演奏指導・コンサート	木管・金管	穂高東・西中学校	安曇野市教育委員会
	4日	日			穂高東・西中学校 町民会館	
	7日	水	未来館コンサート	邦楽	女性と仕事の未来館ホール	女性と仕事の未来館
	9日	金	九段自立プラン 日本伝統文化体験・江戸っ子 指導	邦楽	千代田区九段中学校	千代田区九段中学校
	15日	木	木曜コンサート	邦楽	旧奏楽堂	(財)台東区芸術文化財団奏楽堂
	15日	木	平成18年度碧南市芸術文化ホール自主事業「小・中学校音楽教室・一般向けコンサート」 金管楽器のヒミツ	金管	碧南市芸術文化ホール	碧南市・碧南市教育委員会
	16日	金				
2月	17日	土	平成18年度旧奏楽堂デビューコンサート	器楽(打楽器2名)	旧奏楽堂	(財)台東区芸術文化財団
	20日	火	平成18年度邦楽鑑賞教室	邦楽	蕨泉女子学園中学・高等学校	
	22日	木	台東区ミレニアムふれあいコンサート	邦楽	台東区生涯学習センター・シニアホール	台東区教育委員会
	23日	金	九段自立プラン 日本伝統文化体験・江戸っ子 指導	邦楽	千代田区九段中学校	千代田区九段中学校
	2日	金	第3回日本芸術振興会及び日本学士院学術奨励賞授賞式	弦楽四重奏(弦楽科教員)	日本学士院	日本芸術振興会
	8日	木	平成18年度台東区小・中学校音楽鑑賞教室	管弦楽研究部	奏楽堂	台東区教育委員会
	9日	金				
	15日	木	木曜コンサート	室内楽	旧奏楽堂	(財)台東区芸術文化財団奏楽堂
	20日	火	平成18年度音楽大学卒業生演奏会	ピアノ・邦楽	桃華楽堂	宮内庁

(主な内訳)

台東区関係38

取手市関係23

- 30 2006レクサス演奏会
- 7 御徒町台東区中学校吹奏楽指導及びコンサート
- 12 木曜コンサート
- 3 旧奏楽堂デビューコンサート
- 6 したまち邦楽シニアアンサンブル演奏指導
- 10 その他台東区関係
- 2 平成18年度取手市教育委員会主催ミニコンサート
- 19 平成18年度取手市小・中学校との交流事業(吹奏楽部指導)
- 2 その他取手市関係
- 2 九段自立プラン 日本伝統文化体験・江戸っ子 指導
- 13 安曇野市立穂高東・西中学校楽器演奏指導・コンサート
- 6 JFAアパリアンコンサート
- 5

台東区教育委員会
 (財)台東区芸術文化財団
 (財)台東区芸術文化財団
 (財)台東区芸術文化財団
 (教育委員会) (財)台東区芸術文化財団
 取手市教育委員会
 取手市教育委員会
 (教育委員会、文化事業団)

学位授与数

映像研究科は、平成17年度に設置

年度	美術学部	美術研究科		音楽学部	音楽研究科		映像研究科
	学士 (美術)	修士 (美術)(芸術表現) (文化財)	博士 (美術)(文化財)	学士 (音楽)	修士 (音楽)	博士 (音楽)(音楽学) (学術)	修士 (映像)
12	231	181	10	246	105	5	-
13	233	177	13	241	85	6	-
14	235	184	15	231	110	9	-
15	237	186	14	239	104	5	-
16	240	214	15	228	116	15	-
17	263	205	27	233	118	15	-
18	231	221	27	224	95	24	30

平成18年度 東京芸術大学 学生の学外での展覧会等参加例

No.	展覧会名 (参考URL)	会場	会期	出展学生	概要
				学科・専攻	
1	SPRING BOARD 2006 Part1 (http://www.jr-break.com/gallery/ueno/36th/index.html)	上野駅 Break Station Gallery	4月1日 ~ 4月20日	日本画、油画 彫刻、デザイン 建築、美術教育 文化財保存学	本展は、5回目の開催となる。 平成17年度の買い上げ賞(本学では、卒業する学部生と修了する大学院生による、卒業・修了制作展を例年2月下旬に開催しており、成績優秀な作品は買い上げられ、大学に保管されることになっています。)を受賞した学生たちによる、成果発表のグループ展。
2	SPRING BOARD 2005 Part2 (http://www.jr-break.com/gallery/ueno/36th/index.html)	上野駅 Break Station Gallery	4月22日 ~ 5月11日	日本画、油画 彫刻、工芸 デザイン 建築、美術教育 文化財保存学	卒業・修了制作展に発表されたものと関連する作品が、この展覧会のためにあらたに制作され、発表された。本学大学美術館が企画協力。Part1,2それぞれ7名が出展。
3	東京芸術大学 ~ 藝祭作品展示2006 ~ (http://www.jr-break.com/gallery/ueno/39th/index.html)	上野駅 Break Station Gallery	8月26日 ~ 9月28日	日本画、油画、 版画、陶芸、芸術学	本学藝祭実行委員会との共同企画展。 参加学生は、学部生、院生とさまざま、科もばらばら。上野駅という多くの人が毎日通る、日常的な場所で展示出来る素晴らしい機会。13名が参加。
4	共鳴するヴィジョン - 取 手のアーティストたち - (http://www.jr-break.com/gallery/ueno/41st/index.html)	上野駅 Break Station Gallery	10月28日 ~ 11月15日	先端芸術表現、 壁画	取手アートプロジェクト(TAP)2006の開催にあわせて取手に関わりの深いアーティストの作品を紹介するもの。本学卒業生、在学生を含む6名の作品が展示された。
5	「ストリート! 2007」展 Part 1 (http://www.jr-break.com/gallery/ueno/43rd/43rd_intro.html)	上野駅 Break Station Gallery	19年 1月27日 ~ 3月1日	油画、彫刻、工 芸	本展覧会では、駅という多くの人が行き交う場所を、表現のためのストリートと見なしている。JR東日本が、上野駅Breakステーションギャラリーを、本学の若い学生を支援するために提供している。
6	「ストリート! 2007」展 Part 2 (http://www.jr-break.com/gallery/ueno/43rd/43rd_intro.html)	上野駅 Break Station Gallery	19年 3月3日 ~ 3月29日	油画、彫刻、工 芸、芸術学	Part1,Part2それぞれ8名が出品。
7	藝大生展	上野松坂屋	10月4日 ~ 10月17日	日本画、油画、 彫刻、工芸、先 端芸術表現、芸 術学	上野松坂屋のVPゾーンでの作品展示。本館北口アーケードで壁画のライブペインティングも行った。
8	上野タウンアートミュージアム 2006年度ドキュメント展	上野駅グランドコンコース、小島アートプラザ	3月27日 ~ 3月30日	美術学部	「社会と連携した芸術教育プロジェクト」という観点から行っている様々な活動を「上野タウンアートミュージアム」と位置づけ、創立120周年を祈念し、推進していくこととした。本展は、2007年度より「上野タウンアートミュージアム」として展開するプロジェクトが2006年度までに行ってきた活動を紹介するもの
9	東京芸術大学・中国美術学院国際交流展「環境と芸術」	中国美術学院展示ホール、杭州西湖野外会場	4月1日 ~ 4月8日	油画	協定校の中国美術学院との、アジアにおける次世代の芸術表現の創造に向けての共同プログラム
10	SWITCH	慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎ギャラリー	6月26日 ~ 7月7日	油画	慶應義塾大学理工学部近藤研究室と本学絵画科油画専攻保科研究室が現代美術に関心の薄い一般学生を如何に巻き込み現代美術の面白さを伝えられるかということをもとにした共同研究の成果発表展。教員、大学院生ら8名が出展。
11	インターイメージ/日本とオーストラリアの現代美術の出会い	オーストラリアGriffith University Queensland College of Art	8月19日 ~ 8月27日	油画	オーストラリアGriffith University Queensland College of Artとの交流展。同展は、本学大学会館でも開催した。(12/4~12/8)

No.	展覧会名 (参考URL)	会場	会期	出展学生		概要
				学科	専攻	
12	ちずあと	小島アートプラザ	12月11日 ~ 12月18日	油画		「地図」というテーマのもと、地域施設の積極的な活用、地域の再発見、又地域との新しい関係づくりを意図し、本学と早稲田大学との共同企画によって行われた。
13	「OPEN STUDIO」 at kojima	小島アートプラザ	19年 3月24日 ~ 3月31日	油画		地域住民参加型のワークショップを始め、アトリエの開放等をつうじて人とアートのコラボレーションに挑んだもの。
14	版画研究室交流展 ヴィクトリア・カレッジ・オブ・アーツ、メボルン大学 - 東京芸術大学美術学部	ヴィクトリア・カレッジ・オブ・アーツ、メボルン大学 版画科画廊	5月22日 ~ 6月2日	版画		本学版画研究室とヴィクトリア・カレッジ・オブ・アーツ、メボルン大学版画科の交流展。大学院生、教育研究助手ら12名、豪大学側14名が参加。「2006日豪交流年」参加イベント。同展は、本学大学美術館陳列館でも開催した。(4/17~5/2)
15	版画の彩展2006 第31回 全国大学版画展	町田市立国際版画美術館	12月2日 ~ 12月17日	版画		全国の美術系大学の版画作品展。選ばれた美術作品は収蔵される。研究室では学生に学外におけるコンペに積極的に参加することを奨励しており、本学版画専攻の学部4年生3名・大学院修士課程1年生8名、合計11名が参加。
16	「体験展 北京 - 東京文化交流展」	清華大学美術学院	9月4日 ~ 9月10日	彫刻		本学と交流締結校である北京の2大学との交流展。本学研究生2名、本学大学院に留学中の中国人学生2名、中国側清華大学美術学院4名、中央美術学院4名が出展。同展は11月27日(月)~12月1日(金)に本学大学学生会館でも開催された。
		中央美術学院 通道画廊	9月18日 ~ 9月22日			
17	「METAL DETECTOR 東京芸術大学彫刻科金属質に学んだ作家たち vol.2」	天王洲セントラルタワーアートホール	6月26日 ~ 7月7日	彫刻		本展は、本学大学彫刻科出身で、現在も活動を続ける作家を探知し、その作家の作品を展覧会形式で紹介するもの。卒業生2名が出展。彫刻科金属研究室が実行委員会を組織、2004年に続いて2回目。
18	第5回 金属彫刻作家新鋭展 -On the trip-	メタルアートミュージアム 光の谷	7月1日 ~ 7月30日	彫刻		本学と筑波大学が選出された主に金属を素材として表現研究を行っている作家(在学生又は卒業生)の作品。
19	アトリエの末裔あるいは未来2	旧平櫛田中邸	12月1日 ~ 12月10日	彫刻		近隣に所在する彫刻家平櫛田中の旧邸を使用した彫刻展。本学彫刻専攻の大学院生、教員の作品を展示。
20	芸大生・美大生による彫刻展 ~さまざまなもののかたち	流山市生涯学習センター第1・2ギャラリー	19年 3月15日 ~ 3月25日	彫刻 工芸		さまざまな素材でできた立体作品の展示。彫刻科12名、工芸科1名が参加。(他に他大学2名) 17・18・21・25日各午後1~5時には小学5年生~中学3年生を対象としたアートワークショップも開催した。
21	うつわ展	日本橋三越	10月24日 ~ 10月30日	鍛金		鍛金研究室全員(学部生、大学院生、教員、教育研究助手、非常勤教員ら31名による作品展
22	MARKET Invitation from a feeling space	天王洲セントラルタワーアートホール	5月15日 ~ 6月9日	鍛金		卒業作品、修了作品の展示
23	安曇野アートリレー (http://www.geidai.ac.jp/labs/tankin/topics_win/azumino/azumino_a.jpg)	安曇野市各所	10月28日 ~ 11月15日	鍛金		安曇野市の旧5町村にある文化財建築周辺に美術作品を展開し、作品を鑑賞しながら地域を結ぶという展覧会。鍛金研究室の教員1名及び院2年生4名が参加。

No.	展覧会名 (参考URL)	会場	会期	出展学生		概要
				学科・専攻		
24	いものコレクション2006	天王洲セントラルタワー	1月29日～2月6日	鍍金		学生の成果発表展 鍍金研究室の大学院1年生と学部3年生を中心とした年間成果発表展
25	東京藝術大学陶芸科 Ceramic Exhibition 2006	天王洲セントラルタワー	4月17日～4月28日	陶芸		大学院1年生を中心に作品発表
26	スーパータイト	日比谷国際ビルB1 ショーウィンド ギャラリー	6月26日～7月14日	陶芸		大学院2年生を中心に作品発表
27	第43回社寮会作陶展	日本橋三越	8月29日～9月4日	陶芸		43年続いた会でありOBとの技術情報交換の場ともなっている
28	JAPAN TEX 2006 学生による「輪廻する糸 '06: Plant Fiber Reincarnation」	東京ビッグサイト	11月22日～11月25日	染織		全国30校の学生による作品展示。本学染織専攻3年生が中心となり取り組み、研究室スタッフも指導に当たった。
29	培材大・東京藝術大 漆 芸交流展	韓国(大田) 培材大学	5月19日～5月21日	漆芸		韓国(大田)培材大学と本学の両大学漆芸学生有志による交流展。シンポジウム及び、出品者間の交流会も実施。
30	「ShinPA」～中島千波と 東京芸術大学デザイン科 描画系展～	佐藤美術館	1月17日～2月25日	デザイン		デザイン科描画・装飾研究室(=中島千波研究室)の出身作家たちによる研究発表のためのグループ展。デザイン科描画・装飾研究室出身若しくは在学中の作家27名、約30点の作品と中島教授作品を展示。長野おぶせミュージアムの「作家の卵展」(2006年1月27日～5月9日)の巡回展でもある。
31	谷中にすまう展	谷中アートスペース・гент ト	9月15日～9月17日	建築(片山研究室)		歴史的な町並みである谷中におけるすまい方の提案を中心とした展示。片山研究室修士1年生を中心に実施。
32	ワークショップ「木で家の 顔をつくろう！」	新宿OZONE	11月19日	建築(片山研究室)		小学生とその親のためのワークショップ。木造伝統構法を学ぶことを通じて、生活と樹木、木材との関係を知る。
33	建築家フォーラム第56回 「コンテンポラリーなウッド・ストラクチャーとデザイン」	I N A X 銀座 ショールーム7 F (東京・京橋)	11月16日～11月21日	建築(北川原研究室)		「コンテンポラリーなウッド・ストラクチャーとデザイン」というテーマの下、木面格子の一連の建築プロジェクトと北川原研究室で行ってきた木の研究成果を展示。
34	東京芸術大学美術学部建築科 中国美術学院上海設計学院 教研成果交流展	上海茂名画廊	9月8日～9月18日	建築科		中国美術学院上海設計学院と合同で行った教育研究成果の発表展
35	祀	大倉山記念館	19年 2月3日～2月10日	先端芸術表現		田甫研究室と新潟県十日町市の地域住民との共同制作による展示
36	ErathworkInternational2 007	ヒルサイドプラザ	19年 3月21日	先端芸術表現		田甫律子教授の展示の一環として研究室のアースワークと手法に関する学生作品の展示とフォーラム開催
37	SOUND AND VISION 展	ZAIM	19年 3月24日～4月1日	先端芸術表現		ZAIM de FESTA 2007 YOKOHAMAの一環として、音と光をテーマとした作品の展示をおこなった。

平成18年度 東京芸術大学奨学金等 受賞者一覧

No	奨学金等名	沿革	所属		人数	計
			学部・研究科	学科・専攻		
1	安宅賞	故安宅英一氏(元安宅産業(株)会長。美術品収集家。安宅コレクションの基礎を築く。音楽愛好家)により設立。	美術	日本画	2	19
			美術	油画	3	
			美術	彫刻	1	
			美術	工芸	6	
			美術	デザイン	2	
			美術	建築	1	
			美術	先端芸術表現	1	
			美術	芸術学	1	
			美術	造形学	1	
			美術	文化財保存学	1	
			音楽	作曲	1	
			音楽	声楽	2	
			音楽	器楽	6	
			音楽	指揮	0	
			音楽	邦楽	2	
			音楽	楽理	1	
			音楽	音楽環境創造	1	
			音楽			
			2	平山郁夫奨学金	平山郁夫氏の寄附により本奨学金が設立(平1)された。	美術
美術	油画	1				
美術	彫刻	1				
美術	工芸	1				
美術	デザイン	1				
美術	建築	1				
美術	先端芸術表現	2				
美術	芸術学	1				
美術	造形学	1				
美術	文化財保存学	1				
3	0氏記念賞	故大橋嘉一氏(大橋化学工業(株)会長)が設立(昭28)した「大橋賞」を母体として、氏の没後その功績を称え改称設立。	美術	油画	6	6
4	俵奨学金	俵正市氏(俵美術館(芦屋市)理事長)の寄附により設立。	美術	油画(版画)	1	1
5	久米桂一郎奨学基金	故久米桂一郎氏(元本学西洋画科教授)の業績を記念して、ご遺族及び関係者により「久米美術館」(品川区)と共に本賞を	美術	油画	6	9
				彫刻	3	
6	内藤春治奨学基金	故内藤春治氏(元本学工芸科(鑄金)教授)の業績を記念して、ご遺族及び関係者により設立。	美術	工芸(鑄金)	3	3
7	原田賞奨学基金	本学工芸科(染織)3年に在学中、不慮の事故により夭折した故原田寛子氏を悼みご遺族により設立。	美術	工芸	12	12
8	伊藤廣利奨学金	故伊藤廣利氏(元本学美術教育教授)の業績を記念して、ご遺族及び関係者により設立。	美術	工芸	1	2
			美術	美術教育	1	
9	藤野奨学金	藤野宗次郎氏(藤野金属(株)会長。日本銅センター会員。美術愛好家)の寄附により設立。	美術	工芸(鍛金)	1	2
			美術	美術教育	1	
10	吉田五十八奨学基金	故吉田五十八氏(元本学建築科教授)の寄附により設立。	美術	建築	2	2
11	長谷川良夫奨学基金	故長谷川良夫氏(元本学作曲科教授。イタリア賞受賞)の業績を記念して、ご遺族及び関係者により設立。	音楽	(本年度該当なし)	0	0
12	松田トシ賞	松田トシ氏(声楽家。本学前身、東京音楽学校卒。NHK「うたのおばさん」等)の寄附により設立。	音楽	声楽	2	2

No	奨学金等名	沿革	所属		人数	計
			学部・研究科	学科・専攻		
13	クロイツァー記念音楽賞	故レオニード・クロイツァー氏(ロシア生れ、元本学器楽科(ピアノ)教授)の功績を記念して、氏の子弟達の寄附により設立。	音楽	器楽(ピアノ)	1	1
14	浄観賞	故二世稀音家浄観氏(本名、杉本金太郎。元本学長唄三味線教授。芸術院会員。文化勲章受賞)の業績を記念して、ご遺族及び関係者により設立。	音楽	邦楽	2	2
15	宮城賞	故宮城道雄氏(元本学箏曲教授、芸術院会員。第1回NHK放送文化賞受賞)の業績を記念して、箏曲演奏家の育成を目的に、ご遺族及び関係者により設立。	音楽	邦楽	1	1
16	常英賞	常磐津文字衛氏(本名、鈴木英二。元本学常磐津三味線客員教授。重要無形文化財保持者)の寄附により設立。	音楽	邦楽	2	2
17	野村賞	野村証券(株)の基金拠出により、国際社会における真の相互理解の実現のために、音楽・美術分野における人材育成活動及び国際交流活動に対する助成を目的に設立。	美術	日本画	2	4
			美術	彫刻	1	
			美術	文化財保存学	1	
18	高橋芸友会賞	本学公開講座(美術学部)修了者の有志団体である「特定非営利活動法人上野芸友倶楽部」の寄附により設立。	美術	油画	5	5
19	伊達メモリアル基金(アドリアネ・ムジカ賞)	故伊達純氏(元本学器楽科(ピアノ)教授)の業績を記念して、ご遺族及び関係者により設立。	音楽	器楽(ピアノ)	1	1
20	ユ-国際文化交流支援基金	小葉将夫氏(株)丸正代表取締役社長の寄附により設立。	美術	芸術学	1	2
			音楽	音楽環境創造	1	
21	菅原安男奨学基金	故菅原安男氏(元本学彫刻科教授)のご遺族の寄附により設立。	美術	彫刻	1	1
22	セプテーニ奨学基金	七村 守氏(株)セプテーニ代表取締役会長の寄附により、若い優秀な芸術家育成の支援を目的に設立。	美術	油画(版画)	2	2
23	陶社会奨学金	陶社会の寄附金により設置(平18)。	美術	工芸(陶芸)	4	4
24	お仏壇のはせがわ賞	株式会社はせがわの寄附金により設置(平18)。	美術	文化財保存学(保存修復)	1	1
24	卒業・修了作品買上	当初は、学生が少ないこともあり、卒業生ほとんど全員の作品を買上げていたが、戦争等、時代の推移の中で、半数買上や買上中断などを経て、現在は、「優秀作品」を買上げている。また、昭和52年からは、「作曲作品」も買上げるようになった。(現在は、「大学美術館所蔵品」総数約45,000点のうち、「買上作品」は、約3,300点になっている)また、「自画像」作品の買上は、明治31年に始まり、現在は、4,200点以上となっている。	美術	日本画	1	10
			美術	油画	1	
			美術	彫刻	1	
			美術	工芸	1	
			美術	デザイン	2	
			美術	建築	1	
			美術	先端芸術表現	1	
			美術	造形学	1	
			美術	文化財保存学	1	
			音楽	作曲(本年度該当なし)	0	

No	奨学金等名	沿革	所属		人数	計
			学部・研究科	学科・専攻		
25	サロン・ド・プランタン賞	当時、ベルギー国代理大使・総領事であったシュバリエ氏の夫人を中心とする外交官夫人などの美術愛好家グループが若い芸術家支援を目的にパリの「サロン・ドートンヌ」にならって設立。その後、(財)西欧学芸研究所が引き継ぎ、現在は、本学が運営している。	美術	日本画	1	18
			美術	油画	2	
			美術	彫刻	1	
			美術	工芸	5	
			美術	デザイン	2	
			美術	建築	2	
			美術	先端芸術表現	1	
			美術	造形学	1	
			美術	文化財保存学	3	
26	芸大デザイン賞	故小池岩太郎氏、故高田正二郎氏(両氏とも元本学デザイン科教授)により設立され、その後、寿美田与市氏(元本学デザイン科教授)及び小池岩太郎氏ご遺族小池タカ氏から寄附受入。	美術	デザイン	5	5
27	アカンサス音楽賞	成績優秀を得て音楽学部を卒業する者を顕彰する目的に設立。	音楽	作曲	2	23
			音楽	声楽	6	
			音楽	器楽	7	
			音楽	指揮	1	
			音楽	邦楽	3	
			音楽	楽理	3	
			音楽	音楽環境創造	1	
受賞者合計					164	

No.1～24は、東京芸術大学奨学金制度によるもの

(参考:台東区長賞等)

台東区長賞	台東区長賞は、台東区と東京芸術大学の芸術文化交流の一つとして、昭和56年度に創設され、以後毎年贈られており、今回で26回目。区長賞受賞作品は、卒業制作展出品作品の中から美術学部の推薦に基づいて、台東区長らが選定。	美術 2名
取手市長賞	取手市長賞は、平成3年に東京芸術大学取手校地が開設されたことを記念して設けられた。本賞は、卒業・修了生から優秀な作品を制作した者が選ばれる。学生の今後の活動を奨励するとともに、取手市民の皆様が身近に芸術作品の鑑賞をしてもらうことを目的としたもの。	美術 2名
杜賞	杜の会(美術学部の同窓会)が卒業・修了作品、卒業・修了論文の中から優秀作品・論文に授与するもの	美術 5名
上野理恩賜公園「芸術の散歩道」への作品展示	東京都と本学が共同して行う上野恩賜公園立体造形展示事業。上野公園旧奏楽堂付近の散歩道(JR上野駅から本学へ向かう通学路でもある)の両側に設けられた展示箇所に卒業・修了作品の中から選定し、約1年間展示する。	美術 4名

平成18年度 東京芸術大学 研究テーマ例

部局	職	研究(代表)者 氏名	研究テーマ	研究内容の概要	補助金等
美術	教授	稲葉 政 満	アルカリ性紙と酸性紙の接触変色機構の解明	酸性紙資料の保存に使用する材料としてどのような紙が適しているかの研究	科研基盤(B)(一般)
美術	教授	佐藤 一 郎	東京美術学校西洋画科卒業制作自画像の技法・材料に関する総合的研究	保存修復油画研究室と共同研究であり、大学美術館が収蔵する絵画科(油画)卒業生の自画像作品の絵画技術、絵画材料を調査研究し、さらに現状を写真撮影し、必要であれば保存修復処置を行なう。さらに、高精細デジタル画像による撮影も行っている。調査研究である。(絵画科(油画))	科研基盤(B)(一般)
美術	教授	籾内 直 樹 (佐斗司)	平等院及び浄瑠璃寺阿彌陀像を中心に3Dデジタルデータによる定朝様式の比較研究	平安時代～鎌倉初期仏像の3Dスキニングをおこない、そのデータを基に比較研究し、像造技法の研究を行う。また、文化財修復への応用を試みる。	科研基盤(B)(一般)
美術	教授	竹内 順 一	明治期における音楽録音資料・蝋管(ろうかん)の保存体制と公開手法の研究	世界初の「音源メディア」であるエジソン期の蝋管の黴(かび)を除去して保存体制を確立し、録音された「音」をデジタル手法により安全に再生し、Web上で公開する手法の研究。	科研基盤(B)(一般)
美術	教授	北川原 温	「聴く建築」、音の景相に基づいた新たな空間設計手法の立案に向けた研究	音を用いた新たな建築空間の設計手法開発に関する研究	科研基盤(B)(一般)
美術	教授	北田 正 弘	日本刀のナノ組織を手本にした新しい超鉄鋼材料の開発	日本刀の鉄鋼組織の解析により、製作当時の技術を明らかにし、新規プロセスを提案する。	科研基盤(B)(一般)
美術	教授	島田 文 雄	13世紀～14世紀の龍泉窯陶磁技法「青磁大皿」の復元的焼成研究	13世紀後半に生産された青磁大皿。高温に耐える耐火物がどのような製法(製造法、原料、釉調合)とどのような窯道具、焼成法で量産されたのかを調査研究し大皿の復元。	科研基盤(B)(海外)
美術	助教授	工藤 晴 也	世界遺産ガッラ・プラチディア廟モザイク壁画の保存修復調査と修復技法の実証的研究	4世紀に制作された初期キリスト教モザイク壁画の保存修復調査及び修復技法の研究。	科研基盤(B)(海外)
美術	教授	片山 和 俊	中国客家民居・遷移と住居形式の変容プロセス	中国に残る客家が建設した特異な住宅形式の調査研究。	科研基盤(B)(海外)
美術	助教授	光井 涉	初期書院造の空間構成に関する研究	日本住宅様式を代表する書院造の空間の特徴を把握するための基礎研究。	科研基盤(C)(一般)
美術	教授	北 郷 悟	彫刻におけるデジタル立体造形の可能性と新たな表現法の研究と応用	彫刻表現と美術館収蔵品のデータとしての応用研究	科研基盤(C)(一般)
美術	助教授	古川 聖	音楽構造と建築空間の深層における共通構造の知識表現を通じた総合表現システムの研究	芸術、美学、工学の観点から、(1)建築や庭園などに見られる象徴的な空間の構成的な原理、(2)時空間に展開される音楽の構成的な原理、さらに、(3)それらの構成的原理の深層にある共通性を明らかにした上で、(4)視覚、身体感覚、聴覚をダイナミックかつインタラクティブに結びつけるアートの創造を支援するシステムを構築する	科研基盤(C)(一般)
美術	教授	尾登 誠 一	宇宙茶室2 - 微小重力空間における“柔”環境デザイン -	微小重量の宇宙環境下に於ける居住条件は、地上の生活と大きく異なる。研究は、空間的、時間的、人間的な宇宙生活条件を日本古来の茶室に照らし、その要素をデザイン展開、新たな居住のありようをデザイン提案するものである。	科研基盤(C)(一般)

部局	職	研究(代表)者 氏名	研究テーマ	研究内容の概要	補助金等
美術	助教授	越川 倫明	ティントレット派素描のカタログ化、英国所蔵作品総目録の作成	16世紀ヴェネツィア派の画家ティントレットとその周辺画家による素描作品のうち、現在英国内に所蔵される約200点の作品を詳細に調査し、カタログ化する。	科研基盤(C)(一般)
美術	助教授	野口 昌夫	中・南部トスカーナにおける歴史的な小都市と地域の形成に関する研究	イタリアトスカーナ地方をフィールドとする歴史的な小都市の成立過程に関する研究。	科研基盤(C)(一般)
美術	教授	北田 正弘	文化財のナノ構造分析のための極微量試料採取法の開発	FlB法を応用し、数十マイクロオーダーの試料を作製する新手法の確立を目指す。	科研萌芽
美術	教授	稲葉 政満	和紙製造法の技術革新	和紙製造法への洋紙製造技術の導入がどのように行われたかを明らかにする。	科研特定領域
美術	助教授	松下 計	催事商品群のブランディング	製品の確かな格付けとユーザーとの好適な関係形成のためのパッケージデザインの開発	受託研究
美術	助教授	日比野 克彦	取手市コミュニティバス運行による地域情報伝達システムの研究開発	取手市で新規に運行されるコミュニティバスの単体を、書き換え可能なローカル情報メディアとして使用するための運用システムの提案を行った。市民の持っているローカル情報を実行ルートごとによりサーチし、コミュニティバス運行開始後の情報収集と発信のシステムをワークショップを通じて構築した。	受託研究
美術	教授	清水 真一	旧吉田邸建物の復原整備設計に関する調査研究	公開に先立って必要な保存修理、復原及び活用整備に向けての調査研究を行い、また、基本設計を行う。	受託研究
美術	助教授	工藤 晴也	壁画によるまちづくり	壁画研究室大学院修士課程在学生在が市街地の環境改善を目的として、市民と共同での公共壁面に壁画を制作した。	受託研究
美術	教授	籾内 直樹 (佐斗司)	浄瑠璃寺・灌頂堂大日如来座像保存修復の研究	藤末謙初における造仏技法の展開を調査研究し、修復処理を行った。	受託研究
美術	教授	籾内 直樹 (佐斗司)	光照寺地藏菩薩立像調査研究及び修復	大仏師法橋助橋の基礎資料として調査研究をおこない、修復処置をした。	受託研究
美術	教授	黒川 哲郎	「環境都市」ソウルの風景的都市改造に関する調査研究	ソウル市を対象として、その風景の背景にある文化的社会的所産をもとにした都市改造計画の調査研究 http://www.geidai.ac.jp/labs/kurokawa/project.html 参照	受託研究
美術	学長	宮田 亮平	日枝神社における古江戸、武蔵野の植物画(天井絵)の表現研究と創造	日枝神社の上拝殿・下拝殿を飾る天井画を描くプロジェクト。神社草創期(鎌倉中期から北条時代)に古江戸、武蔵野を彩っていた百花・草・木を123枚(1枚は約70cm x 70cm)の板絵とし、古色を使い表現することにより狂騒なる大空間を演出することを目的とする。	受託研究
美術	教授	清水 真一	取手市指定文化財 東漸寺観音堂の解体調査研究	取手市指定文化財東漸寺観音堂の解体修理工事に伴う破損状況及び歴史的沿革に関する調査及び修復方針の検討	受託研究
美術	教授	籾内 直樹 (佐斗司)	茨城県坂東市西念寺「阿彌陀如来座像」の調査研究及び修復の研究	本像の修復を行うことによって藤原時代作の仏像彫刻の技法、構造、造形及び修復理念等を明らかにするとともに、関東の定朝様式の代表例として基礎資料の構築を行う。	受託研究

部局	職	研究(代表)者 氏名	研究テーマ	研究内容の概要	補助金等
美術	教授	宮 廻 正 明	古典研究をベースにした現代涅槃図の再現研究	国宝・金剛峯寺蔵「涅槃図」(1086年)の図様を基に欠損部の再現を試み、全体のバランス・色調の再興・伝統的技術と最新のデジタル技術を融合し、現代の社会情勢と合致した涅槃図の制作を試みる。	受託研究
美術	助教授	松 下 計	寺社仏閣用チタン建材写真のデザイン方法に関する研究	施工実績の写真素材にして、施主(住職・檀家)を対象に、絵皮銅、瓦など伝統的屋根に代わるチタン屋根の魅力を効果的に訴求する方法について研究する。	受託研究
美術	教授	稲 葉 政 満	ペンガラ系塗装材の耐光性試験	平等院鳳凰堂本体の塗装材として、ペンガラ系試料について耐光性の程度を評価する。	受託研究
美術	教授	木 島 隆 康	陳澄波油画作品三点の調査と修復	台湾の初期洋画に大きな影響を与えた陳澄波の作品の調査と修復を通して、東京美術学校時代の絵画技法・絵画材料の教育について調査研究を行う。	受託研究
美術	教授	木 島 隆 康	中村不折油画作品の調査及び修復	絵画技法材料について研究を行うとともに、現状を詳しく観察し、調査によって得られた情報をもとに、修復計画を立案、適切な修復措置を施し、将来にわたる作品の健全化を図る。	受託研究
美術	教授	佐 藤 一 郎	理想的な油絵具の研究	ホルペイン工業と油画技法材料研究室との共同研究である。既存の油絵具の物性を画家の立場からと自然科学的立場から調査研究し、「理想的な油絵具」を実地に作成し、それを芸大ブランドの新製品として開発する。その際、デザイン科と連携し、容器、パッケージデザインまで含めた商品開発を行なう。	共同研究
美術	教授	清 水 真 一	台東区上野・谷中地区の歴史を活かしたまちづくりに関する調査研究	これまでの研究成果を基に、台東区上野・谷中地区の歴史や文化を地域の人々と再発見するためのワークショップを行い、大学と地域が一体となって考えられるような今後のまちづくりのあり方を探る。	共同研究
美術	教授	片 山 和 俊	谷中地区まちづくりデザイン指針調査研究	これまでの研究成果を基に、谷中にふさわしいまちづくりの作法やデザイン指針を検討し、行政と地域と大学が連携して行う今後のまちづくりに資するものとする。	共同研究
美術	学部 学 長	六 角 鬼 丈	(仮)「芸術と教育 - 美術学部教育の現在」	現在を軸とした美術教育の現場の実態を浮かび上がらせることを目的に冊子とDVDを制作する。美術学部各科目・専攻の教員に対して教育の枠組み・展望を話し合う座談会の実施や、各科の制作現場を写真や映像により取材した内容を盛り込んで制作する。	学長裁量経費
美術	教授	手 塚 雄 二	徳川本源氏物語絵巻の研究	大学院生による模写制作の全過程を通して行う「国宝源氏物語絵巻」の研究。また、その模写作品及び制作記録を蓄積することによる資料の充実。	学長裁量経費
美術	教授	宮 廻 正 明	世界遺産高句麗古墳壁画の超高位デジタルアーカイブ構築と復元のための基礎実験	高句麗壁画模写を行い、現状模写及び推定復原模写を行うための基礎的検討を行っている。	学長裁量経費
美術	教授	池 田 政 治	GEIDAIアートデザインセンター(仮称)設立構想プロジェクト	芸大の社会連携および産学連携の専門拠点となる組織のあり方・可能性等をすでにデザインセンターを設立している韓国のデザイン系大学および国内の関係機関を調査し、設立構想計画書としてまとめあげた。	学長裁量経費
美術	助教授	長 濱 雅 彦	匂い再生システムによる芸術創作活動支援に関する研究	東京工業大学との共同研究。デジタル作品(視覚)と香り発生装置(嗅覚)を利用した新しいコンテンツについて研究。2006CEATECで研究発表も行った。(デザイン科)	その他 共同:東京工業大学 (科学研究費)
美術	助教授	大 西 博	ハイエンドデジタル光学調査およびデータベース作成のための研究	保存修復油画研究室と共同で次世代デジタル画像システムの研究を応用し、大学美術館が収蔵する絵画科(油画)卒業生の自画像の撮影、調査(絵画科(油画))	

部局	職	研究(代表)者 氏名	研究テーマ	研究内容の概要	補助金等
美術	教授	佐藤 一郎	バーミヤーン壁画調査・研究	アフガニスタン、バーミヤーン壁画が流失文化財として、日本に42点存在している。それら壁画を、東京文化財研究所と共同研究を行い、基本的なデジタル画像によるデータベースを作成し、その絵画材料、絵画技術を考察した。(絵画科(油画))	
美術	教授	島田 文雄	デザイナー食器への挑戦 - チャイナペインティングの美	大倉陶園との共同研究授業(2006年4月～9月)を行い、「チャイナペインティングの美」を研究テーマとしたデザイナーセット制作を大学院1年生を中心とした計13名で制作した。またその成果を大学美術館陳列館(2007.1/15～22)で発表した。	
音楽	助教授	大角 欣矢	近代日本における音楽専門教育の成立と展開	東京音楽学校における西洋音楽及び日本音楽の実技と理論の専門教育の成立と展開について研究し、資料のデータベース化・アーカイヴ構築等を進めた。	科研基盤(B)(一般)
音楽	教授	土田 英三郎	貴重音響資料デジタル化の試み	音楽学部所蔵の音響資料のデータベース化を進め、同時に文字データベースの検索システム検証、音響資料のデジタル化研究、利用・公開方法の検討を行った。	科研基盤(B)(一般)
音楽	助教授	植村 幸生	芸術系大学における楽器資料の教育資源化	芸術系大学の所蔵楽器資料を活用した学内教育カリキュラムの再編成と学外の低年齢層向け教育教材開発。	科研基盤(B)(一般)
音楽	助教授	杉本 和寛	西沢一風を中心とする、近世前期出版界における作家・作品・書肆の関係性に関する研究	西沢一風について、執筆活動と作品内容の分析・出版書肆としての活動・他の書肆や作家との関連性、の3つについて基礎的な資料の収集等を行った。	科研基盤(C)(一般)
音楽	教授	佐野 靖	芸術表現教育に関する基礎的研究:幼・小・中の系統的音楽学習プログラムの開発	理論研究と実践研究の関連を図りながら、芸術表現教育に関する理論的枠組みを構築し、それに基づいた音楽学習プログラムを構築・開発した。	科研基盤(C)(一般)
音楽	助教授	塚原 康子	近代日本の音楽家に関する研究	近代日本の音楽家について、戦前期までの名簿等から音楽家データベースを作成し、その分析に基づいて諸問題に光を当てその全体像に迫った。	科研基盤(C)(一般)
音楽	講師	尾高 暁子	中華民国期上海のアマチュア組織活動と音楽消費の実態 国楽生成に焦点をあてて	中華民国期上海の社会的な脈絡において、どのような担い手が、いかに音楽を消費/享受したかを改めてさぐる。具体的には中国での資料調査等を行った。	科研基盤(C)(一般)
音楽	教授	枝川 明敬	文化活動が地域の経済的な活性化に及ぼす影響及びその方策に関する研究	地域の文化活動と経済活動との関係を地域活性化という観点から想起し、文化面から顧み地域活性化の可能性を探るため、地域作りの現状に関する調査等を行った。	科研基盤(C)(一般)
音楽	助教授	山下 薫子	音・音楽環境と音楽的イメージの発達と相関に関する国際比較	現代の日本人を取り巻く音・音楽環境について、質問紙調査とインタビューを行い、因子分析による意味づけを行った。音楽的イメージの評価システムを用いてその発達段階を調べた。	科研基盤(C)(一般)
音楽	助手	遠藤 衣穂	15世紀初期における多声ミサ曲の研究	ミサ通常文聖歌の伝統と14～15世紀の多声ミサ楽章との関係について考察し、組ミサやミサ・サイクルの詳細な比較分析を行うため、北イタリアとイギリスにて資料調査を行った。	科研基盤(B)
音楽	助教授	迫 昭嘉	ピアノアクションの演奏性についての研究	ピアノ演奏性の改良を目的として、アクション機能とピアノ演奏上の表現の可能性について官能量と物理量の相関を把握することを目的として実施した。	共同研究
音楽	教授	佐野 靖	児童生徒を対象とした早期英才教育の在り方検討プロジェクト	足立区を中心に、1.ソルフェージュ能力調査及び楽典・ソルフェージュ集中的レッスンの、2.演奏能力とソルフェージュ能力の関係の実証的研究、3.早期音楽専門教育プログラムの基礎研究、を実施する。	学長裁量経費

部局	職	研究(代表)者 氏名	研究テーマ	研究内容の概要	補助金等
音楽	教授	畑 舜一郎	足立区民への文化芸術に関する影響度等の調査研究	今後の足立区内文化芸術振興・文化教育振興に資するため、足立区内において各種音楽イベント、音楽療法・音楽教育関連活動等を展開し、その影響度等について調査研究する。	受託研究
映像	助教授	桂 英史	地域精神医療と芸術表現に関する総合的研究	地域精神医療における芸術表現の役割を調査・研究し、その成果を踏まえたアートプロジェクトを試行実験し、それらを評価するという一貫した「実験」的研究を行う。	科研基盤(B)(一般)
映像	助教授	桐山 孝司	物語性を重視するデジタルメディアの制作配信基盤	物語性豊かなコンテンツの制作手法と鑑賞のためのブラウザを整備することにより、デジタルメディアを使った高度なインタラクションを実現する。	受託研究
映像	教授	藤幡 正樹	デジタルメディアを基盤とした新しい芸術創造に関する研究	芸術と科学の融合研究として「描画」をとりあげ、人間の根源的表現行為のひとつである「描く」を科学することから、ロボットやソフトウェアによるシミュレーションの開発実践を通して、人はなぜ絵を描くのかについて追求する。	受託研究
大学 美術館	助教授	横溝 廣子	芸大美術館所蔵美術作品および教育資料データベース	東京美術学校、東京音楽学校の時代より100年余りに渡り収集、継承されてきた教育・研究のための資料(芸術資料)は、指定物件(国宝・重要文化財)22件を含む、約28,000件という日本有数のコレクションとなっている。これらの収蔵品の管理・利用および情報公開のために公開している収蔵品データベースは、現在画像がそろっておらず、文字だけのデータが大半であるため、画像データベース化することを目的にしたもの。	科研研究成果公開促進 進費データベース
附属 図書館	館長	上野 浩道	東京芸術大学附属図書館貴重資料データベース	東京美術学校、東京音楽学校の時代より100年余りに渡り収集、継承されてきた古典籍資料(日本音楽譜を含む)の中で、特に学術的価値の高い和古書を中心に画像データベース化することを目的にしたもの	科研研究成果公開促進 進費データベース
美術 音楽	学長	宮田 亮平	「日本の伝統・文化」の副教材の研究・開発委託	都立学校における学校設定教科・科目「日本の伝統・文化」の副教材を研究・開発することにより、従来の教科・科目の枠組みを超えて日本の伝統・文化について計画的・系統的な指導を実施し、日本人としての自負と誇りを養うとともに、世界の多様な文化を尊重する態度や資質をばぐむ教育を推進する。音楽教育、音楽学、音楽文芸、音楽環境創造、美術教育、漆芸、建築が参加。	受託研究
美術	学部長	六角 鬼丈	「都市のSMLXL 共同体の記憶と継承」	国際的に第一線で活躍する建築家レム・クーレルハース・AMOメンバーを招聘し、教員、大学院生との共同教育プロジェクト。都市フィールドワークの実践的調査を行い、芸術、都市、グローバルリズムに焦点に世界の先進・途上地域の各都市を比較、直接の教育効果として、国際交流、フィールドワーク、リサーチ、プレゼンテーションスキルの取得などがある	学長裁量経費

平成18年度 東京芸術大学 公開講座一覧

No.	部局	講座名	会場	日程	開講日数	募集人数	受講者数	備考
1	美術	陶芸(初級)	総合工房棟2F 多目的ラウンジ	4/15・22 5/13・20	4	50名 市民一般	48名	土曜開講
2	美術	陶芸中級(手びねり)	総合工房棟1F オープンアトリエA-112	6/10・11・17 7/1・2・8	6	30名 市民一般	33名	土日開講
3	美術	陶芸上級(ロクロ)	総合工房棟1F オープンアトリエA-112	6/10・11・17 7/1・2・8	6	20名 市民一般	20名	土日開講
4	美術	油画(前期)	絵画棟油画実習室	7月19日～7月26日	7	63名 市民一般	72名	(7/23を除く)
5	美術	今日の美術入門	絵画棟油画実習室	7月19日～7月26日	7	30名 市民一般	30名	(7/23を除く)
6	美術	リトグラフ実技	リトグラフ実習室	7月19日～7月26日	7	18名 市民一般 (25歳以上)	18名	(7/23を除く)
7	美術	スクリーンプリント実技	絵画棟立体工房	7月19日～7月26日	7	18名 市民一般 (25歳以上)	18名	(7/23を除く)
8	美術	テラコッタ技法による彫刻制作(ヒトを造る)	総合工房棟2F 多目的ラウンジ	7/22・23・29・30 8/5・6・19・20	8	20名 市民一般	22名	土日開講
9	美術	みんなで作る工作	金工棟木工室	7月24日～7月28日	5	10組 小・中学生 と保護者	22名	親子講座
10	美術	油画(後期)	絵画棟油画実習室	8月2日～8月9日	7	63名 市民一般	65名	(8/6を除く)
11	美術	銀でつくる装身具	金工棟オープンアトリエ2	9月16日～9月24日	6	22名 市民一般 (18歳以上)	22名	(9/19～9/21を除く)
12	音楽	声楽公開講座	奏楽堂ホワイエ	7月19日～7月21日	3	100名 市民一般	107名	
13	音楽	指揮法入門	第1ホール	7月24日～7月25日	2	50名 市民一般 (高校生以上)	50名	
14	音楽	はじめての中国琵琶	5-401教室	8月23日～8月25日	3	20名 市民一般 (中学生以上)	20名	
15	美術	漆芸入門～沈金と箔絵～	共通工房塗装造形工房	8/19・20・26・27 9/2・3・9	7	15名 市民一般	22名	
16	美術	すぐに飾れるフレスコ画	モザイク実習室	8月24日～8月31日	7	25名 市民一般	19名	(8/27を除く)
17	美術	ガラス工芸初級 蜻蛉玉づくりに挑戦)	共通工房ガラス造形工房	9/15又は9/16又は9/17 (3日間とも同内容)	3	各日10名 市民一般 (18歳以上)	15名	左記のうち 2日間のみ 開講

No.	部局	講座名	会場	日程	開講日数	募集人数	受講者数	備考
18	美術	手作り木工 ～壁の「飾り小棚」～	共通工房木材造形工房	9月16日～9月24日	7	20名 市民一般	17名	(9/19～9/20を除く)
19	美術	七宝でつくる -象嵌七宝-	共通工房金属表面処理工房	9月19日～9月27日	7	15名 市民一般	18名	(9/21, 24を除く)
20	美術	ガラス工芸初級 (オリジナルタンブラーづくりに挑戦)	共通工房ガラス造形工房	9/22又は9/23又は9/24	3	各日6名 市民一般 (18歳以上)	-	(不開講)
21	芸術情報センター	ちいさなアニメーション制作実習	芸術情報センター	7月24日～7月26日	3	10名 小学4～6年生	8名	
22	芸術情報センター	フリーソフトで作る大判プリント作品制作実習	芸術情報センター	7/28 8/4・11・18・25 9/1	6	10名 市民一般	5名	金曜開講 夜間開講
23	美術	針穴写真を撮ろう!(自家製ピンホールカメラ)	中央棟B1F写真センター	8/26 9/2・16・23	4	12名 市民一般	12名	土曜開講
24	美術	絵画制作(油画) 水曜日コース	小島アートプラザ (旧小島小学校)	4/19・26 5/10・17・24・31 6/7・14・21・28 7/5・12	12	30名 市民一般	52名	水曜開講 夜間開講
25	美術	絵画制作(油画) 金曜日コース	小島アートプラザ (旧小島小学校)	4/21・28 5/12・19・26 6/2・9・16・23・30 7/7・14	12	30名 市民一般		金曜開講 夜間開講
26	美術	紙を中心としたドローイング	小島アートプラザ (旧小島小学校)	9/11・25 10/2・16・23・30 11/6・13・20・27 12/4・11	12	15名 市民一般 (18歳以上)	22名	月曜開講 夜間開講
27	美術	絵画制作 (火曜コースA(基礎))	小島アートプラザ (旧小島小学校)	9/19・26 10/3・10・17・24・31 11/7・14・21	10	30名 市民一般	20名	火曜開講
28	美術	絵画制作 (火曜コースB)	小島アートプラザ (旧小島小学校)	9/19・26 10/3・10・17・24・31 11/7・14・21	10		10名	火曜開講
29	美術	絵画制作 (水曜コースA(基礎))	小島アートプラザ (旧小島小学校)	9/13・20・27 10/11・18・25 11/1・8・15・22	10	30名 市民一般	12名	水曜開講
30	美術	絵画制作 (水曜コースB)	小島アートプラザ (旧小島小学校)	9/13・20・27 10/11・18・25 11/1・8・15・22	10		19名	水曜開講
31	美術	手作りキャンバス、油絵具による絵画講座	小島アートプラザ (旧小島小学校)	9/14・21・28 10/12・19・26 11/2・9・16・30 12/7	11	20名 市民一般	14名	木曜開講
32	美術	現代美術講座 「地面に根をはり飛び跳ねる」～昼寝と散歩の日々を送り、楽に呼吸するために～	小島アートプラザ (旧小島小学校)	9/9・16・30 10/7・14・21 11/4・11・18 12/2	10	20名 市民一般 (中学生以上)	-	土曜開講 (不開講)
33	美術	子供と一緒にアート!	小島アートプラザ (旧小島小学校)	9/3・10・17・24 10/1・8・15・22・29 11/5・12・19・26 12/3	14	15～25組 小学生と保護者	-	日曜開講 親子講座 (不開講)
34	美術	紙を中心としたドローイング	小島アートプラザ (旧小島小学校)	1/15・22・29 2/5・19・26 3/5・12・19・26	10	15名 市民一般 (18歳以上)	24名	月曜開講

No.	部局	講座名	会場	日程	開講日数	募集人数	受講者数	備考
35	美術	絵画制作 (火曜コースA(基礎))	小島アートプラザ (旧小島小学校)	1/9・16・23・30 2/6・13・20・27 3/13・20・25	11	30名 市民一般	12名	火曜開講
36	美術	絵画制作 (火曜コースB)	小島アートプラザ (旧小島小学校)	1/9・16・23・30 2/6・13・20・27 3/13・20・25	11		9名	火曜開講
37	美術	絵画制作 (金曜コースA(基礎))	小島アートプラザ (旧小島小学校)	1/12・19・26 2/2・9・16・23 3/2・9・23・25	11	30名 市民一般	12名	金曜開講
38	美術	絵画制作 (金曜コースB)	小島アートプラザ (旧小島小学校)	1/12・19・26 2/2・9・16・23 3/2・9・23・25	11		5名	金曜開講
39	美術	人体(ヌードクロッキー)	小島アートプラザ (旧小島小学校)	1/10・17・24・31 2/7・14・21・28 3/7・25	10	20名 市民一般	18名	水曜開講
開講講座数		36講座		開講日数		272	受講者数	892名

15～20は取手校地開講の講座、24～38は学外施設(小島アートプラザ)で行う講座

各講座とも最低開講人数を設定しており、応募者数がそれに満たない場合は開講できない。

・17については、応募者が各日の最低開講人数(各日)に達しなかったため、応募者をまとめて、2日間のみ開講した。

・20、32、33については、応募者が最低開講人数に達しなかったため開講しなかった。

【その他】

足立区の委託を受けて実施した講座

No.	部局	講座名	会場	日程	開講日数	募集人数	受講者数	備考
1	音楽	文学から見た江戸・明治 (1)「西鶴という<毒>」	千住校地	1/29	1	50名	15名	対象：足立区民優先
2	音楽	文学から見た江戸・明治 (2)「常軌を逸した信義 -『雨月物語』『菊花の約』を読む-」	千住校地	2/19	1	50名	50名	対象：足立区民優先
3	音楽	文学から見た江戸・明治 (3)「森鷗外と三遊亭円朝」	千住校地	3/18	1	50名	83名	対象：足立区民優先
4	音楽	ドイツの詩と音楽(1)「歌に聞くウィーン子の心意気」	千住校地	2/17	1	50名	57名	対象：足立区民優先
5	音楽	ドイツの詩と音楽(2)「愛をめぐるドイツの詩 - 中世から現代まで」	千住校地	3/3	1	50名	137名	対象：足立区民優先
6	音楽	ドイツの詩と音楽(3) 「『ファウスト』上演のお国柄 - カナダ、ブラジル、スペイン、そして日」	千住校地	3/17	1	50名	78名	対象：足立区民優先
7	音楽	ピアノ・レスナーズ・クリニック～ピアノ教師のためのレクチャーとワークショップ～(1)	千住校地	2/27	1	10名	6名	対象：足立区内のピアノ指導者

No.	部局	講座名	会場	日程	開講日数	募集人数	受講者数	備考
8	音楽	ピアノ・レスナーズ・クリニック～ピアノ教師のためのレクチャーとワークシヨップ～(2)	千住校地	3 / 2 0	1	10名	10名	対象：足立区内のピアノ指導者
開講講座数		8講座		開講日数		8	受講者数	436名

平成18年度文化庁芸術団体人材育成支援事業によるもの

部局	講座名	会場	日程	開講日数	募集人数	受講者数	備考
音楽	芸大生による邦楽公開講座 （「長唄」「長唄三味線」「箏曲」「尺八」「能楽（謡曲・仕舞）」「邦楽囃子」の各コース）	千住校地	2 / 1 8	1	200名 小学校3年生以上	70名	音楽学部邦楽科主催、現役芸大生指導による公開講座を文化庁後援で開催したもの。邦楽と気楽に接していただく機会として初心者向けの講座内容。

平成18年度 東京芸術大学 外部資金受入概要

1. 共同研究, 受託研究及び受託事業 計279,380,552円

共同研究	4件	研究費	3,192,750円	研究料	420,000円
------	----	-----	------------	-----	----------

受託研究	37件	研究費	195,712,860円 (うち間接経費 37,630,937円)		
------	-----	-----	-----------------------------------	--	--

受託事業等	23件	事業費	80,054,942円 (うち間接経費 14,365,036円)		
			(文化庁芸術団体人材育成支援事業 7件 6,100,000円を含む。)		

2. 科学研究費補助金 計114,600,000円

文部科学省科学研究費補助金	34件	86,600,000円
---------------	-----	-------------

厚生労働科学研究費補助金	1件	28,000,000円
--------------	----	-------------

3. 寄附金等 計248,345,240円

藝大フレンズ	賛助フレンズ個人149名 / 法人5団体	
	特別賛助フレンズ個人18名 / 法人1団体	5,181,000円

藝大ルネッサンス基金	2件	4,000,000円
------------	----	------------

東京芸術大学創立120周年記念事業募金	179件	44,460,000円
---------------------	------	-------------

一般寄附金	160,748,747円	
-------	--------------	--

その他助成金等	33,955,493円	
---------	-------------	--

合計 642,325,792円

東京芸術大学に関係する主な新聞記事(平成18年度)

No	日付	新聞名等	見出し	概要
【社会貢献(地域連携・社会連携)に関するもの】				
1	2006/4/9	東京朝	芸術と産業の拠点「あだちプラザ」12日に開業	北千住駅近くの旧足立区役所跡地にオープン。近くには、東京芸術大学のキャンパスも開講予定。
2	2006/4/11	東京朝	上野発 未来列車	開園130周年を迎える上野公園。周辺の各機関・施設が協力して上野の山の今後を考えるシンポジウムが5/9に行われる。
3	2006/4/27	毎日朝	音楽や芸術を堪能 アトリエコンサート	5/8に台東区・朝倉彫塑館でアトリエコンサート。浦川教授らが出演
4	2006/5/5	東京朝	都会のオアシス 130年	上野公園130周年記念イベントの紹介。シンポジウムでは、宮田学長もパネラーに。
5	2006/5/21	新美時術新聞	月三回発行 自己啓発への誘い	本学公開講座の参加募集について
6	2006/5/31	産経朝	文化を通じ新たな街へ	足立区千住地区の再開発。本学千住キャンパスについて
7	2006/6/3	産経朝	美術とは...人間とは何か 進化する「ドットちゃん」お絵描きロボット	藤幡研究室が東京大学大学院情報学環と共同で開発したお絵かきロボットが日本科学未来館で一般公開された。
8	2006/6/19	四国新聞	Web 美術ワークショップ小豆島参加者募集	一流芸術家との交流を図りながら、美術への興味関心を高めてもらおうと、本学美術学部の協力を得て実施しており今年で六年目。
9	2006/6/23	朝日朝	都立高新教科「伝統・文化 来年度スタート」	本学と東京都教育委員会が共同開発した新教科「日本の伝統・文化」
10	2006/7/1	新美時術新聞	月三回発行 親子で体験!「漆を金と貝で飾る」	長野県の安曇野高橋節郎美術館で本学漆芸専攻が指導
11	2006/7/5	毎日朝	芸大と街作り2NPO法人 芸術の力で都心を活性化	芸術の力で都心を活性化しよう、フォーラム「モダンと粋の“わ”」が14日に開催される。
12	2006/7/11	朝日朝	下町4区の職人と芸大生交流 ものづくり談義に花	美術学部生40人と台東、荒川、墨田、葛飾の4区で「ものづくり」を続ける企業50社との交流会が開かれた。
13	2006/7/12	読売朝	ものづくりに若者感覚 墨田 芸大生徒町工場が交流	同上
14	2006/7/12	読売朝(千葉版)	常磐線は、芸術的!	常磐製沿線自治体、JR及び本学等が参加するJOBANアトライン協議会について
15	2006/7/15	毎日朝	丸の内を休日もにぎわう街に	「モダンと粋の“わ”フォーラム」で宮田学長基調講演、学生らが様々な丸の内活性化策を発表
16	2006/7/21	日経朝	生活商品の開発中小企業支援 地域の技術活用 東京芸大生らも参加	学生に芸術作品の創作だけではなく、社会的のある商品開発を体験させる。
17	2006/8月号	文化庁月報	P23 富山県氷見市における新しい地域再生の試み「ヒミング2006」	中村助教授が企画立案から制作、実施までかかわった「地域力/文化力」を高めるプロジェクトの紹介。
18	2006/8/7	四国新聞	Web 美術ワークショップイン小豆島始まる	本学美術学部が協力する「美術ワークショップイン小豆島」が始まった。毎年夏休みに実施しており六回目。
19	2006/8/10	読売朝	越後妻有アートリエンナーレ2006 里山に根付く美の祭典	日比野助教授は、前回校舎を朝顔で彩る「明後日新聞社文化事業」プロジェクトで参加。その後も毎年朝顔を植え通い続けている。
20	2006/8/25	あだち広報	1476号 開学します、東京芸術大学	9月に芸大千住キャンパスが開学。足立区リエゾンセンターと協同して、足立区の芸術・文化を創造・発信するまちづくりを行う。
21	2006/8/31	産経夕	文化芸術活動で“タッグ”	千住キャンパス開設にあたり、8/30に芸大・足立区間で協定書が結ばれた。
22	2006/9/1	新美時術新聞	月三回発行 東京芸大が丸の内を変える?	「モダンと粋の“わ”フォーラム」についての記事
23	2006/9/4	朝日朝	足立に芸大新拠点	足立区リエゾンセンターの落成式と内覧会が3日に開催。同センターに芸大千住キャンパスも入る。
24	2006/9/5	足立朝日	No.181 芸術・文化と市民を結ぶ 東京芸術大学9月開学	千住キャンパス開設にあたり、8/30に芸大・足立区間で協定書が結ばれた。

No	日付	新聞名等	見出し	概要	
25	2006/9/6	朝日	朝	芸大 学長作品台東区に寄贈	宮田学長が作品を台東区に寄贈。
26	2006/9/6	東京	朝	区の発展 イルカに映し	同上
27	2006/9/6	毎日		大壁画:西取手駅ガード下に完成 落書き防止に一役	取手市壁画によるまちづくり実行委員会(委員長・工藤晴也助教授)がボランティアらの協力で描き上げた大壁画(縦約4.5メートル、横約15メートル)が、関東鉄道常総線西取手駅のガード下に完成。原画は、壁画専攻2年の池田裕子さんがデザインした作品。
28	2006/9/8	読売	朝	芸大の秋満喫 イベント様々、10日まで	藝祭2006「舞合良酔(まいあいよいよ)」が8~10日に芸大上野キャンパスで行われる。
29	2006/9/9	毎日	朝	「藝祭」にユニークなみこし勢ぞろい	8日恒例のみこしパレードが行われた。
30	2006/9/9	朝日	朝	東京芸大「藝祭」上野に神輿8基 豚や龍も練り歩く	8日恒例のみこしパレードが行われた。
31	2006/9/13	読売	朝	芸大キャンパス 足立にオープン	千住キャンパス開所式が12日に行われた。
32	2006/9/13	東京	朝	千住から次世代へ世界へ文化発信を	千住キャンパス開所式が12日に行われた。
33	2006/9/14	日経	朝	常磐線沿線 芸術で振興	沿線の8自治体と芸大、JR東日本がJOBANアートライン協議会を設立し、地域振興に乗り出す。
34	2006/9/19	日経	朝	足立区の東京芸大校舎整備費 調達に新型証券化手法	足立区は、芸大千住キャンパス整備にあたって、新型証券化手法を採用した。
35	2006/9/20	足立朝日	No.182	東京藝術大学千住校地 12日開学 記念式典開催	千住キャンパス開所式が12日に行われた。
36	2006/9/20	足立朝日	No.182	第7回学園通りフェア	24日に千住朝日町商店街で開かれるフェアで、本学の演奏が行われる。
37	2006/10/11	読売	夕	秋の上野松坂屋 アートに染まる	芸大生と上野松坂屋のコラボレーションイベントの紹介。
38	2006/10/30	文教ニュース	1905号	千住キャンパス設置記念「文化政策の新展開」フォーラム	千住キャンパス設置を記念し、足立区との連携協力事業の一環として、文化政策をテーマとしたフォーラムを実施した。
39	2006/10/30	長野日報	Web	高遠高吹奏楽部に演奏指導 東京芸大4年生	伊那市高遠町の高遠中学校で本学音楽学部4年生9人が同校と高遠高校の吹奏楽部員約20人に演奏指導を行った。
40	2006/11/2	伊那毎日	Web	高遠中学校の吹奏楽部を東京芸大音楽部のメンバーが指導	伊那市高遠中学校の吹奏楽部の生徒らに本学音楽部の学生が演奏技術の指導を行った。
41	2006/11/6	東京	朝	こちらは、柏で巨大キャンパス	JOBANアートラインの一貫として、JR柏駅東口で、本学学生8名がライブペインティングを行う。
42	2006/11/10	中日	Web	取手アートプロジェクト あす開幕	「取手アートプロジェクト2006」が11日、スタートする。
43	2006/11/11~20	産経	Web	芸大のある街・取手	TAPの活動等を8回にわたって連載
44	2006/11/17	朝日	夕	アートプロジェクト支援	アートNPOやアートイベント主催者の個人からの寄附金集めのく風について紹介。TAPの取組についても。
45	2006/11/20	朝日	夕	海老名さんら観光大使12人	台東区の観光大使に本学学長も
46	2006/11/21	産経	朝	アニマル浜口さん親子ら初代たいとう観光大使	台東区の観光大使に本学学長も
47	2006/11/25	朝日	朝	東京芸大メサイア演奏会に御招待	朝日新聞と朝日新聞厚生事業団が行う。チャリティ公演に芸大が協力。障害者と同伴者50組100名を招待
48	2006/11/27	産経	朝	芸大で進む産学連携	本学の受託研究費の伸び率(平成17年度分)が対平成15年度比29倍で全国3位。
49	2006/11/30	朝日	朝	おばけ煙突「再来」	足立区千住の東京芸術センター前に芸大が制作したモニュメントが12/10~来年1月まで設置される。
50	2006/12/1	産経	朝(茨城)	西取手駅前壁画制作者に感謝状	工藤助教授と原画を制作した大学院生に感謝状が送られた。
51	2006/12月号	日本宣伝クラブ会報No32		法務省主唱 第56回社会を明るくする運動	本学も「匠に学ぶワークショップin東京芸術大学 vol.4」を開催し協力。3ページに渡り作業風景等の詳細を掲載。

No	日付	新聞名等	見出し	概要
52	2006/12/5	フジサンケイ ビジネスアイ web	東京・浅草寺仲見世 800メートルの浅草絵巻がリニューアル	本学日本学研究室も協力した浅草仲見世のシャッター壁画がリニューアル
53	2006/12/5	産経 朝	シャッター壁画リニューアル	本学日本学研究室も協力した浅草仲見世のシャッター壁画がリニューアル
54	2006/12/7	日経 朝	芸大生のセンス 足立区の製造業 コラボで産業振興	足立区と芸大が協力して産業振興
55	2006/12/9	朝日 朝	日枝神社の天井 彩る48枚	日枝神社の天井画を本学日本画研究室が制作した。
56	2006/12/12	朝日 Web	56回目の「芸大メサイア」に2千人 東京・上野	「芸大メサイア」は、51年から毎年、東京芸術大学音楽学部の無償出演で開かれ、今回が56回目。
57	2006/12/16	東京 朝	学生らが作品発表	千住キャンパスで音楽環境創造科学生の発表、作品展示、コンサート、ワークショップを16,17日に開催する。
58	2006/12/17	徳島新聞 Web	交流会で作品構想を発表 上勝アートプロジェクト	田甫律子教授が参加するアートプロジェクト
59	2006/12/18	産経 朝	足立の児童と楽しく	デザイン専攻大学院生が小学生対象のワークショップを行った。
60	2006/12/19	毎日 朝	日枝神社の天井画 4000万円受注 教育と経済効果そして地域貢献	日枝神社の天井画を本学日本画研究室が制作した。
61	2006/12/22	朝日 朝	台東区の中学生芸大生と演奏会	区立御徒町台東中学校吹奏楽部と本学学生が奏楽堂でコンサート。今年で6回目。3年前から毎月学生が同中吹奏楽部を指導している。
62	2007/1/6	信濃毎日 Web	木曾の職人が協力 東京芸大が独自の漆器をミラノへ	デザイン科が、木曾漆器職人と協力し、4月にイタリア・ミラノで開く家具・生活用具の見本市に独自の漆器を出品する。「日本的な座の生活」「伝統と先端技術の融合」をテーマに、教員と大学院生がデザインを担当。
63	2007/1/18	朝日 朝	産学で鮮やか食器	大倉陶園と陶芸研究室の共同研究の成果発表展「チャイナペインティングの美展」の紹介
64	2007/2/1	新美術新聞 月三回発行	仲見世シャッター「浅草絵巻」17年ぶりお色直し	浅草仲見世商店街の大シャッター壁画がリニューアル。手塚教授らが原画を制作した。
65	2007/2 - 3月号	駱駝	『駱駝』世代の新・学問のススメ 国内大学編 東京芸術大学公開講座「油絵コース」	定年後に本学公開講座を受講し、油絵に挑戦している男性を追った記事
66	2007/2/9	東京 web	豊かな発想培う『図画工作』に理解を	藤幡正樹・東京芸大教授らでつくった「がんばれ！図工の時間フォーラム」の主催のシンポジウム
67	2007/2/10	東京 web	愛称は『ことバス』 取手のコミュニティバス	日比野克彦本学先端芸術表現科助教授デザインのバスの紹介
68	2007/2/27	読売 朝	図工の時間減らさないで	藤幡教授が実行委員長を勤める「がんばれ！図工の時間 シンポジウム」の紹介
69	2007/3/1	文化庁月報	取手アートプロジェクト 市民パワーがまちを元気にする	連載「地域からの「文化力」発信」の最終回に取手アートプロジェクトが採り上げられた。
70	2007/3/6	東京 Web	きょうから上野公園「桜」一色に	昨年四月、「上野の将来」について語り合う東京新聞の「We Love Tokyo座談会」（本学学長らがパネリスト）をきっかけに、座談会に参加した各館と都公園緑地事務所が加わり「上野公園コラボ・イベント実行委員会」を発足。
71	2007/3/27	東京 朝	芸大卒業生作品「区長賞」を授与	台東区から本学の卒業生の優れた卒業生作品に授与している区長賞の授与式が行われた。今年で26回目。副賞100万円。
【展覧会事業・演奏会事業に関するもの】				
72	2006/4/10	朝日 朝	ドイツ表現主義 孤高の彫刻家 パルラ 八回顧展	近代ドイツを代表する彫刻家エルンスト・パルラを日本で初めて本格的に紹介する展覧会が東京芸術大学美術館で開催される。
73	2006/4/15	東京 朝	ピエール・ブレーズ再検証の試み	世界的作曲家で指揮者のピエール・ブレーズの作品の演奏会が、4/21,22に開かれる。演奏芸術センター松下教授がブレーズ氏及びその作品と演奏会について紹介した文章。

No	日付	新聞名等	見出し	概要
74	2006/4/17	日経 朝	民衆的な造形に潜む神秘	重要な作家として記憶されている割に日本で作品に接することがほとんどなかったエルンスト・バルラハの展覧会が東京芸術大学大学美術館で始まった。
75	2006/4/19	朝日 朝	180点最大級の回顧展	バルラハ展の紹介
76	2006/4/27	朝日 夕	美術・エルンスト・バルラハ展	同展及びバルラハ作品の紹介
77	2006/5/18	朝日 夕	美・博 ピックアップ 魂の根源追い求め	エルンスト・バルラハ展とその作品を紹介
78	2006/5/26	産経 朝	苦難に耐える人間を見つめる	エルンスト・バルラハ展とその作品を紹介
79	2006/5/27	東京 朝	東京芸大で始まった「シューマン・プロジェクト」	没後150周年になるシューマンの創作の核心に音楽と公演をつうじて迫ろうとする企画であるシューマン・プロジェクトが東京芸大で始まった。
80	2006/5/28	産経 朝	日本の音大 続々と発信	本学演奏芸術センター役割、注目の企画としてシューマン・プロジェクトを紹介
81	2006/6/15	読売 朝	ルーブル美術館展	ルーブル美術館展
82	2006/6/21	新美術新聞 月三回発行	総括春の大型展	バルラハ展に言及
83	2006/6/26	読売 夕	ルーブル美術館展 古代ギリシア芸術・神々の遺産1	ルーブル美術館展の展示作品の紹介
84	2006/6/28	読売 夕	ルーブル美術館展 古代ギリシア芸術・神々の遺産2	同上
85	2006/6/29	読売 夕	ルーブル美術館展 古代ギリシア芸術・神々の遺産3	同上
86	2006/6/30	読売 夕	ルーブル美術館展 古代ギリシア芸術・神々の遺産4	同上
87	2006/6/30	毎日 夕	小中学生を対象としたコンサート	小中学生を対象としたコンサート「芸大と遊ぼう」が7月に開催される。
88	2006/7/1	新美術新聞 月三回発行	ルーブル美術館展	ルーブル美術館展とその作品を紹介
89	2006/7/21	朝日 夕	アルルのビーナス 時代背負い輝く古典美	ルーブル美術館展とその作品を紹介
90	2006/8/2	読売 朝	ルーブル美術館展 私の一点 1	栗山千明氏(女優)が「アルルのヴィーナス」を紹介
91	2006/8/3	読売 朝	ルーブル美術館展 私の一点 2	森昌子氏(歌手)が「赤像式アンフォラ」を紹介
92	2006/8/4	読売 朝	ルーブル美術館展 私の一点 3	鷹西美佳氏(日本テレビアナウンサー)が「円盤を持つ運動競技者」を紹介
93	2006/8/19	東京 朝	人間的な世界突き抜けた涼しさ	美術評論家が「アテナ・バルテノス」を紹介
94	2006/8/21	読売 朝	ルーブル美術館展閉幕	8/20が最終日の同展の総入場者数は、27万5640人。
95	2006/9/1	新美術新聞 月三回発行	日曜美術館30年展	日曜美術館30年展について
96	2006/9/14	読売 朝	日曜美術館30年展	日曜美術館30年展の各パートについて、紹介
97	2006/9/14	読売 夕	日曜美術館30周年 ゲストが作品への思い語る	「日曜美術館」が放送30周年を迎えた。日曜美術館30年展についても紹介。
98	2006/9/15	読売 夕	「日曜美術館」30年を記念し対談	10/5に本学学長とNHKの山根基世氏の対談が行われる。
99	2006/9/30	東京 朝	新しい展覧会の形に醍醐味	日曜美術館30年展について、紹介
100	2006/10/3	朝日 夕	テレビ画面を飛び出した名品	日曜美術館30年展について、紹介
101	2006/10/9	読売 朝	時代を反映して半世紀 グッドデザイン	「Good Design Award 1957-2006」展について
102	2006/12/1	産経 朝	多芸多才 繊細かつ爽快なデザイン	芸大コレクション展「斎藤佳三の軌跡」を紹介
103	2006/12/1	朝日 朝	ミュージアム 芸大コレクション展	芸大コレクション展「斎藤佳三の軌跡」を紹介
104	2006/12/1	新美術新聞 月三回発行	第2回アトリエの末裔あるいは未来	本学彫刻科木彫研究室が企画し実施する展覧会の紹介

No	日付	新聞名等	見出し	概要
105	2007/1/20	日経 朝	東京藝術大学創立120周年企画	東京藝術大学創立120周年企画 パリへ 洋画家たち百年の夢 ～黒田清輝、藤島武二、藤田嗣治から現代まで～の予告
106	2007/1/20	東京 朝	2月の演奏会から	東京芸大チェンバーオーケストラ定期(2/16)の紹介
107	2007/1/28	日経 朝/2箇所	「パリへ 洋画家たち百年の夢」展	東京藝術大学創立120周年企画 パリへ 洋画家たち百年の夢 ～黒田清輝、藤島武二、藤田嗣治から現代まで～の予告
108	2007/2/1	新美術新聞 月三回発行	2006年展覧会入場者ベスト30	本学大学美術館の「ループル美術館展」が第10位
109	2007/3/17	日経 夕	東京芸術大学創立120周年展 パリへ - 洋画家たちの百年の夢	「パリへ - 洋画家たちの百年の夢」展の紹介記事
110	2007/3/26	読売 朝	東京芸大奏楽堂で来月コンサート	4/14開催の奏楽堂トーク&コンサートの紹介。1000名を無料招待。
111	2006/12/1・11	新美術新聞 月三回発行	2006年の美術界を振り返る	日曜美術館展、パルラ八展に言及
112	2006/12/1・11	新美術新聞 月三回発行	今年後半の大型展の話題から	ループル美術館展に言及
113	2006/5/1・11	新美術新聞 月三回発行	花王美術財団の助成決まる	「斎藤佳三展」、「美術館における未就学児のための鑑賞教育プログラム」が受賞
114	2006/8/1・11	新美術新聞 月三回発行	2006年度下半期開催の主な美術展覧会	日曜美術館展に言及
115	2007/1/11・21	新美術新聞 月三回発行	創立120周年を迎える東京藝術大学、7つの記念事業を実施	本学の創立120周年記念事業及び募金について
【映像研究科に関するもの】				
116	2006/4/13	日経 朝	横浜MM21に東京芸大が新拠点	東京芸術大学大学院映像研究科メディア映像専攻を置いたことにより、横浜キャンパスを拡充し、みなとみらい地区に新拠点を開設。
117	2006/4/19	毎日 夕	日常から社会の変化を探る	18年4月より、映像研究科教授に迎えた佐藤雅彦先生が、毎日デザイン賞を受賞
118	2006/4/28	読売 夕	“監督”目指すなら大学へ	本学大学院映像研究科を含む国内の3大学の映画関係学科を取り上げて紹介
119	2006/5/1	東京 夕	映像を通して豊かな会話を	本学大学院映像研究科について、日本の映像教育について、藤幡研究科長の手記
120	2006/9/5	毎日 夕	新設の東京芸大「メディア映像専攻」って何？	藤幡研究科長へのインタビュー
【在学生に関するもの】				
121	2006/4/19	読売 朝	明日日本国際賞授賞式 芸大オケが記念演奏	2006年日本国際賞で東京芸術大学オーケストラが記念演奏。これまでのプロのオケに代わって。
122	2006/5/1	朝日 Web	顔ぶれ一新、若手続々 関西のコンマス百花繚乱	大阪センチュリー交響楽団(大阪府豊中市)の客員コンマスに本学4年の太田雅音(まさね)さん。大阪フィルハーモニー交響楽団の首席コンマスに本学卒業生の長原幸太さん。
123	2006/7/12	毎日 夕	湯本亜美鮮烈なりサイトルデビュー	前年度日本音楽コンクールバイオリン部門3位の本学附属高校生徒がリサイトルレビューを飾った。
124	2006/8/31	毎日 朝	声楽部門 9人本選へ 第75回日本音楽コンクール	佐藤容子(東京芸大大学院)、メニッシュ純子(東京芸大大学院修了)、林満理子(東京芸大大学院修了)
125	2006/9/2	毎日 朝	作曲部門 4人が本選へ 第75回日本音楽コンクール	松本直祐樹(東京芸大大学院修了)、桑原ゆう(東京芸大4年)
126	2006/9/13	毎日 朝	ピアノ部門 本選へ4人 第75回日本音楽コンクール	大伏啓太(東京芸大2年)
127	2006/9/22	毎日 朝	バイオリン部門 本選へ4人 第75回日本音楽コンクール	本選出場者に鈴木舞(東京芸大付高2年)
128	2006/10/6	朝日 朝	上野の街で自然を一服 東京芸大生松坂屋に壁画	芸大生10人が上野松坂屋北口アーケードで制作している壁画が6日午後完成の予定
129	2006/10/9	毎日 朝	余録	現代詩研究会の学生たちが9月末に「詩と音楽のコンサート - 第2回倉敷インスピレーション」で詩の朗読と演奏を行う。
130	2006/10/21	毎日 朝	第75回日本音楽コンクール	声楽部門(歌曲)第2位メニッシュ純子=東京芸大大学院修了 入選 佐藤容子=東京芸大大学院、林満理子=東京芸大大学院修
131	2006/10/22	毎日 朝	第75回日本音楽コンクール	バイオリン部門第2位 鈴木舞=東京芸大付高2年

No	日付	新聞名等	見出し	概要
132	2006/10/23	毎日 朝	第75回日本音楽コンクール	ピアノ部門第3位 大伏啓太 = 東京芸大2年
133	2006/11/21	朝日	管打楽器コンクール 特別大賞にフルートの小池さん	第23回日本管打楽器コンクールは各部門の1位はホルンが東京芸大3年、岸上穰さん、トロンボーンが同、黒金寛行さん
134	2006/12/2	毎日 Web	学生音コン:全国大会 ピアノ高校の部 ロー磨秀さんが1位	全日本学生音楽コンクール全国大会のピアノ部門高校の部第2位 猪狩雄斗(東京芸大付1年)
135	2006/12/4	毎日 Web	学生音コン:バイオリン高校 = 1位に対馬さん、前田さん	全日本学生音楽コンクール全国大会のバイオリン部門高校の部で前田奈緒さん(東京芸大付3年)が第1位、第2位 成田仁美さん(東京芸大付2年)
136	2006/12/5	毎日 Web	学生音コン:声楽 高校の部1位は深瀬廉さん	全日本学生音楽コンクール全国大会の声楽部門大学・一般の部 第2位 吉留倫太郎(東京芸大2年)
137	2006/12/6	信濃毎日 web	音楽で地域交流 長野出身の院生ら都内でコンサート	芸術と地域のかかわりをテーマに研究している長野市出身の本学大学院生、小泉元宏さんが指揮棒を振るう、国際基督教大学吹奏楽部「ICUウインドプラスアンサンブル」が三鷹市でチャリティーコンサート。
138	2006/12/6	毎日 Web	学生音コン:フルート中高の部 五十嵐、窪田さんが1位	全日本学生音楽コンクール全国大会のフルート部門高校の部で窪田恵美さん(東京芸大付2年)が第1位。第2位 井坂実樹(東京芸大付2年)
139	2006/12/6	静岡新聞 Web	室内楽と共演実現 掛川少年少女合唱団が24日	本学の卒業生らを中心に結成されたアンサンブル・ディヴェルターズのクリスマスコンサート(静岡新聞社・静岡放送後援)に掛川少年少女合唱団の子供たちも出演
140	2006/12/14	アキバ経済新聞 Web	アニメセンターのクリスマス企画に「メイド交響楽団」登場	本学学生を中心に現役音大生とOGで編成
141	2007/1/5	読売 夕刊	大学生「夢」の診療所設立、会社・学校帰り気軽に受診	東京大学、東京芸術大学などの学生約20人が「コンビニクリニック」を考案。
142	2007/1/6	北海道 Web	札幌出身ピアニスト外山さん、異例の豪華デビューへ	若手音楽家の登竜門、日本音楽コンクール(音コン)で2004年にピアノ部門一位となった本学大学院生が1/24にCDデビュー。
143	2007/1/11	朝日 夕刊	音符にできない「聴覚文化」追う	音楽研究科博士後期課程学生で音楽学者の谷口文和さんの紹介、著書「音楽未来形～デジタル時代の音楽文化のゆくえ」
144	2007/1/23	朝日 Web	東大生がクリニック開設 駅から3分、夜9時まで	デザイン科4年の古賀匠磨君さんがクリニックの内装やロゴ、診察券、薬袋までデザインを一手に担当
145	2007/1/24	河北新報 Web	仙台国際音楽コンクール 86人が本選出場	バイオリン部門に東京芸大4年の千葉さくらさん、ピアノ部門に東京芸大大学院在学中の津田裕也さん
146	2007/1/31	毎日 朝	三ツ星ベルトがふれあいコン	本学大学院生らが出演するコンサートが2/14に行われる。
147	2007/2/1	新美術新聞 月三回発行	フェイス21世紀 ビルウォルフ	本学美術研究科彫刻専攻の研究生として木彫に取り組んでいるビル・ウォルフさんを紹介
148	2007/3/12	文教ニュース 1923	東京芸術大学でアートコンペ	初めて実施した「藝大アートプラザ大賞」の入賞作品展が開催中。学生が制作した作品の展示と販売が行われている。
149	2007/3/20	時事通信 web	皇后さま、音大卒業生演奏会に	20日午後、皇居・桃華楽堂で本学他の音楽大学卒業生演奏会が行われ、皇后さまなどが出席された。
150	2007/3/22	東京 朝	芸・美大生だけの力作40点を展示	「芸大・美大生による彫刻展」(流山市生涯学習センター)の紹介。本学彫刻科12名、工芸科1名及び他大学2名の作品を展示
151	2007/3/27	朝日 朝	「未来の巨匠」今から探して	初めて実施した「藝大アートプラザ大賞」の入賞作品展が開催中。学生が制作した作品の展示と販売が行われている。
【教員に関するもの】				
152	2006/4/11	新美術新聞 月三回発行	特集「イタリアを描く 絹谷幸二展」	個展の紹介
153	2006/4/21	新美術新聞 月三回発行	手塚雄二 花月草星展	個展の紹介
154	2006/4/21	新美術新聞 月三回発行	「日本の美」シンポジウム講演会開催	日本芸術院党主催のシンポジウムで絹谷教授が講演
155	2006/5/1・11	新美術新聞 月三回発行	巨匠展 今そして未来2006	大藪名誉教授、大沼名誉教授、坂田教授ら。

No	日付	新聞名等	見出し	概要
156	2006/5/8~12	日経 夕	色彩と夢の力は元気の源	絹谷幸二教授へのインタビュー。全5回
157	2006/5/13	産経 朝	W杯 包んできてね	日本の伝統文化「風呂敷」でもったいない精神をアピール。日比野准教授と小池環境相がプロデュースしたふるしきをサッカー日本代表に贈呈。
158	2006/5/15	日経 朝	私の苦笑い	失敗の教訓を語るコラム。伊藤恵助教授。
159	2006/5/15	日経 夕	映画の北野監督「芸術、平和でこそ」	北野教授がイタリアで第10回ガリレオ2000賞の文化特別賞を受賞。
160	2006/5/15	東京 夕	芸術できる条件は平和	同上
161	2006/5/17	産経 朝	退職後の「団塊」に期待	博物館・美術館のターゲットとして、好奇心にあふれた中高年が期待されている。一方で、若者が美術館に来ないことについて竹内順一教授がコメント。
162	2006/5/18	東京 夕	高松塚古墳について思うこと	絹谷教授が1973年に調査のため入室した時の高松塚古墳の美しさや当時提唱した保存方法が採用されず、残念な結果となったことなどを語った。
163	2006/5/21	新美術新聞 月三回発行	美術運動体「九つの音色」による北京展	宮田学長、三田村教授らが参加する「九つの音色」と清華大学美術学院教員との交流展及び学術講演会が北京で開催された。
164	2006/6/13	日経 夕	ピンホールカメラ復活！！	最近脚光を浴びているピンホールカメラについて。佐藤時啓准教授がコメント
165	2006/6/15	読売 朝	武蔵野合唱団50年	小林研一郎教授が指導。
166	2006/6/21	新美術新聞 月三回発行	野田哲也展 Works2000-05	野田教授の個展の紹介
167	2006/7/11	新美術新聞 月三回発行	絹谷幸二展	絹谷教授の個展の紹介
168	2006/8/1・11	新美術新聞 月三回発行	手塚雄二作品集 夜想	今月の読書欄で手塚教授の作品集が紹介される。
169	2006/8/19	日経 朝	手塚雄二 花月草星展	手塚教授の個展の紹介
170	2006/8/20	産経 朝	著者に聞きたい「黒沢清の映画術」	映画批評家2氏による黒沢教授への5日間計30時間のインタビューを構成した本について
171	2006/8/21	新美術新聞 月三回発行	田淵俊夫展 刻をりをり	田淵教授の個展の紹介
172	2006/9/1	新美術新聞 月三回発行	中島千波展 サント・ヴィクトワールへの道	中島教授の個展の紹介
173	2006/10/2	伊那毎日 Web	彫刻家・藪内佐斗司の世界展	藪内佐斗司教授の作品展の紹介
174	2006/10/28	朝日 朝	アジアとの連携強化	アジア・ゲートウェイ戦略会議の有識者委員に宮田学長が就任
175	2006/11/1	新美術新聞 月三回発行	堀口光彦展 東京芸術大学退任記念	堀口教授の退任記念展の紹介
176	2006/11/1	新美術新聞 月三回発行	フェイス21世紀 原真一	本学彫刻科出身者、現助教授を紹介
177	2006/11/2	朝日 朝	秋の褒章	林康子教授紫綬褒章
178	2006/11/4	産経 Web	“エコ”でチベット走破 東京芸大助手・鈴木さんが個展	太陽や風力など自然エネルギーを動力とした旅で表現活動を展開している鈴木勲先端芸術表現科助手の個展「流動」を紹介。
179	2006/11/9	北海道 Web	縄文「漆」の講座スタート	三田村有純教授が「漆の世界」と題して講演した。
180	2006/11/19	毎日 朝	「グッドデザイン」誰のため？	映像研究科桂助教授の手記
181	2006/11/28	北海民友新聞 Web	紋別吹奏楽団定期演奏会東京芸大教授・杉木さんゲストに	紋別吹奏楽団(安曇恭彦団長)の第26回定期演奏会で、本学音楽学部杉木教授がゲスト出演
182	2006/12/1	日刊スポーツ web	北京五輪協賛競輪のユニホームが発表	長浜雅彦助教授がデザイン。
183	2006/12/1	読売 朝	論点「アートマネージャー 文化施設運営の担い手に」	音楽学部根木教授によるアートマネジメントの専門資格制度の必要性について論説
184	2006/12/14	四国新聞 Web	林康子「ふるさとに歌う」-17日・県民ホール	林教授のリサイクル
185	2006/12/19	毎日 夕	美術 林武史展	林助教授の彫刻展の紹介
186	2006/12/20	日経 朝	ミュージアム拓く 地域社会で役割拡大	公立美術館のあり方についての連載記事で、日比野助教授が識者として「美術館像」について語ったもの
187	2007/1/5	朝日 夕刊	いざ舞台へ	小林研一郎教授について
188	2007/1/8	朝日 朝	into 東京 私を導くあのイルカ	宮田学長の状況の時の思い出を紹介
189	2007/1/8	日経 朝	2007年度展覧会開催 現代美術界を担う巨匠	宮田学長、平山前学長他の個展の紹介

No	日付	新聞名等	見出し	概要
190	2007/1/13	朝日	別刷り 市村作知雄さん 舞台芸術の質を高めたい	NPO法人・ANJの代表も務める本学教授の活動を紹介
191	2007/1/17	北海道新聞	Web 情熱のイタリア 大作に 洋画家絹谷さん 札幌で個展	絹谷教授の個展の紹介
192	2007/1/21	産経	朝 日本フィル音楽監督 小林研一郎 最後の定期演奏会	小林研一郎本学指揮科教授が日本フィル音楽監督として最後の定期演奏会が1/25,26に行われる。
193	2007/1/23	朝日	夕刊 羽生出展	羽生教授の退任記念展の紹介
194	2007/1/25	毎日	夕 版画家の野田哲也氏が退官を記念して 展覧会	野田教授の退任記念展の紹介
195	2007/1/31	日経	夕 社会覆うリセット願望	布施助教授がバラバラ殺人について論評
196	2007/2/1	産経	朝 ミュージアム通信	中島千波教授の作品の紹介 「ShinPA～中島千波と東京芸術大学デザイン科描画系展～」の告知も。
197	2007/2/1	東京	朝 日比野克彦ワークショップ「一本の糸たち」	日比野助教授が移植医療のシンボルマークであるグリーンリボンをテーマに公開ワークショップ
198	2007/2/5	毎日	朝 第7期文化審委員発表	宮田学長が委員に就任
199	2007/2/5	読売	朝 文部科学省人事(5日)	同上
200	2007/2/5	東京	朝 グリーンリボンキャンペーン	日比野助教授が移植医療のシンボルマークであるグリーンリボンをテーマに公開ワークショップ
201	2007/2/8	東京	朝 モホス文明の跡たどる	日比野助教授がナビゲーターとして出演
202	2007/2/8	東京	朝 秋田 大館でアート	中村政人助教授ら秋田県大館市出身の芸術家集団が展覧会を開催
203	2007/2/9	読売	夕 北野流映画賛歌	北野教授の新作映画の紹介
204	2007/2/11	新美術新聞	月三回発行 野田哲也展	3月末で定年退職する野田教授の最新作を含めた「日記」シリーズの作品展
205	2007/2/13	毎日	夕 日比野克彦さんが新・相模原市のPRを総合プロデュース	制作中のCMには、相模原出身の本学大学院生を起用
206	2007/2/18	東京	朝 東京マラソン出場の新緑者ら激励	丸の内ワークショップ(日比野助教授)
207	2007/3/4	産経	朝 記念短編映画 北野監督参加	カンヌ国際映画祭の記念作品に北野監督が参加
208	2007/3/8	毎日	朝 松田権六 漆芸の国際性	増村教授が寄稿
209	2007/3/11	新美術新聞	月三回発行 籾内佐斗司展	籾内教授の個展の紹介
210	2007/3/16	日刊工業	改革本番 大学トップに聞く	学長へのインタビュー。社会連携、120周年記念事業など
211	2007/3/19～23	日経	夕 バッハの宇宙に生きる	鈴木雅明教授が率いる演奏家集団「バッハ・コレギウム・ジャパン」がバッハの教会カンタータ全約200曲を録音。全4回連載。
212	2006/7/5	東京	朝 建築家の安藤氏ら2人 新タワーデザイン監修者	澄川喜一元学長らが東京タワーのデザインを監修することに。
213	2006/7/5	毎日	朝 安藤、澄川両氏が監修	同上
214	2006/8/1・11	新美術新聞	月三回発行 新東京タワーデザイン監修は澄川喜一氏、安藤忠雄氏に決まる	同上
215	2006/8/21	新美術新聞	月三回発行 次世代に伝える平和への思い	平山前学長へのインタビュー記事
216	2006/11/25	東京	朝 新東京タワー “江戸”下町シンボルに	澄川喜一元学長らが東京タワーのデザインを監修することに。
217	2006/12/30	神戸新聞	Web 日本画壇の重鎮・平山郁夫展	平山前学長の個展の紹介
218	2007/1/1	新美術新聞	月三回発行 新東京タワーデザイン決まる	澄川喜一元学長らが監修した東京タワーのデザインが決定した。
219	2007/1/21	埼玉新聞	Web 染色の大作を市へ寄贈	鴻巣在住の松永勲本学名誉教授が作品を寄贈
【卒業生・修了生に関するもの】				
220	2006/5/1・11	新美術新聞	月三回発行 フェイス21世紀 武部雅子	本学博士後期課程出身者の日本画家を紹介
221	2006/5/7	読売	朝 大学卒業したての若手音楽家が競演	本学を含む25の音楽系大学の卒業生が出演した「第76回新人演奏会」が開催された。
223	2006/5/9	読売	朝 パイプオルガン迫力の3人連弾	すみだトリフォニーホールで5/20に若手のオルガン奏者3名の演奏海外が開催される。「TRM」というグループ名で活動する3名は、いずれも本学でオルガンを学んだ。
224	2006/8/1・11	新美術新聞	月三回発行 フェイス21世紀 高橋雅美	本学博士後期課程出身者、現非常勤講師を紹介
225	2006/8/1・11	新美術新聞	月三回発行 手銭吾郎展	本学大学院修了生の鍛金作品の個展

No	日付	新聞名等	見出し	概要
226	2006/10/17	産経 朝	ドイツの指揮者コンクール角田さんが最高位入賞	在ドイツの本学卒業生がドイツ前音楽大学指揮者コンクールで受賞
227	2006/10/18	毎日 朝	第75回日本音楽コンクール	トランペット部門、第1位長谷川智之さん = 東京芸大卒
228	2006/10/20	毎日 朝	第75回日本音楽コンクール	作曲部門第2位 岩谷賞(聴衆賞)松本直祐樹 = 東京芸大大学院修了 = 「森がかすかな葉ずれの音をさせていた〜」
229	2006/11/2	読売 朝	ヤナーチェクの歌劇に挑むソプラノ歌手	上演機会の少ないチェコの作曲家ヤナーチェクの歌劇が東京で上演される。本学卒業生が主役を務める。
230	2006/11/29	東京 夕	Yumi 自作を収録したアルバム発売	2006年春に本学を卒業したフルート奏者がフルアルバムを発売
231	2006/12/1	新美術新聞 月三回発行	フェイス21世紀 村岡貴美男	本学博士後期課程出身者、現非常勤講師を紹介
232	2006/12/22	朝日 Web	難役に世界が「ブラボー」メソソプラノ歌手・藤村実穂子	本学大学院修了生で、海外留学、国際コンクール優勝などの後、グラーツ歌劇場専属歌手となり、現在はフリーとして活躍する歌手の活躍を紹介
233	2006/12/23	産経 朝	旬発力 山口晃 あるべき出会い模索	本学油画専攻卒業生(現代美術家)を紹介
234	2007/1/4	秋田魁新報 Web	佐藤さん(秋田市出身)が3位 プーランク国際ピアノコンクール	昨年、本学音楽学部を卒業し、ドイツ留学中の佐藤さんが入賞
235	2007/1/24	産経 朝	京都造形大学長に千住氏	本学卒業生が学長に
236	2007/2/6	読売 朝	松伯美術館花鳥画展 大賞に長田さん「花奪い」	松伯美術館花鳥画展の大賞を受賞
237	2007/2/15	毎日 朝	才能豊か7人競演	日本音楽コンクール各部門1位の発表演奏会の紹介 トランペット部門1位の本学卒業生ら
238	2007/2/19	東京 Web	障害ある 演奏家を支援	本学卒業生の女性ピアニストコンビがピアノパラリンピック運動の支援を、と募金コンサートを開く。
239	2007/2/28	産経 朝	第26回損保ジャパン美術財団選抜奨励賞展	本学大学院修了者(54)が最高賞を受賞
240	2007/3/7	北海道 Web	函館出身の彫刻家・佐藤さん制作のブロンズ像 故郷の元町・基坂に	本学卒業生の若手彫刻家の作品がパブリックアートとして設置された。
241	2007/3/19	産経 朝	花鳥画に輝く若き才能	第13回松伯美術館花鳥画展で大賞を受賞した本学卒業生長田佳子さんについて
242	2007/3/20	朝日 夕	女性能楽師に晴れ舞台	国立能楽堂で女性能楽師たちによる能会を今年から年1回定例で行う。本学卒業生でもある能楽師鶴沢久さんへのインタビュー等
【その他】				
243	2006/6/11	新美術新聞 月三回発行	国公立5芸術系大学 学長トークセッション	「四芸祭」で芸術教育、地域貢献、芸大の存在意義等について学長たちのトークセッションが開かれた。
244	2007/2/3	朝日 朝	国公立に11万人出願	高倍率の国立大学 東京芸術大4.5倍
245	2007/3/26	東京 夕	“岡倉天心”の学長が祝「字」	本学卒業式で学長が卒業生らに「命」の書をメッセージとして送った
246	2007/3/27	毎日 朝	雑記帳	本学卒業式の様子を伝えた記事